CITROËN

CITROËN C4

取扱説明書

INSPIRED BY YOU

ごあいさつ

このたびはシトロエン C4をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、シトロエン C4の取り扱いについて記載してあります。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。
本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。
車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。



おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。
オートモビル・シトロエン社では絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。
危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

⚠警 告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠注 意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注 意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。

MEMO

取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

⚠ このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

シトロエン C4に使用する消耗品やアクセサリー類は、シトロエンの純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。シトロエン車本来の安全性や耐久性を損わないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

シトロエン C4の非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがあります。また、車の保証修理が受けられなくなることがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、シトロエン指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。シトロエン純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

また、シトロエンが供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいはシトロエンの指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに関わる損害の補償をいたしません。

●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

引き続きアクセサリーを使用したいときは、5分以上エンジンが始動している状態のままにしてください。

●ディーゼル車について

AdBlue®の残量がなくなった場合、エンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めにシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。
具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

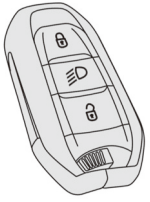
●リサイクルへの取り組み

シトロエンでは、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。シトロエン C4は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。
すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。
金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。
なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

シトロエン指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。
シトロエン指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。
回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

●スマートキー（→P.2-2）



スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することができます。

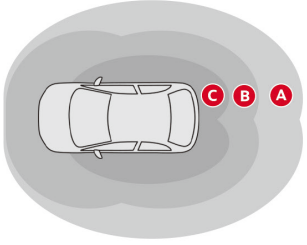
車の解錠

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

車の施錠

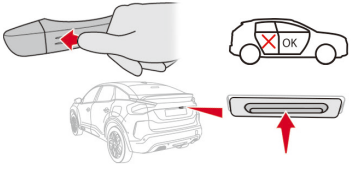
車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

●プロキシミティキーレスエントリー機能（→P.2-2）



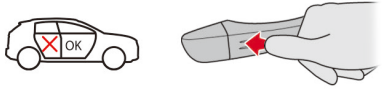
スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出ると車の解錠／施錠が自動的に行われます。

車の解錠



スマートキーを携帯してゾーン**C**に入ります。または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルのスイッチまたはテールゲートのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

車の施錠



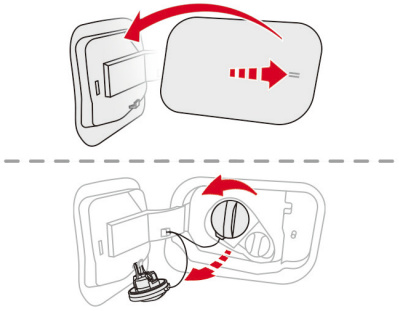
スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーン**B**から出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。
または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

MEMO

検知エリアの外側からゾーン**A**に入るとエクステリアサイドランプが点灯します。*

*仕様により異なります。

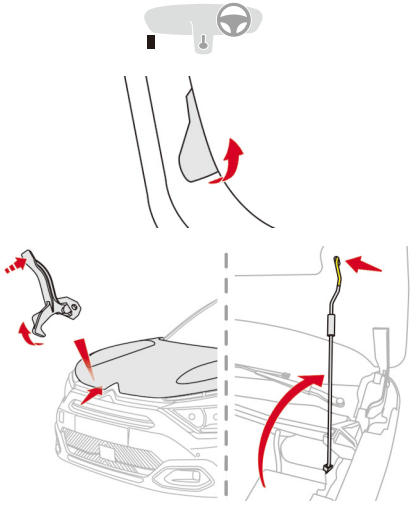
●フュエルリッド（→P.2-25）



1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
3. フュエルキャップをはずして、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。

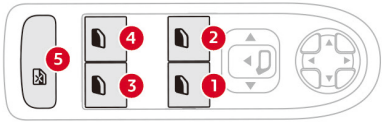
燃料タンクの容量は、約50リットルです。

●ボンネット（→P.2-24）



1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

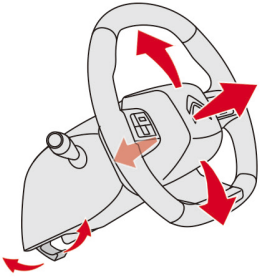
●パワーウィンドウ（→P.2-17）



①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

スイッチ①②③④を軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。または、スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。
スイッチ⑤を押すと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。スイッチ⑤のインジケーターが点灯している場合は、後席での操作はできません。

●チルト・テレスコピックステアリング（→P.3-6）



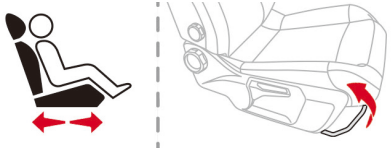
1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●フロントシートの調整（手動）（→P.1-2）

フロントシートの前後調整



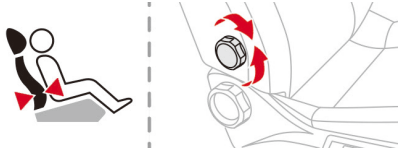
レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整



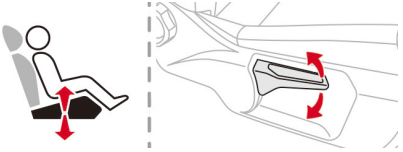
ダイヤルを回して背もたれの角度を調整します。

ランバーサポートの調整（運転席）



ダイヤルを回してランバーサポートを調整します。

フロントシートの高さ調整

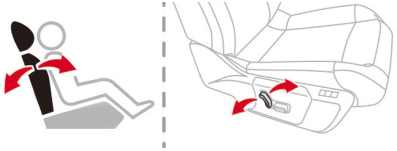


レバーを上下に動かして高さを調整します。

*仕様により異なります。

●フロントシートの調整（電動）（→P.1-2）

背もたれの角度調整



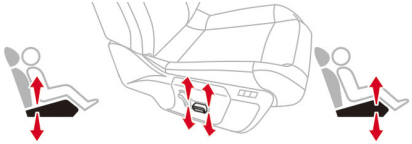
スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

ランバーサポートの調整



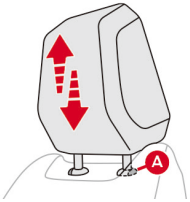
スイッチを押してランバーサポートの張り出しを調整します。

シートの高さと角度調整



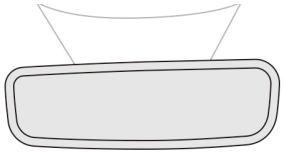
・高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
・角度：スイッチの前端を上下して調整します。*

●フロントヘッドレストの調整（→P.1-3）



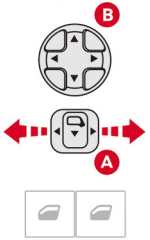
ヘッドレストの上端と乗員の頭の上が揃うように、ヘッドレストを上下に動かして調整します。
下げるときは、ラグ**A**を押しながらヘッドレストを押します。

●バックミラーの調整（→P.1-7）



ミラーを動かして、後方がよく見えるように角度を調節します。
自動防眩バックミラーは、センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。
なお、シフトポジションをRにすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

●ドアミラーの調整（→P.1-6）



1. スイッチAを左または右に動かして調整するミラーを選択します。
2. スイッチBの前後左右を押して、角度を調整します。
3. 調整が終わったら、スイッチAを中央の位置に戻します。

スイッチAを中央位置にして後方へ引くと、ミラーが格納／展開します。

●フロントシートベルト（→P.1-10）

水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。
バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●エンジンの始動（→P.3-2）



スマートキーが車内にあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションをPにします。
3. ENGINE START/STOPスイッチを押します。
4. エンジンが停止し、シフトポジションがPでロックされます。

ENGINE START/STOPスイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOPスイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

アクセサリーポジション

ENGINE START/STOPスイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOPスイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押すと、スタートポジションになります。
エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エレクトリックパーキングブレーキ（→P.3-14）



手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

自動操作

エンジンを停止すると、パーキングブレーキが自動的にかかります。

アクセルペダルを踏んで発進すると、パーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

AUTO P OFF この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

⚠警 告

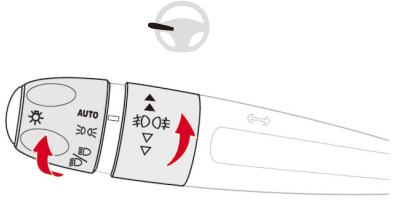
エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

エンジンが始動した状態のままで車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

*仕様により異なります。

●ライトスイッチ（→P.4-28）



ヘッドランプ

AUTO オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

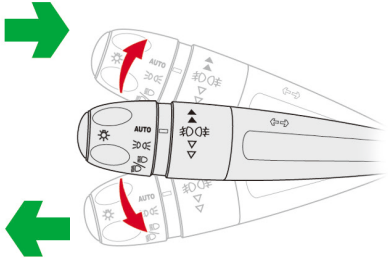
ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

フロントフォグランプ*／リアフォグランプ

リアフォグランプのみ点灯／消灯します。

フロント／リアフォグランプが点灯／消灯します。

●方向指示器（→P.4-37）

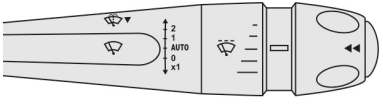


ライトスイッチレバーを上下に動かします。

MEMO

ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

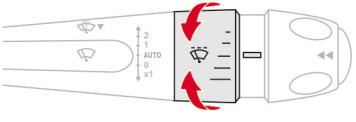
●フロントワイパー／ウォッシャー（→P.4-38）



AUTOモード

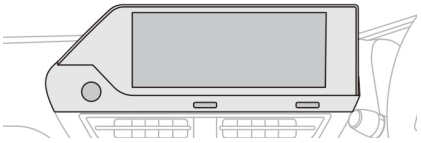
AUTOモードにするには、ワイパーレバーを**AUTO**の位置にします。
ワイパーレバーを**AUTO**以外の位置にするか、**0**の位置にするとオートモードが解除されます。

AUTOモードのセンサーの感度調整



オートモードでは、雨滴／日射センサーの感度が高いほど、雨に反応しやすく、ワイパーの休止時間が短くなります。センサーの感度を調整するときは、ワイパーレバーのリングを上下に回します。リングを下側に回すと感度が低くなります。リングを上側に回すと感度が高くなります。

●タッチスクリーン（→P.5-9）



基本操作

← 前のページに戻ります。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

OK 設定項目の変更後、変更画面にある**OK**にタッチして設定を有効にします。

さらに詳細な設定項目がある場合には、アイコンにタッチします。

メニュー

ダッシュボードに次の2種類のボタンが装備されています。

このボタンを押すと、車の機能の設定画面が表示されます。

このボタン（ホームボタン）を押すと、タッチスクリーンメニューが表示されます。

タッチスクリーンメニュー

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

Apple CarPlay や Android Auto™のマップを表示します。（使用中のみ）

エアコンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。

画像ファイルやタッチスクリーンと接続済みの機器のプロファイル設定などを表示します。

車の機能の設定画面を表示します。

その他の設定

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

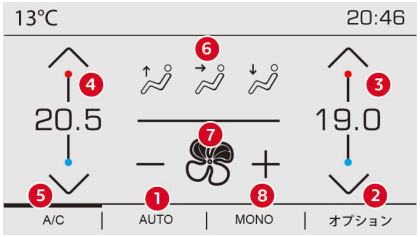
ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート（消音／停止）になります。**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしたあとは、ツマミを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

MEMO

- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、タッチスクリーンメニューが表示されます。
- ●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。

●左右独立式オートエアコン（→P.5-3）

タッチスクリーンから設定する



AUTO　①：オートモードの設定
オートモードを作動します。

オプション　②：オプション
オートモードの作動モードを変更できます。

SOFT　風量を制限して作動します。

NORMAL　通常の風量で作動します

FAST　風量を多めにして作動します。

③・④：温度の設定
ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

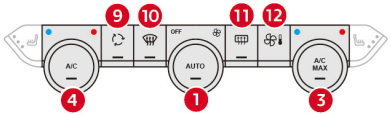
A/C　⑤：エアコンのオン／オフ
冷房・除湿機能を作動／停止します。

⑥：吹き出し口の切り替え
吹き出し口が切り替わります。

⑦：風量の調整
風量が増減します。

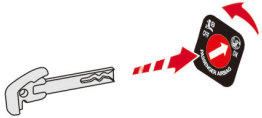
MONO　⑧：MONOモードのオン／オフ
助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせます。

ダッシュボードのコントロールパネルから設定する



①：ボタンを押してオートモードを作動します。または、ダイヤルを左右に回すと風量が増減します。
③：室温を急速に冷やしたいときにボタンを押します。または、ダイヤルを左右に回して運転席側の温度を設定します。
④：ボタンを押してエアコンをオン／オフします。または、ダイヤルを左右に回して助手席側の温度を設定します。
⑨：ボタンを押して内気モード／外気モードを切り替えます。
⑩：ボタンを押してフロントウィンドウの曇りを取り除きます。
⑪：ボタンを押してリアウィンドウやドアミラーの曇りを取り除きます。
⑫：ボタンを押すとタッチスクリーンにエアコン設定画面が表示されます。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ（→P.1-24）





1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
3. グローブボックスを開きます。
4. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込みます。
5. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合はONにします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ずOFFにします。
6. そのまま緊急用キーを抜きます。

●シートベルト着用／非着用ディスプレイ（→P.1-10）





インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

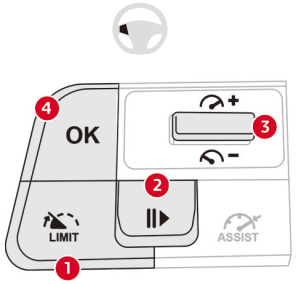
●ストップ&スタート（→P.3-27）

ストップ&スタートのオン／オフはタッチスクリーンで行います。

A OFF ストップ&スタートをオフにすると、インストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

エンジンを始動すると、ストップ&スタートはオンになります。

●スピードリミッター（→P.3-70）

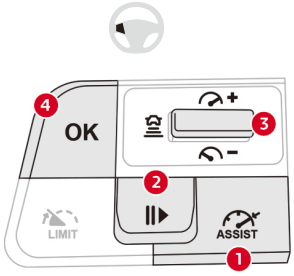


スピードリミッターは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

①：スピードリミッターのオン／オフ切り替え
②：システムの作動／停止
③：設定速度の増加と減少
④：システムの作動／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

エンジンが始動している状態のときに速度を設定してください。

●アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）（→P.3-52）

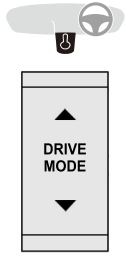


アクティブクルーズコントロールは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

①：アクティブクルーズコントロールのオン／オフ切り替え
②：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
③：速度設定／設定速度の増加と減少／車間距離の表示と設定
④：速度設定／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

速度の設定およびシステムの作動は、走行中および停車中にも可能です。

●ドライブモード（→P.3-13）



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモード（**Eco** ／ **Sport** ／ **Normal**）を選択することができます。

MEMO

エンジンを始動する度に自動的に**Normal**が選択されます。

目　次

安全なドライブについて
安全装置について
運転装置について
もしものとき
その他

第１章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-6
リアシート…… 1-8
シートベルト……1-10
チャイルドシート……1-13
エアバッグ……1-23
走行する前に……1-28
使用燃料について……1-28
冬季の取り扱い……1-29
保安炎筒……1-31
触媒コンバーター……1-32

第２章　各部の開閉のしかた

プロキシミティキーレスエントリー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-9
ドア／ドアロック／オートドアロック……2-11
テールゲート……2-15
パワーウィンドウ……2-17
チャイルドセーフティ……2-20
サンルーフ……2-21
ボンネット……2-24
フュエルリッド（給油口）……2-25

第３章　運転装置の使いかた

エンジンの始動…… 3-2
ステアリング／ホーン…… 3-6
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション…… 3-7
ドライブモード……3-13
エレクトリックパーキングブレーキ……3-14
ヒルスタートアシスタンス……3-18
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）……3-19
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）……3-23
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）
（ディーゼル車）……3-26
ストップ&スタート……3-27
ブラインドスポットモニター……3-31
レーンキープアシスト……3-34
ドライバーアテンションアラート……3-39
アクティブセーフティブレーキ……3-42
トラフィックサインインフォメーション……3-48
アクティブクルーズコントロール
（ストップ&ゴー機能付き）……3-52
レーンポジショニングアシスト……3-62
スピードリミッター……3-70
フロント／サイド／バックソナー……3-73
バックカメラ……3-76
パークアシスト……3-78
間接式タイヤ空気圧警告……3-85

第４章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
ヘッドアップディスプレイ…… 4-4
警告灯類／表示灯類…… 4-6
冷却水温度計……4-24
サービスインジケーター……4-25
オドメーター……4-26
マニュアルチェック……4-27
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）……4-27
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、
ハザードランプ）……4-28
ワイパー／ウォッシャー……4-38
ドライブコンピューター……4-42

第５章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー…… 5-2
タッチスクリーン…… 5-9
ラゲッジルーム……5-19
ルームランプ……5-21
インテリア……5-23

第６章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-4
長期間使用しないとき…… 6-5
エンジンルームの点検…… 6-6
電球の交換……6-10
ヒューズの交換……6-13
燃費の改善について……6-14
推奨交換時期……6-15
推奨油脂類……6-15
推奨点検時期……6-16

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換…… 7-2
パンク修理キット…… 7-7
12Vバッテリーが上がったとき ……7-12
けん引されるとき……7-17
AdBlue® （尿素水）の補充（ディーゼル車）……7-19
燃料切れしたとき（ディーゼル車）……7-21

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録……8-13

安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

・車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。
点検内容については、別冊の「**メンテナンスノート**」をお読みください。

・日常点検を行い異常があるときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。（音、振動、臭い、水·油漏れなど）

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

・燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

・空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。



フロアマットはしっかりと固定して使用してください

・運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください

・誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

・ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。



荷物は確実に固定してください

・助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。

・荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

・燃料は、ガソリン車には無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン、ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
・ガソリン車に有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
・ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず停止して、ドアやウィンドウを閉めます。タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッド、フュエルキャップを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
   身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. フュエルキャップは、何度かに分けて開き、燃料タンク内の圧力を少しずつ下げてからはずします。
   フュエルキャップが「シュー」と音を出すときは、その状態で鳴り止むのを待ってから開けます。いっきに開けると、燃料が給油口から噴き返して、傷害を受けたり火災になるおそれがあります。
4. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
5. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
6. 給油時に気化した燃料を吸い込まないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
7. 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
8. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

走行するときの注意

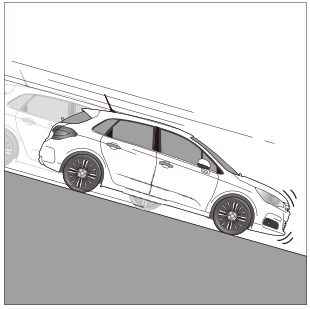
走行中は ENGINE START/STOP スイッチを押さないでください

・走行中に **ENGINE START/STOP** スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。
そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ * を併用してください

・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なレンジを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ
走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車を移動するときはエンジンを始動してください

・エンジンが始動していないときは、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンを始動してください。
車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。また、エレクトリックパーキングブレーキのオートマチック機能を解除している場合は、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください

・ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

・ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
・ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。



タッチスクリーンなどの操作は停車時に行ってください

・運転中にタッチスクリーンなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

雨天の走行は次のことに注意してください

・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。

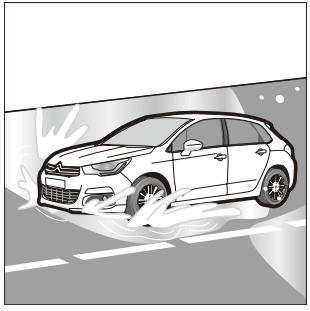
・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象 * を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

* ハイドロプレーニング現象
水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cm を超えるような場合は走行しないでください

・ストップ&スタートを解除する

・エンストしない程度に速度を落とし、時速10km 以上で走行しない

・車を停止したり、エンジンを停止したりしない

冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

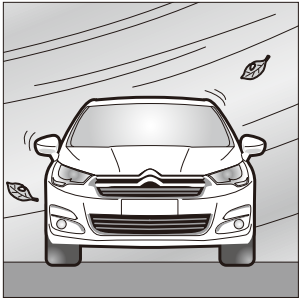
・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。

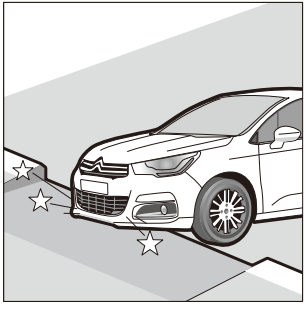


高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

・バックミラーやカメラには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

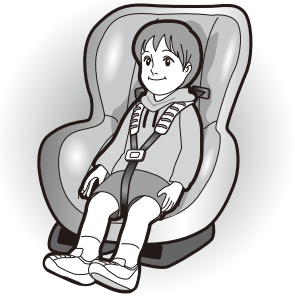
お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

・お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。
・また、万一の事故などで助手席の SRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。



チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください
(→ P.1-13)

・チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合ったシトロエン純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
・取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
・やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
・シトロエン純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、シトロエン販売店にお問い合わせください。

＊仕様により異なります。

ドア、ウィンドウ、サンルーフ * などの開閉は大人が操作してください

・ドア、ウィンドウ、サンルーフなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
・後席にいるお子さまが操作できないように、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティを必ずご利用ください。

ウィンドウやサンルーフ * から手や顔を出さないでください

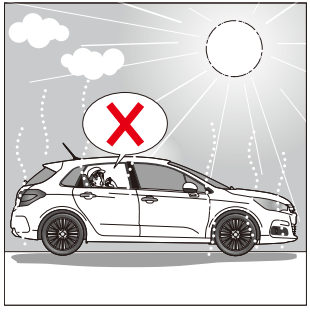
・急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの可動部分に気をつけてください

・お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
・走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

お子さまだけを車内に残さないでください

・車から離れるときは、エンジンを停止し、スマートキーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・炎天下の車内は50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。

・車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

・車庫入れなどで、エンジンが始動している状態のままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

車から離れるときはエンジンを停止し、施錠してください

・シフトポジションを P にしてからエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトポジションを P にし、さらにタイヤに輪止めをしてください。

・貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。

・お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

・車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
・車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
・ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
・ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
・メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあり危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを停止してください

・無意識にプッシュセレクターを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
・エンジンや排気管の異常過熱による火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・車内で仮眠するときは、エンジンを停止し、助手席または後席でしてください。
・排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

・エンジンルーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
・車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

・走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。(「第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照)
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
・走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
・故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

・走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかり握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

・直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンを始動させた状態のままにしないでください

・車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンを始動させた状態のままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

・排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



・降雪時や雪が積もった場所では、エンジンを始動させた状態のままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

・直ちにすべてのウィンドウを全開にする。

・エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。

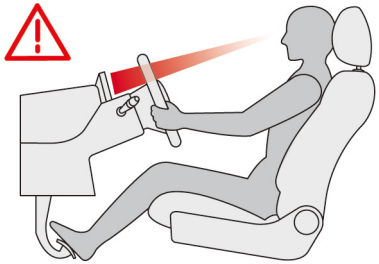
・すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

シート位置についての注意

走行する前に、正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

・運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
・万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転者



・背もたれの角度を調整します。背中が背もたれから離れないように、深く腰掛け、背もたれは倒しすぎない角度に調整します。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。
・フロントウィンドウから前方がよく見える位置に、シートの高さを調整します。
・ペダルが十分踏み込めるように、シートの前後位置を調整します。
・膝がダッシュボードに当たらないようにします。
・座面の奥行きが調整できる場合は、腿がシートクッションに乗るようにします。
・ランバーサポートの調整ができる場合は、背中に合うように張り出しと高さを調整します。
・ステアリングホイールは、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、メーター類が見やすい位置に調整します。

走行する前にミラーの位置を調整してください

・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。
・走行中に調整すると、運転操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は正しい運転姿勢を保ってください

・走行中は正しい運転姿勢を保ち、ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。

他の乗員

・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
・胸部がダッシュボードから25cm 以上離れるように、シートの前後位置を調整します。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。

走行中は背もたれを倒しすぎないようにしてください

・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー *、フォースリミッター ** 付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー
前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター
シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

・肩部ベルトを肩に十分にかけ、首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。また、腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にしてください。

安 全 装 置 に つ い て

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

・医師に注意事項をご確認ください。
・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
・プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄はシトロエン指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

・SRS エアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束の事です。
・SRS エアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

・SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

安 全 装 置 に つ い て

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

・SRS フロントエアバッグは、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

・運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。

・助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください



・ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。

・助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。

・エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。

SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

・SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

・サイドエアバッグは、前席の背もたれ側面（ドア側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部からルーフにかけて収納されています。
・シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
・シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



ABS と ESC ／ ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

・ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
・次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
　・砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
　・タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
　・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
　・石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC ／ ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／トラクションコントロール）を過信しないでください

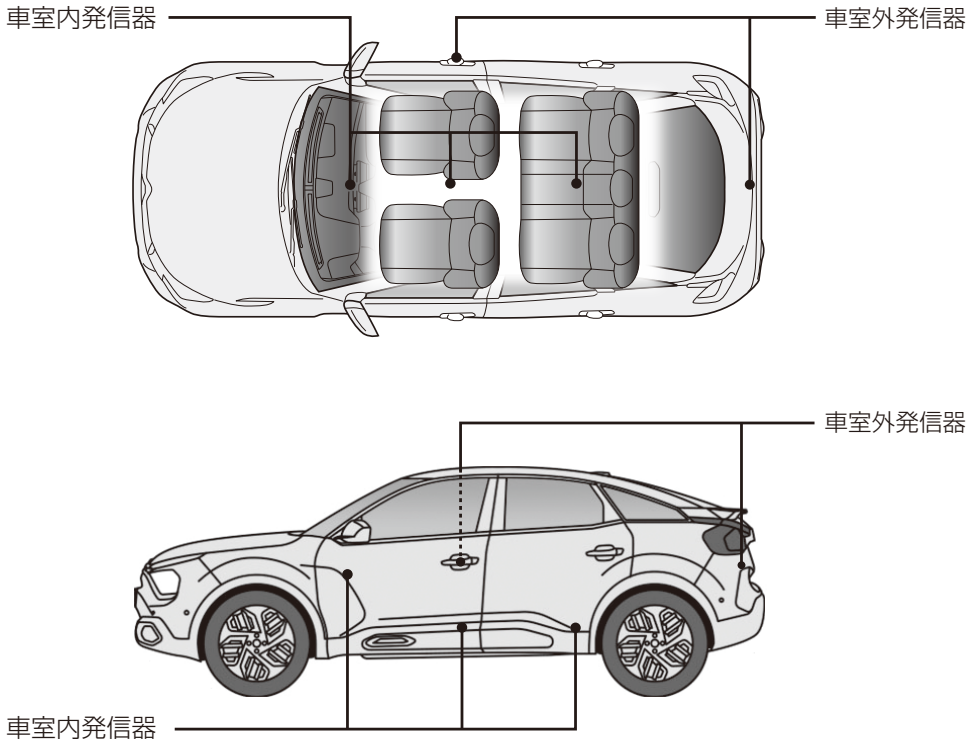
・ESC システムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
・ASR は滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
・ESC ／ ASR が作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC ／ ASR を過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

アンテナ位置



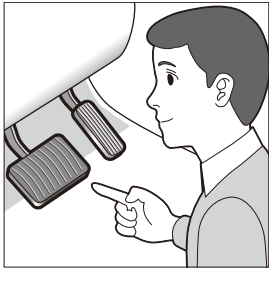
プッシュセレクターの操作についての注意

クリープ現象に注意してください

・クリープ現象とは、エンジンが始動している状態のときにシフトポジションをPまたはN以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
・特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上がっているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

・ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンを始動する前にペダルの位置を確認してください。
・また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



発進前／停車後のプッシュセレクターの操作はブレーキを踏んでください

・エンジンを始動するときはブレーキペダルをしっかり踏み込んでください。
・プッシュセレクターの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
・発進時のプッシュセレクターの操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

・アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はシフトポジションをNにしないでください

・走行中にシフトポジションをNにすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

後退したあとはシフトポジションをNに戻してください

・後退したあとは、すぐシフトポジションをRからNに戻す習慣をつけてください。

運 転 装 置 に つ い て

シフトポジションは目で確認してください

・シフトポジションを変更するときは、必ずシフトポジションを目で確認してください。

追い越しにはキックダウンを利用してください

・D または2速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。

・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車時はシフトポジションを P にしてください

・駐車するときはシフトポジションを P にして、パーキングブレーキをかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

・万一、シフトポジションが P、N 以外にあると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ & スタートについての注意

車から離れるときは、必ず ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてスマートキーを携行してください。ストップ & スタート機能が作動していると、シートベルトをはずしたりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライビングサポート機能についての注意

アクティブセーフティブレーキなどのドライビングサポート各機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずに常に安全運転をお願いします。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

・次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルのSTOP 警告灯が点灯します。
・冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
・ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

・ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
・冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
・オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

・一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
・高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

・車を移動するときは、シフトポジションを **N** にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

・同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、エンジンを始動してシフトポジションを **N** にし、パーキングブレーキは解除します。
・車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを停止します。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
   ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
   事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

＊仕様により異なります。

そ の 他

盗難についての注意

スマートキーは必ず携行してください

・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、スマートキーを携行してください。
・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドア、ウィンドウ、サンルーフ * を確認してください

・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウやサンルーフもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意を

車の改造は禁止されています

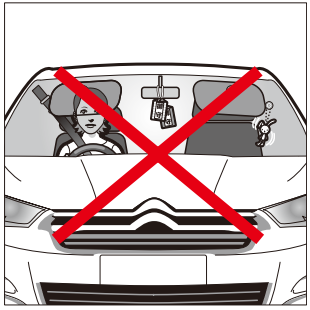
・車の改造やシトロエン純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
・交換はシトロエン指定サービス工場で行ってください。

ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

・ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
・アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



夏季は12V バッテリーのバッテリー上がりが起きやすくなります

・電装品の使いすぎは、12V バッテリーのバッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますので12V バッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

・冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
・積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
・タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
・タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
装着後は100m くらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
タイヤチェーン／ネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
・12V バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
・ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

・タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
・灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

そ の 他

ワイヤレス充電器についての注意

ワイヤレス充電器の電波がおよぼす影響について

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

EDR（イベントデータレコーダー）

この車両には、EDR（イベントデータレコーダー）が装備されています。EDR は、エアバッグの作動時や道路上の障害物との接触時など、一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように設計されています。ただし、衝突の程度と形態などによりデータが記録されない場合があります。
EDR は次のデータなどを記録します。EDR が記録したデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

・車両の各システムの作動状況
・アクセルペダルおよびブレーキペダルなどの操作状況
・車速などの車両情報
・エアバッグの作動に関する情報

MEMO

●EDR は一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合にデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（氏名・性別・年齢・衝突場所など）や、会話などの音声は記録されません。
●EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。シトロエンに加え、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

EDR データの開示

シトロエンおよびシトロエンが委託した第三者は、EDR が記録したデータを車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。
なお、次の場合を除き、シトロエンおよびシトロエンが委託した第三者は、EDR が記録したデータを第三者へ開示・提供することはありません。

・車両の使用者の同意（リース車の場合は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などからの法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

第1章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-6
リアシート…… 1-8
シートベルト…… 1-10
チャイルドシート…… 1-13
エアバッグ…… 1-23
走行する前に…… 1-28
使用燃料について…… 1-28
冬季の取り扱い…… 1-29
保安炎筒…… 1-31
触媒コンバーター…… 1-32

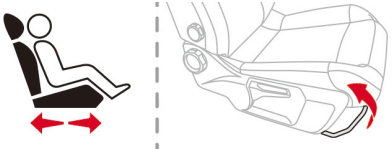
フロントシート

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●シートを調整するときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。

●フロントシートの調整（手動）

フロントシートの前後調整



レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整



ダイヤルを回して背もたれの角度を調整します。

ランバーサポートの調整（運転席）



ダイヤルを回してランバーサポートを調整します。

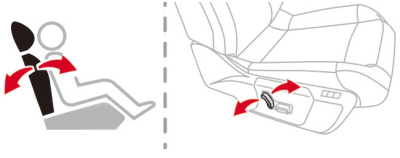
フロントシートの高さ調整



レバーを上下に動かして高さを調整します。

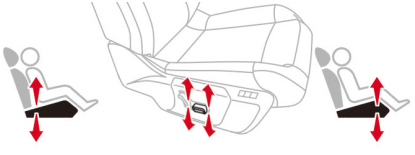
●フロントシートの調整（電動）

背もたれの角度調整



スイッチを前後に倒して背もたれの角度を調整します。

シートの高さと角度調整



・高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
・角度：スイッチの前端を上下して調整します。*

* 仕様により異なります。

ランバーサポートの調整



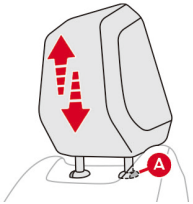
スイッチを押してランバーサポートの張り出しを調整します。

MEMO

電動調整はエンジンが始動している状態のときに行ってください。

●ヘッドレストの調整

高さ調整



ヘッドレストを引き上げると上がります。
ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

ヘッドレストの脱着

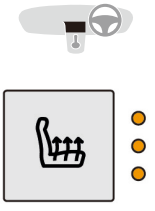
1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. 根元のラグ **A** を押しながら引き上げます。

ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

- ●ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- ●高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ●ヘッドレストをはずして運転しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

●シートヒーター *



シートヒーターは運転席と助手席に装備され、外気温が20℃以下で、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。
ダッシュボードのスイッチを押して設定した温度に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：低
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：高

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもシートヒーターの設定は保持されます。

⚠注 意

●次の方がシートヒーターを使用する場合は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- 皮膚の弱い人
- 疲労の激しい人
- 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

●異常な過熱や低温やけどの原因となるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
- 毛布やクッションなどをかけた状態で使用しないでください。
- 長時間連続して使用しないでください。

注 意

シートヒーターの損傷を防ぐために、次のことをお守りください。
- 重い荷物をシートの上に置いたり、針金やピンなどを突き刺したりしないでください。
- シートの上で立ち上がったり、膝を突いて体重をかけたりしないでください。
- シートの上に水や飲み物などをこぼさないでください。
- シートが濡れているときはシートヒーターを使用しないでください。

MEMO

燃費を良くするためにも、以下のことをお守りください。
- シートに乗員が着席していないときは、シートヒーターを使用しないでください。
- シートが十分に温まったら、シートヒーターの温度設定を低くしてください。

* 仕様により異なります。

●ステアリングヒーター *



ステアリングホイールを暖めることができます。
外気温が20℃以下で、エンジンが始動している状態のとき、運転席側のダッシュボードのスイッチを押すと作動します。作動中はスイッチのインジケーターが点灯します。
再度スイッチを押すと作動が停止し、スイッチのインジケーターが消灯します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにするとステアリングヒーターの作動が停止します。

⚠注 意

次のような方は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- 皮膚の弱い人
- 疲労の激しい人
- 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

●アクティブランバーサポート *

エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）に使用できます。作動すると6分間ランバーサポートのぼう張、収縮が行われ、4分間のインターバルののち再度6分間作動します。作動とインターバルを合わせた10分間のセットが最大6セット・60分で自動的に停止します。

機能の作動



シートのボタンを押すと、インジケーターが点灯し、機能が作動します。

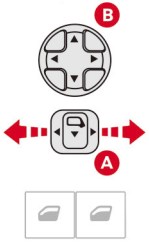
機能の停止



作動中にシートのボタンを押すと、インジケーターが消灯し、機能が停止します。

ミラー

●電動ドアミラー



調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** を左側または右側に動かします。
ミラーは上下左右に角度が変えられます。スイッチ **B** の動かしたい側のボタンを押します。
調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

ドアミラーの格納と展開



スイッチ **A** を中央位置にして後方へ引くと、ミラーが格納できます。
スイッチ **A** が中央位置の状態でもう一度後方へ引くとドアミラーが展開されます。

⚠注 意

ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。

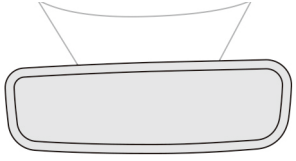
注 意

ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

MEMO

- ●手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
- ●スイッチ **A** を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは復帰しません。スイッチ **A** を中央位置にして後方へ引いてドアミラーを復帰してください。
- ●ダッシュボードのコントロールパネルにあるリアウィンドウの視界確保モードスイッチは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。
- ●プロキシミティキーレスエントリー機能、リモコン、または緊急用キーで施錠または解錠すると、ミラーが自動的に格納または展開されます。この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

●自動防眩バックミラー



センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。

⚠注 意

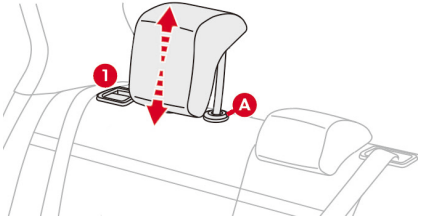
安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

MEMO

シフトポジションを **R** にすると、後方視界を確保するために一時的にミラーが明るくなります。この機能は、ラゲッジルームに積んだ荷物がリアパーセルシェルフの高さを上回ったときや、リアパーセルシェルフの上に荷物を積んだとき、自動的に解除されます。

リアシート

●リアヘッドレスト



高さ調整

高い位置、低い位置の2段階が選択できます。

ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

取りはずし

1. ボタン①を引き、背もたれのロックを解除して前方に少し倒します。
2. ヘッドレストを高い位置まで引き上げます。
3. ラグ **A** を押してヘッドレストを取りはずします。

取り付け

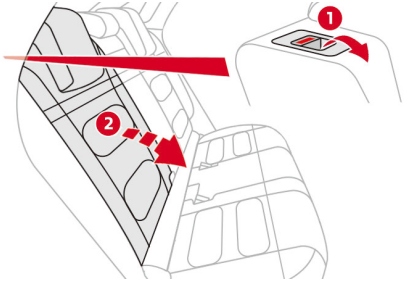
ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

- ●リアシートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。
- ●ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。
- ●ヘッドレストはそれぞれのシート専用のものを使用してください。

●リアシートの折りたたみ

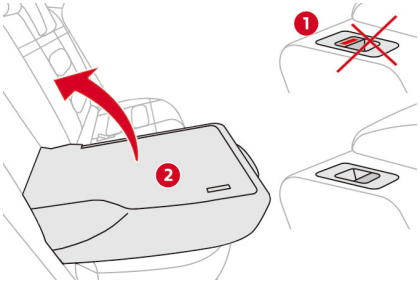
折りたたみかた



1. リアヘッドレストを低い位置にセットします。
2. リアアームレストを元の位置に戻します。*
3. シートベルトをすべてはずし、両サイドのシートのシートベルトは背もたれの脇に寄せます。
4. ボタン①を引き、背もたれ②のロックを解除します。
5. 背もたれ②を前方へ倒します。

* 仕様により異なります。

戻しかた



1. 背もたれ②を起こして元の位置に戻します。
2. シートが確実に固定され、ボタン①の赤い目印が見えないことを確認します。
3. 背もたれがシートベルトを巻き込んでいないか確認します。

⚠警 告

●リアシートを操作するときは、安全な場所に停車させてから行ってください。
●リアシートを元に戻すときには、背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、急ブレーキや事故などのときにケガをするおそれがあります。また、ラゲッジルームの荷物が放り出され乗員がケガをするおそれがあります。

⚠注 意

シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分に注意してください。

注 意

リアシートを戻すときにはシートベルトを巻き込まないようにしてください。

シートベルト

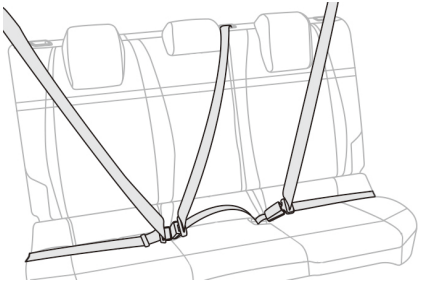
●フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。
この機構は、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに作動します。
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

●フロントシートベルト

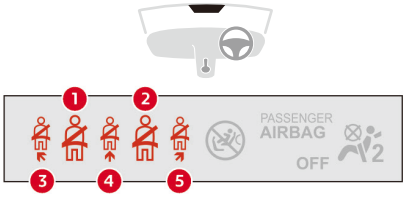
フロントシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。
水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●リアシートベルト



リアシートベルトは３点式で、両サイドのシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。
シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●シートベルトの着用警告



インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、シートベルトを着用していないと、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。シートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①②③④⑤が赤く点灯した場合、点灯した席のシートベルトが締められていません。シートベルトが締められていると消灯します。 後席の警告灯③④⑤は、いずれかが赤く点灯したままであっても、約60秒経過すると警告灯が消灯します。

時速20km 以上で走行中にシートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずすと、約2分間警告音とともにシートベルト警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。

上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg 以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。

MEMO

シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルに差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警 告

- ●着席したシート専用のシートベルトを正しく着用してください。誤って隣接するシートのシートベルトストラップやバックルを使用すると、シートベルトの効果が十分に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ●乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
- ●妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
- ●シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
- ●バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
- ●バックルに異物などを入れないようにしてください。また、シートベルトを着用する前に、バックルに異物などがないか確認してください。

⚠警 告

●シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
●シートベルトを2人以上で共有しないでください。
●お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。
●シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
●シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
●シートベルトを修理、交換する場合はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
●シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、シトロエン指定サービス工場で整備を受けてください。

⚠警 告

●シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

注 意

●シートベルトが傷んだり、絡まったりしないように、シートベルトを使用しないときは、必ず正しい位置に収納してください。
●シートの位置を調整したあとは、シートベルトがシートに巻き込まれていないか確認してください。

MEMO

●降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
●シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
●シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

シトロエンでは、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

⚠警 告

●短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。
また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティをご利用ください。
●後席のウィンドウは3分の1以上開けないようにしてください。
●お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
●お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
●お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●シート位置別チャイルドシート情報

次の表は、チャイルドシートが車内のどのシート位置に対応しているかを示した一覧表です。

シート位置番号	シート位置					
	①運転席	②助手席		③後席右側	④後席中央	⑤後席左側
		エアバッグOFF*1	エアバッグON*2			
シートベルトを使用した一般的なチャイルドシート	X	○*3 *7	○*3 *8	○	○*4	○
i-Sizeチャイルドシート	X	X*5		○	X*5	○
トップテザーアンカーの有無	無	無*5		有	無*5	有
キャリコット	X	X*5		X	X	X
後ろ向きISOFIXチャイルドシート	X	X*5		R3	X*5	R3*6
前向きISOFIXチャイルドシート	X	X*5		F3	X*5	F3*6
ブースターシート	X	B3*5 *9		B3	B3*5	B3*6

※ i-Size チャイルドシートに対応するシート位置は、R1、R2、F2X、F2、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※ R3の固定具に対応するシート位置は、R1、R2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※ F3の固定具に対応するシート位置は、F2X、F2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※ B3の固定具に対応するシート位置は、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※ チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※ シトロエンでは可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

○：チャイルドシートを取り付けできます。

X：チャイルドシートは取り付けできません。

有：トップテザーアンカーを装備しています。

無：トップテザーアンカーを装備していません。

*1 後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

*2 助手席エアバッグの機能をキャンセルしていないときは、前向きチャイルドシートのみ取り付けることができます。

*3 助手席に取り付けるときは、バックレストを元の位置に戻し、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。

*4 レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けられません。

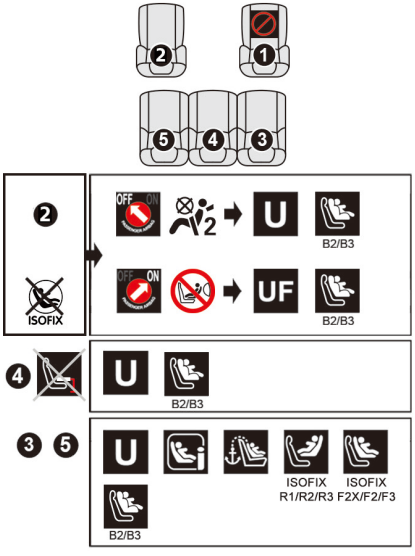
*5 ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていないシートです。

*6 助手席の前後位置は中間、バックレストは元の位置に戻してください。

*7 グループ0、0+、1、2、および3の、前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシート（U）を取り付けることができます。

*8 グループ1、2、および3の、前向きのユニバーサルチャイルドシート（UF）を取り付けることができます。

*9 助手席に取り付けるときは、シートの前後位置を一番後ろまで下げてください。



①：運転席
②：助手席
③：後席右側
④：後席中央
⑤：後席左側

チャイルドシートは取り付けることができません。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしている場合。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしていない場合。

U シートベルトを使用した前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシート（グループ0、0+、1、2および3）の取り付けに適しているシート位置。

UF シートベルトを使用した前向きのユニバーサルチャイルドシート（グループ1、2および3）の取り付けに適しているシート位置。

i-Size チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

レッグサポート付きのチャイルドシートは取り付けることができません。

トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。**ISOFIX** ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。
R1：**ISOFIX** 後ろ向き乳児用チャイルドシート
R2：**ISOFIX** 小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
R3：**ISOFIX** 大型後ろ向き幼児用チャイルドシート

ISOFIX「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

F2X： **ISOFIX** 低型前向き幼児用チャイルドシート

F2： **ISOFIX** 低型前向き幼児用チャイルドシート

F3： **ISOFIX** 全高前向き幼児用チャイルドシート

ブースターシートの取り付けに適しているシート位置。

B2：低型ブースターシート

B3：全高ブースターシート

ISOFIX チャイルドシートを取り付けることができないシート位置。

⚠警 告

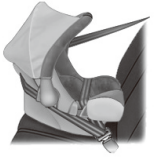
- 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kg まで



このタイプのシートは、体重13kg までのお子さまに適しています。

減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重15kg から36kg まで



体重15kg ～36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。

このタイプのチャイルドシートは、後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。リアシートのヘッドレストを取りはずしてから取り付けてください。



体重15kg ～ 36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、助手席または後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。

●助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠警 告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。



前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席エアバッグの機能はキャンセルしないでください。



助手席の位置
バックレストを元の位置に戻し、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。

⚠警 告

- シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、助手席シート位置を調節してください。

●リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。



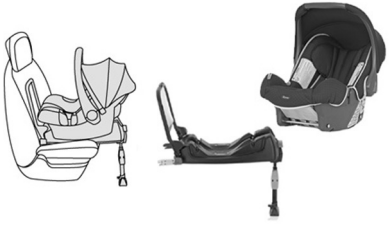
前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

⚠警 告

- ●シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ●前向きチャイルドシートを取り付けるときは、背もたれとチャイルドシートの間のすき間が少なくなるようにしてください。
- ●レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、前席のシート位置を調節してください。
- ●レッグサポート付きのチャイルドシートは後席中央に取り付けないでください。

●ISOFIX チャイルドシート（シトロエン推奨）

新生児から体重13kg まで



後ろ向きチャイルドシート。高さ調整が可能なバーを備えています。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合シェルのみ使用してください。

体重9kg から18kg まで



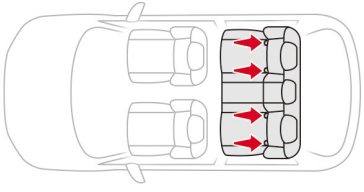
前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、リアシートに設置されている、ISOFIX 規格のシトロエン車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

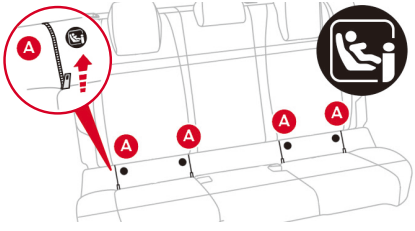
●ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

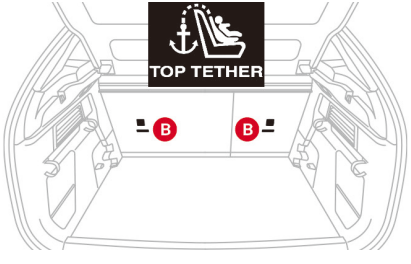
取り付け可能シート位置



ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。
取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの ISOFIX 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が装備されています。

取り付け金具





シートのバックレストとシートクッションの間に2つの金具 A があります。金具 A にジッパーが装備されている場合は、ジッパーを開けて使用してください。
トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカー B に装着してください。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

⚠警 告

●チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
●チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

MEMO

チャイルドシートを後席左側シートに取り付けるときは、後席中央シートのシートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

エアバッグ

エアバッグは ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときだけ作動します。
エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。
万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。
その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。
エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

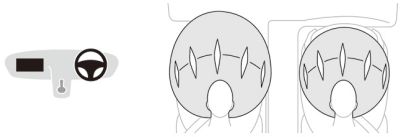
⚠警 告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっておりますので、やけどを負う可能性があります。

MEMO

展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。助手席エアバッグキャンセルスイッチが OFF のときは展開しません。

⚠警 告

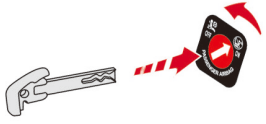
●ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
●助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
●ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

⚠警 告

●ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
- エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
- 助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
- エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
- 喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。

●ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ





チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **ON** にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。

作動中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が約1分間点灯します。

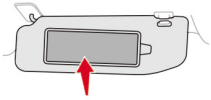
OFF

チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込み、**OFF** の位置にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。



キャンセル中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が点灯します。



助手席のサンバイザーに下記の警告ラベルが貼り付けられています。



⚠警 告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子さまの死亡**または**重症**の原因になることがあります。

●サイドエアバッグ



運転席および助手席のバックレスト側面（ドア側）に収納されており横からの衝撃に対してのみ、左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●シートカバーはシトロエンが推奨するものだけを使ってください。
- ●シートバック部にアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●天井やピラーにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

●故障しているときは

インストルメントパネルのエアバッグ警告灯が点灯します。

この警告灯が点灯したときは、衝撃を受けてもエアバッグが作動しないことがあります。

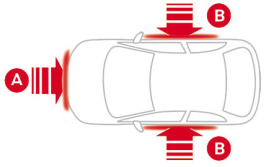
シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

エアバッグ警告灯が点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けないでください。

シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●エアバッグの作動条件



A. フロント衝撃ゾーン
B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件
フロント衝撃ゾーン A に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。
助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグの作動条件
サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

カーテンエアバッグの作動条件
サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

⚠警 告

- ●車両への衝撃の強さは、衝突時の車速や衝突した障害物によって異なります。
- ●車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- ●正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
- ●エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- ●エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

MEMO

エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故のあとは、必ずシトロエン指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

● タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。
適正値は、運転席側または助手席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.3-85）

車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能が付いています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整したあとは必ず初期化をしてください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

ガソリン車には、オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。
ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。
ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm以下）を使用してください。

注 意

ガソリン車に粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

●ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

冬季の取り扱い

●冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。
冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。
シトロエン販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。
スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。
雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。
取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。
チェーンやネットの装着後は、100m 程度走行してゆるみや車体への当たりがないかを確認してください。
シトロエン販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

注 意

- ●アルミホイール装着車は、スノーチェーンを取り付けたら、スノーチェーンがアルミホイールに接触していないことを確認してください。接触していると、アルミホイールに傷が付くおそれがあります。
- ●スペースセーバータイヤには、スノーチェーン、スノーネットを装着しないでください。車体に接触し、車体を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。
- ●雪道や凍結路以外ではスノーチェーン、スノーネットを取りはずして走行してください。路面を損傷したり、スノーチェーン、スノーネット、タイヤの寿命を短くします。

MEMO

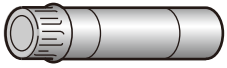
- ●市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていても装着できないものがあります。
- ●スノーチェーン、スノーネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、シトロエン販売店でお求めください。

●その他

・冬季には、12Vバッテリーに高い負荷がかかります。12Vバッテリーは常にフル充電にしてください。
・非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキの使用を避け、シフトポジションをPにして輪止めをかけてください。
・ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
・キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
・ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
・空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
・雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒



車室内に備え付けてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠警 告

●お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠注 意

●非常用信号としてのみご使用ください。
●トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

シトロエン C4には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

・燃料は、ガソリン車には必ず無鉛ガソリンを使用し、ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒を傷めます。
・燃料は早めに補給してください。
・ミスファイヤなどのエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

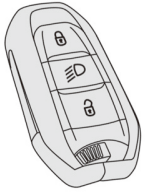
⚠警 告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災に至ることがあります。

第2章　各部の開閉のしかた

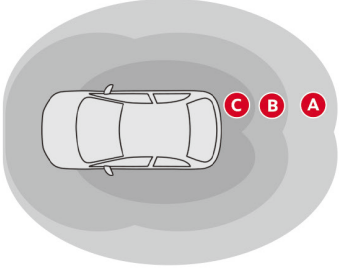
プロキシミティキーレスエントリー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-9
ドア／ドアロック／オートドアロック…… 2-11
テールゲート…… 2-15
パワーウィンドウ…… 2-17
チャイルドセーフティ…… 2-20
サンルーフ…… 2-21
ボンネット…… 2-24
フュエルリッド（給油口）…… 2-25

プロキシミティキーレスエントリー



シトロエン C4には、スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの解錠／施錠やエンジンの始動ができる、プロキシミティキーレスエントリー機能が装備されています。
プロキシミティキーレスエントリー機能は、スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出るとドアやテールゲートの解錠／施錠が自動的に行われます。
また、スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することもできます。
スマートキーには緊急用キーが付いています。

●プロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能の検知エリアはゾーン **A***、ゾーン **B**、ゾーン **C** に分けられます。

ゾーン **A***：車両から約3m の範囲です。検知エリアの外側からゾーン **A** に入るとエクステリアサイドランプが点灯します。

ゾーン **B**：車両から約2m の範囲です。車両から離れてゾーン **B** から出ると自動的に車両が施錠されます。

ゾーン **C**：車両から約1.5m の範囲です。ゾーン **C** に入ると自動的に車両が解錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能はタッチスクリーンの設定でオン／オフできます。

注 意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。

MEMO

スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
- スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

* 仕様により異なります。

●解錠

解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
   すべてのドアおよびテールゲートを同時に解錠する（フュエルリッドも解錠）
2. 選択解錠モード
   最初の操作で運転席ドアのみ解錠する（フュエルリッドも解錠）。次の操作でその他のドアおよびテールゲートを解錠する

設定の変更はタッチスクリーンで行います。

MEMO

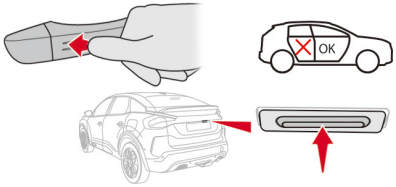
初期設定は通常解錠モードになっています。

●通常解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。
すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯してゾーン **C** に入ります。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押すか、テールゲートのスイッチを押します。
すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。
テールゲートのスイッチを押した場合は、テールゲートが少し開きます。

●選択解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。
運転席ドアのみが解錠されます。
もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびテールゲートが解錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯して運転席側のゾーン **C** に入ります。または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。
運転席ドアのみ解錠されます。
その他のドアおよびテールゲートを解錠するには、スマートキーを携帯してテールゲートのスイッチを押します（テールゲートが少し開きます）。または、センターコンソールのドアロックスイッチを使用するか、その他のドアの内側ドアハンドルを引いてください。

MEMO

●解錠操作するリモコンのボタンを押し続けると、パワーウィンドウおよびサンルーフ*が自動的に開きます。
●解錠するとハザードランプが数秒間点滅します。ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。
●解錠したあと、30秒以内にドアまたはテールゲートを開かないと、自動的に再度施錠されます。
●テールゲートのスイッチを押してすべてのドアおよびテールゲートを解錠するとテールゲートが少し開きます。必ずテールゲートを閉じて施錠してください。
●解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーが運転席側の検知エリアにないと、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動解錠機能や運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押しての解錠はできません。また、スマートキーがテールゲート周辺の検知エリアにないと、テールゲートのスイッチを押しても解錠できません。

MEMO

●スマートキーが車両から2m ～ 7mの範囲内にある状態で30分以上経過すると、スマートキーのバッテリーや12V バッテリーの消費を抑えるために、プロキシミティキーレスエントリー機能が停止します。
●車両を解錠したあと、スマートキーがプロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲内にあるとき、ドアの操作をしないで15分以上経過すると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が停止します。車両を施錠／解錠するには、リモコンを使用するか、運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。運転席ドアのドアハンドルのスイッチで車両の施錠／解錠ができない場合は、スマートキーを車両に近づけてから再度操作してください。

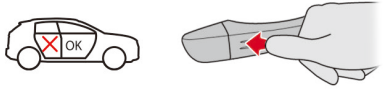
●施錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。
すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーン B から出ます。
ブザーが鳴り、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。
または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

* 仕様により異なります。

MEMO

●施錠操作するリモコンのボタンを押し続けると、パワーウィンドウおよびサンルーフ * が自動的に閉まります。
●施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
●以下のときは、施錠できません。
- **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき
- エンジンが始動している状態のとき
- いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
- スマートキーが車内にあるとき

MEMO

●スマートキーのバッテリーや12Vバッテリーの消費を抑えるために、以下のような状態になることがあります。
- 約1週間車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能の自動解錠機能が停止します。車両のロックを解除するには、リモコンを使用するか、運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。その後、エンジンを始動するとプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が再開されます。
- エンジンが始動していない状態でプロキシミティキーレスエントリー機能のゾーン **A** に繰り返し出入りし、何度もエクステリアサイドランプが点灯すると、エクステリアサイドランプが一時的に点灯しなくなります。*

MEMO

- 長期間（3週間以上）車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能が自動的に停止します。機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押して車両のロックを解錠してからエンジンを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。

⚠警 告

リモコンの施錠ボタンを使用してパワーウィンドウおよびサンルーフ * を閉めるときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

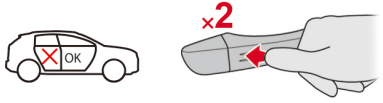
●スーパードアロック

盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する

施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。３秒以内に再度施錠ボタンを押します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに運転席ドアのドアハンドルのスイッチを押します。3秒以内に再度スイッチを押します。

MEMO

- ●スーパードアロックをすると、ハザードランプが数秒間点灯します。
- ●スーパードアロックがされているときも、ステアリングホイールのホーンを使用することができます。

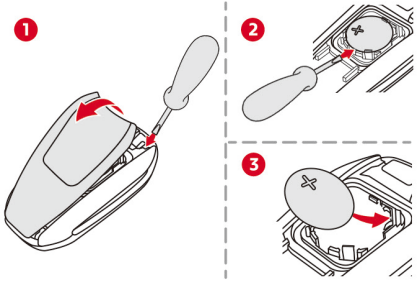
⚠警 告

- ●車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。
- ●お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

●駐車時照明機能（フォローミーホーム）

車に向けてリモコンのフォローミーホームボタンを押すと、駐車時照明機能（フォローミーホーム）が約30秒作動します。
機能が作動している間に再度ボタンを押すと、キャンセルされます。

●電池（CR2032 3V）の交換



リモコンの電池が消耗すると、警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
切れ込みに細いドライバーなどを差し込んでケースを開け①、電池を交換してください②③。

⚠警 告

●電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。化学やけど（化学熱傷）のおそれがあります。
●スマートキーのボタン電池を飲み込むとわずか2時間で重度の化学やけど（化学熱傷）を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってスマートキーのボタン電池を飲み込んでしまった、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
●交換用電池および使用済みの電池は、お子さまの手の届かない場所で保管してください。
●スマートキーのケースがしっかりと閉まらない場合は、そのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所で保管してください。また、すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
●交換用電池は同じ種類の電池を使用してください。異なる種類の電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。

⚠警 告

●次のことを必ずお守りください。電池が爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れるおそれがあります。
- 温度が極端に高い場所や、高度が高く気圧が極端に低い場所で電池を使用したり、保管したり、持ち込んだりしないでください。
- 新しい電池および使用済みの電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

●リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

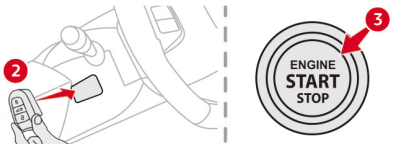
MEMO

●交換用電池はシトロエン指定サービス工場でお求めいただけます。
●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

●リモコンの初期化

電池交換のあとなどにリモコンが作動しなくなったら、以下の手順で初期化をしてください。





1. 前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで解錠します①。
2. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます②。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. シフトポジションがPになっていることを確認します。
5. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押してエンジンを始動します③。

MEMO

- ●初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。
- ●キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- ●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。
  また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。

イモビライザー（盗難防止システム）

シトロエン C4には、イモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。
これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

●スマートキー
車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。
それぞれのスマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。
ENGINE START/STOP スイッチを押すと、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、エンジンの始動を可能にします。
もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。
システムに異常が発生したときは、ENGINE START/STOP スイッチを押すと、メッセージが表示されます。エンジンは始動しません。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。
●イモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
●スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。
もし予備のスマートキーが必要なとき、あるいはスマートキーを取り替えるときには、すべてのスマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのスマートキーをシトロエン指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のスマートキーを登録し直して失ったスマートキーを無効にする（エンジンを始動できなくする）ことをお勧めします。お近くのシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

新しいスマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのスマートキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック／オートドアロック

●車外からドアを開ける

ドアロックを解錠後、ドアハンドルを引いて開けます。

P.2-2の「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。

解錠の仕様が選択解錠モードになっているときは、運転席側の内側ドアハンドルを引くと、運転席ドアのロックのみ解除されます。その他のドアの内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。

MEMO

スーパードアロックがされているときは内側ドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。

●半ドア警告



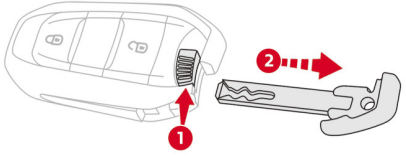
エンジンが始動している状態でドアを開けると、警告灯が点灯し、数秒間メッセージが表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●緊急用キー

以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

- スマートキーで施錠／解錠できないとき
- スマートキーの電池がないとき
- 車両が強い電磁波などを受けているとき

1. スマートキーのレバーを押して①、緊急用キーを取り出します②。



2. 前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込み、車両前方または後方に回して施錠または解錠します。

MEMO

●緊急用キーで車両を解錠した場合は、解錠後にドアまたはテールゲートを開けずに30秒以上経過しても自動的に再度施錠されません。
●緊急用キーを取り出したら、なくさないように注意してください。

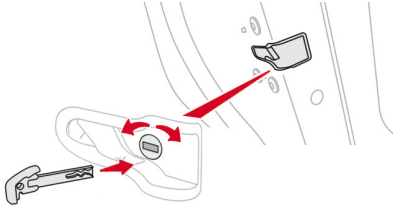
●マニュアルロック（非常時）

12V バッテリーが上がっているときや、12V バッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

前席ドア（鍵穴のあるドア）

緊急用キーをドアの鍵穴に差し込み、車両前方または後方に回して施錠します。

前席ドア（鍵穴のないドア）／後席ドア



1. 後席ドアはチャイルドセーフティが解除されていることを確認します。
2. 緊急用キーを穴に差し込み、右側のドアは左方向に、左側のドアは右方向に回します。
3. ドアを閉めます。

● ドアロック／オートドアロック



ロックスイッチを押すと、車両の施錠ができます。施錠するとインジケーターが点灯します。
ドアのいずれかが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。
解錠するときはスイッチを再度押してください。

MEMO

外側から施錠されている場合、またはスーパードアロックがかかっている場合は、インジケーターが点滅し、ロックスイッチを押しても解錠しません。外側から施錠されている場合は、内側ドアハンドルを引いて解錠してください。スーパードアロックがかかっている場合は、キー、リモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使って解錠してください。

●オートドアロック機能

時速10km 以上で走行すると、自動的に施錠されます。

完全に閉まっていないドアやテールゲートがあると、オートドアロックは作動しません。警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

⚠警 告

オートドアロックされている状態では、非常時に救助活動のため外部からドアを開けることが困難となる場合があります。

MEMO

テールゲートが開いたままでも、ロックスイッチを使用して集中ロックができます。

●オートドアロック機能のオン／オフ

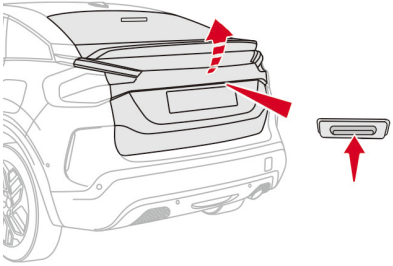


機能をオンにするには
ロックスイッチを2秒以上押し続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

機能をオフにするには
ロックスイッチを再度2秒以上押し続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

テールゲート

●テールゲートを開ける



ドアの施錠／解錠と連動しています。
テールゲートのスイッチを押してから持ち上げます。
P.2-2の「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

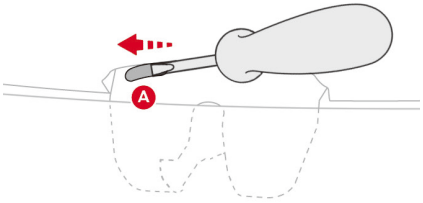
●テールゲートを閉める

テールゲート内側のハンドルを持って引き下げます。

●テールゲート閉め忘れ警告

エンジンが始動している状態のときにテールゲートを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km 以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●テールゲートが解錠しないとき



集中ドアロックシステムのトラブルなどでテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーを A に差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。

MEMO

水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。

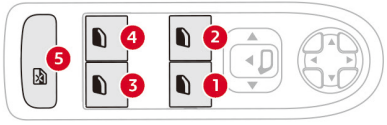
⚠警 告

●安全上、操作上、法律上の理由で、テールゲートを開けた状態での走行はしないでください。
●テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
●テールゲートに損傷や作動不良がある場合は、すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。テールゲートが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

注 意

ストラットダンパーを引いてテールゲートを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

パワーウィンドウ



①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

●ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してから操作をしてください。

●挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。

●パワーウィンドウの再初期化

12V バッテリーをはずしたあとなど正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。（1回の操作で2 ～ 3cm 程度しか動きません）
3. ウィンドウが全閉するまで手順2の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを1秒以上引き続けてください。

⚠注 意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

⚠警 告

- ●走行中や一時停止したときに開いたウィンドウから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- ●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
- ●ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
- ●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
- ●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
- ●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

●リアウィンドウキャンセルスイッチ

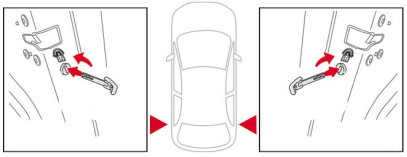


スイッチ⑤を押すと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。お子さまの危険防止に有効です。
スイッチ⑤のインジケーターが点灯している場合は、後席での操作はできません。
スイッチ⑤のインジケーターが消灯している場合は、後席での操作は可能です。

MEMO

●後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなっているときも、運転席にある後席ウィンドウ開閉スイッチでの操作は可能です。
●車両が強い衝撃を受けると、リアウィンドウのキャンセルが解除され、後席での操作ができるようになります。

チャイルドセーフティ



車内のドアハンドルで後席ドアを開けられなくすることができます。お子さまの危険防止に有効です。
チャイルドセーフティを作動させるには、緊急用キーをドアの端部にある穴に差し込み、左側のドアは左方向に、右側のドアは右方向に回します。
チャイルドセーフティを解除するには、緊急用キーをドアの端部にある穴に差し込み、左側のドアは右方向に、右側のドアは左方向に回します。

MEMO

チャイルドセーフティが作動していても、外からドアを開けることができます。

* 仕様により異なります。

サンルーフ *





●サンルーフ

開くとき
スイッチの後ろを1回軽く押すと、サンルーフがチルトアップした状態になります。

スイッチの後ろを軽く押し続けると、押している間はサンルーフが開きます。スイッチから手を離すとサンルーフが停止します。

スイッチの後ろを1回強く押すと、サンルーフは自動的に全開します。
途中で止めるときは、再度スイッチを押します。

閉じるとき
スイッチの前を軽く押し続けると、押している間はサンルーフが閉じます。スイッチから手を離すとサンルーフが停止します。

スイッチの前を1回強く押すと、サンルーフは自動的に全閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチを押します。

MEMO

●サンルーフを開くとサンシェードが連動して開きます。サンルーフをチルトアップすると、サンシェードが少し開きます。サンルーフを閉じてもサンシェードは連動して閉じません。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにサンルーフを開閉できます。また、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒間は、サンルーフの操作ができます。それ以降は、再度 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してから操作してください。
ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのときでも、エコノミーモードに入るとサンルーフの操作はできなくなります。
●ストップ & スタートの停止モードのときもサンルーフを開閉できます。

●挟み込み防止機能

サンルーフには、挟み込み防止機能が付いており、閉作動中に障害物があるとサンルーフが止まって少し開きます。

MEMO

サンルーフの開閉を手動で停止させたり、サンルーフを手動で動かしたりすると、挟み込み防止機能が作動しなくなることがあります。挟み込み防止機能を復帰させるには、サンルーフを初期化してください。

●サンルーフの初期化

12V バッテリーをはずしたあとなど、正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチの前を押し続けます。サンルーフが少しずつ閉方向に動きます。
2. そのままの状態で、サンルーフが全閉し、再度少し開閉するのを確認します。
3. 開閉動作が完了したら、約1秒後にスイッチから指を離します。

●サンシェード

手動で好みの位置まで開閉します。

MEMO

サンシェードはサンルーフの開口部まで閉じることができます。

⚠警 告

●走行中や一時停止したときに開いたサンルーフから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
●走行中や一時停止したときに開いたサンルーフの端部に腰掛けたりしないでください。急ブレーキや事故の際に投げ出されるおそれがあります。
●サンルーフやサンシェードを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。誤って接触したときは、直ちにサンルーフやサンシェードを開けてください。
●同乗者がサンルーフやサンシェードを操作するときも十分に注意してください。
●お子さまにはサンルーフやサンシェードの操作をさせないでください。

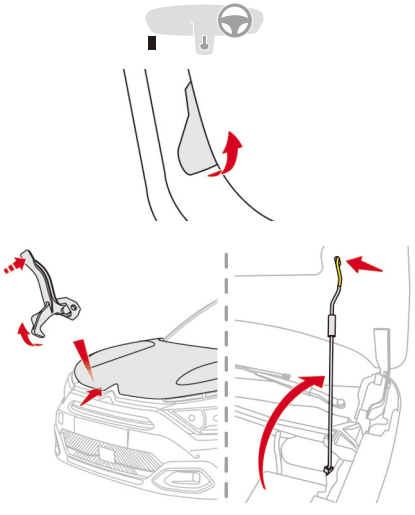
注 意

●ルーフキャリアの荷物などがサンルーフの動きを妨げないように注意してください。
●サンルーフに重い荷物などを置かないでください。
●サンルーフに雪が積もっているときは、サンルーフ上の雪を取り除いてから操作してください。故障するおそれがあります。
●サンルーフの雪を取り除くときは、車体に傷が付かないようなものを使用してください。
●サンルーフが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまで操作を控えてください。無理にサンルーフを動かすと破損するおそれがあります。
●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上サンルーフシールから離してご使用ください。

MEMO

●車から離れるときや洗車するときは、サンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
●雨のあとや洗車後など、サンルーフが濡れているときは、サンルーフ上の水を拭き取ってから操作してください。室内に水が入ることがあります。
●サンルーフシールにゴミや汚れなどが溜まると正常に作動しなくなることがあります。常に汚れを落としてください。

ボンネット



●ボンネットを開けるには

1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

ボンネットを開ける際には、6-6ページの警告をお読みください。

⚠警 告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。
また、ストップ&スタートによりエンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
●強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

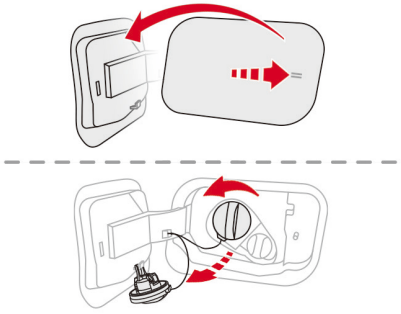
●ボンネットを閉めるには

支柱を元の位置に戻してからボンネットを引き下げ、下から30cm ぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。上から押さないでください。

⚠警 告

ボンネットを閉めたあと、ロックされたことを確認してください。

フュエルリッド（給油口）



ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。

1. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
2. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。
3. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
4. 給油ノズルを給油口に一番奥まで差し込み給油を開始します。
5. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。
6. 給油が終わったらノズルを抜いて、フュエルキャップを取り付けます。
7. 給油フラップを閉めます。

警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。
警告灯が点灯した場合、残量は約6リットルです。早めに燃料を補給してください。
もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも5リットル以上は給油してください。

MEMO

- ●燃料タンクの容量は、約50リットルです。
- ●燃料残量警告灯の三角のマークはフュエルリッドの方向を示しています。

⚠警 告

- ●給油中はエンジンを停止してください。
- ●ストップ＆スタートの停止モードのまま給油しないでください。必ず、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。
- ●給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱でぼう張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
- ●給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

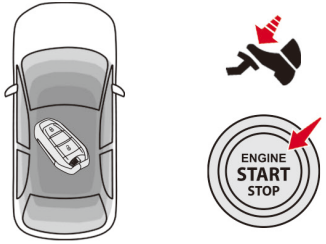
注 意

指定の燃料を使用してください。

第3章　運転装置の使いかた

エンジンの始動……3-2
ステアリング／ホーン……3-6
エフィシェント・オートマチック・
トランスミッション……3-7
ドライブモード……3-13
エレクトリックパーキングブレーキ……3-14
ヒルスタートアシスタンス……3-18
ESC（エレクトロニック
スタビリティコントロール）……3-19
SCR（選択式還元触媒）システム
（ディーゼル車）……3-23
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）
（ディーゼル車）……3-26
ストップ&スタート……3-27
ブラインドスポットモニター……3-31
レーンキープアシスト……3-34
ドライバーアテンションアラート……3-39
アクティブセーフティブレーキ……3-42
トラフィックサインインフォメーション……3-48
アクティブクルーズコントロール
（ストップ&ゴー機能付き）……3-52
レーンポジショニングアシスト……3-62
スピードリミッター……3-70
フロント／サイド／バックソナー……3-73
バックカメラ……3-76
パークアシスト……3-78
間接式タイヤ空気圧警告……3-85

エンジンの始動



スマートキーが車内にあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

⚠警 告

●エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
●エンジンが始動している状態のときは、車から離れないでください。

注 意

車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションが **P** になっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

MEMO

●エンジンの始動条件を満たしていない場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
●エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。
●ガソリン車は、エンジンが冷えた状態では、触媒コンバーターを早期に暖機する必要があるため、エンジン始動後しばらくの間アイドリング中にエンジンの振動が発生する場合がありますが、故障ではありません。

●エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを **P** にします。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
4. エンジンが停止し、シフトポジションが **P** でロックされます。

MEMO

●エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。
●車を完全に停止しないとエンジンは停止しません。

●ENGINE START/STOP スイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

アクセサリーポジション

ENGINE START/STOP スイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

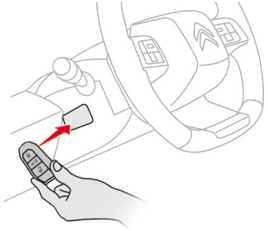
スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押すと、スタートポジションになります。
エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エンジンの緊急始動

スマートキーが車内にあるにも関わらず、ENGINE START/STOP スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが P になっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。



4. ブレーキペダルを踏みながら ENGINE START/STOP スイッチを押します。



5. エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

●エンジンの緊急停止

緊急時のためにエンジンを強制的に停止することができます。

強制的にエンジンを停止するには、ENGINE START/STOP スイッチを約5秒間押し続けます。

⚠警 告

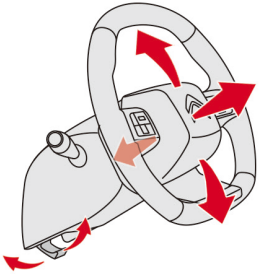
走行中にエンジンを停止すると、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。車両のコントロールが難しくなるため、すみやかに安全な場所に停車してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

- ●緊急時以外は使用しないでください。
- ●スマートキーが車内にないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。車内にスマートキーがない状態でエンジンを停止しようとすると、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。エンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP** スイッチを約5秒間押し続けます。
- ●エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

ステアリング／ホーン

●チルト・テレスコピックステアリング



ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠注 意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。

●ホーン



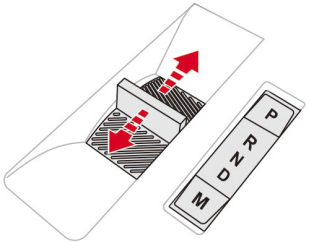
ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。

MEMO

ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

エフィシェント・オートマチック・トランスミッション

●プッシュセレクター／シフトポジション



プッシュセレクターを前後に動かす、またはプッシュセレクターの右側にあるスイッチを押してシフトポジションを選択します。選択されているシフトポジションは、インストルメントパネルおよびプッシュセレクターの右側にあるインジケーターに表示されます。**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもしばらくの間、インジケーターにシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：前輪がロックされた状態になります。駐車するとき、またはエンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- **P** にシフトするときは、スイッチ **P** を押します。
- エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。

R. リバース：後退します。
エンジンがアイドリング状態で、車が停止しているときにシフトしてください。

- **P** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクターを強く押します。
- **N** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクターを押します。
- **D** から **R** にシフトするときは、プッシュセレクターを強く押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。エンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- **P** から **N** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクターを押すか引きます。
- **D** から **N** にシフトするときは、プッシュセレクターを押します。
- **R** から **N** にシフトするときは、プッシュセレクターを引きます。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。

- **P** から **D** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクターを強く引きます。
- **N** から **D** にシフトするときは、プッシュセレクターを引きます。
  時速5km 以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセレクターを引きます。
- **R** から **D** にシフトするときは、プッシュセレクターを強く引きます。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

M. マニュアルシフトポジション：パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えます。アクセルペダルを踏み込んだまま操作することができます。

・**M** にシフトするときは、**D** にシフトしてからスイッチ **M** を押してください。
・**M** から **D** にシフトするときは、プッシュセレクターを押すか、スイッチ **M** を押します。

⚠警 告

停止中または極定速で走行中に運転席ドアを開けると、シフトポジションが自動的に **P** になります。特に、極定速で走行中にシフトポジションが **P** になると、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションなどを破損するおそれがあります。極定速で走行中に運転席ドアを開かないでください。

注 意

R や **D** にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。

MEMO

●運転席ドアが開いた状態でシフトポジションを **P** から他のポジションにすると、警告音とともにメッセージが表示されます。
●マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲内でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。
●プッシュセレクターは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。

●パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが **D** または **M** のとき、右側（+）のスイッチでシフトアップ、左側（−）のスイッチでシフトダウンします。

MEMO

●シフトポジションが **D** のとき、パドルスイッチでのギアの切り替えは一時的な操作です。シフト操作後は、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
●パドルスイッチを使って、シフトポジションを **N** または **R** に切り替えることはできません。また、**R** から他のポジションに切り替えることもできません。

●シフトタイミングインジケーター*



マニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトチェンジを促して燃費向上のアドバイスをします。
アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークと推奨ギアが表示されます。

MEMO

- ●シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
- ●追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- ●シフトタイミングインジケーターは、以下の変速は促しません。
  - • 1速への変速
  - • リバースギアへの変速

⚠警 告

シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションをD、Rまたは Mにすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンが始動している状態のままでお子さまだけを残して車を離れないでください。
点検のためにエンジンが始動している状態のままで車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションをPにしてください。

●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでください。
シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。
ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

* 仕様により異なります。

●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D** レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトポジションを **M** レンジにして低いギアを選択することができます。（たとえば **D** →**3**、**3**→**2**）
ただし、**2**から**1**への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件（雪道や凍った道路）では十分にご注意ください。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと **P** から他のシフトポジションにすることはできません。

MEMO

警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●シフトポジション N でエンジンを停止する

シフトポジションが **N** の状態でエンジンを停止するには、以下の操作を行います。この状態は15分間保持されます。15分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になります。

1. 停車し、エンジンが始動している状態でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを **N** にします。
2. ブレーキペダルを踏んだまま **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
3. 約5秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままプッシュセレクターを1回押すか引きます。チャイムが鳴り、プッシュセレクターの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。
4. ブレーキペダルを放します。
5. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにします。
6. ブレーキペダルを踏みながらエレクトリックパーキングブレーキを解除します。
7. ブレーキペダルを放します。
8. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。

MEMO

●操作が正常に完了すると、チャイムが鳴り、プッシュセレクターの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。また、シフトポジションが自動的に **P** になるまでの残り時間をお知らせするメッセージが表示され、1分経過する毎にチャイムが鳴ります。
●**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにしたり、アクセサリーポジションからオフにしたりしても、シフトポジションが **N** の状態とエレクトリックパーキングブレーキが解除された状態が保持されます。
●15分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になりますが、エレクトリックパーキングブレーキは解除された状態のまま保持されます。手動でエレクトリックパーキングブレーキをかけてください。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにするとき、またはアクセサリーポジションからオフにするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとエンジンが始動するため、手順を最初からやり直してください。
●次回エンジンを停止するときはシフトポジションが自動的に **P** になります。

● トランスミッションの異常

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り **3**（3速）に固定されて走行します。
セーフモードでは、マニュアルシフトポジションへの切り替えやパドルスイッチを使ってシフトチェンジすることができなくなります。
シフトポジションを **R** にしたときに、大きなショックを伴うことがありますがトランスミッションを損傷することはありません。時速100km 以下の速度で走行して、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

●プッシュセレクターの異常

警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、プッシュセレクターに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、プッシュセレクターの横にあるインジケーターにシフトポジションが表示されなくなることがあります。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

また、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●走行中は、シフトポジションを **N** にしないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
●長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、ブレーキペダルとエンジンブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●車から離れるときは、シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
●エンジンが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

⚠警 告

●エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●シフトポジションを **R** や **D** にするときは、停止した状態で、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注 意

●車が完全に停止する前にシフトポジションを **P**、**R**、**D** にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。
●アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

ドライブモード



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモードを選択することができます。

●ドライブモードの選択

DRIVE MODE ボタンを数回押して、**Eco**、**Normal** または **Sport** を選択します。選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。

MEMO

- ●エンジンを始動する度に自動的に **Normal** が選択されます。
- ●**Normal** が選択されている場合を除き、選択されているモードがインストルメントパネルに常に表示されます。

●ドライブモードの種類

Eco（エコ）
エアコンはオフにせず、暖房／冷房の作動を抑えることで、燃費を向上させる走行に適しているモードです。
また、フリーホイール機能が装備されていて、**Eco（エコ）**で走行中にアクセルペダルを放すと、トランスミッションとエンジンの接続を自動的に切り離してエンジンブレーキを解除し、燃料消費量を減少させます。

Sport（スポーツ）
アクセルレスポンス、パワーステアリング、トランスミッションを制御してよりスポーティな走りを実現するモードです。

Normal
通常の走行に適しているモードです。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

・エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
・パーキングブレーキスイッチの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

⚠警 告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトポジションがD、MまたはRでアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

パーキングブレーキが自動的に解除されない場合は、運転席ドアが確実に閉まっているか確認してください。

●パーキングブレーキの手動操作

パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。



パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。



運転席ドアが開いた状態でパーキングブレーキをかけずにシフトポジションを **P** から他のポジションにすると、警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。



パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。



ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを押し込んで放すと、パーキングブレーキは解除されず、メッセージが表示されます。

⚠警 告

- エンジンが始動している状態で停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。ブレーキが解除され、車が飛び出すおそれがあります。
- 駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。
- エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。
- 12V バッテリーが上がったときなど、エレクトリックパーキングブレーキが作動しない場合は、輪止めをして車が動き出さないようにし、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

坂道に駐車するときには、シフトポジションを **P** にし、タイヤを路肩に斜めに当ててパーキングブレーキをかけてください。

●システムの解除

気温が低下して路面が凍結するような状況などでは、次の方法でオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能をオフにしてください。

1. エンジンを始動します。
2. パーキングブレーキが解除されている場合は、パーキングブレーキスイッチを手前に引いて、パーキングブレーキをかけます。
3. ブレーキペダルを離します。
4. パーキングブレーキスイッチを10秒以上、15秒以下押し続けます。
5. パーキングブレーキスイッチを離します。
6. ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを2秒以上引きます。



オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、自動でパーキングブレーキをかけたり解除することができません。手動で操作してください。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させるときは、再度機能を解除する操作を行ってください。機能が復帰すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

●非常ブレーキ

ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチを引き続けて車両を停止します。
非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。
非常ブレーキに異常が発生した場合はメッセージが表示されます。

⚠警 告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。



この警告灯が点灯しているときは、ESC システムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。車が完全に停止するまで、パーキングブレーキスイッチを繰り返し引いて安定性を確保してください。

ヒルスタートアシスタンス

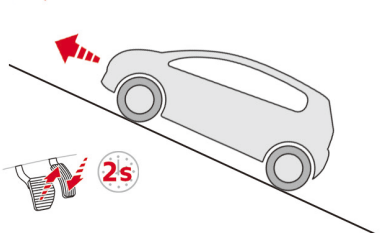
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

・坂道で車が完全に停止してブレーキペダルがしっかりと踏まれている。
・運転席ドアが閉まっている。
・坂道の勾配が適正である。

⚠警 告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずエンジンが始動している状態のまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

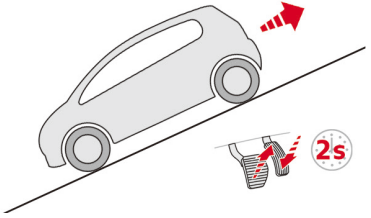


●登り坂で前方へ発進するとき

シフトポジションが D または M のとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

MEMO

ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。ただし、パーキングブレーキをかけると、ヒルスタートアシスタンスの機能が一時的に解除されます。



●下り坂で後方へ発進するとき

シフトポジションが R のとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

●ヒルスタートアシスタンスの故障

システムに異常が発生したときは、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

ESC は急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

・ABS（アンチロックブレーキシステム）
・EBFD（電子式制動力制御装置）
・EBA（ブレーキアシスト）
・ASR（トラクションコントロール）
・DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

また、衝突や追突などで衝撃を受けるとESC が自動ブレーキを作動させ、多重事故の危険を低減させる PCSB（ポストコリジョンセーフティブレーキ）も装備しています。

●ABS（アンチロックブレーキシステム）

電子式制動力制御装置（EBFD）を備えた ABS システムは、ホイールがロックしそうになると ABS が作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

●EBA（ブレーキアシスト）

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

●ASR（トラクションコントロール）

路面状況に応じた制御をすることによって、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

●DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

4輪のブレーキとエンジンの出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されて ABS 警告灯が点灯する場合があります。シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
●ABS や EBA が作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
●凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASR システムを解除してください。

●システムの異常

ABS の機能に異常が発生したときは、ABS 警告灯が点灯します。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

ブレーキシステムに異常が発生したときは、警告音とともにブレーキ警告灯、ABS 警告灯および STOP 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。直ちに停車してエンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

ABS や EBA は、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。
路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。
この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●ASR ／ DSC システムの作動

エンジンを始動すると、ASR ／ DSC システムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

ASR ／ DSC システムが作動すると、ASR ／ DSC 警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

●ASR システムのオン／オフ

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動で ASR システムをオフにすることができます。ASR システムのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。



ASR システムをオフにすると、ASR オフ警告灯が点灯するとともにメッセージが表示され、運転者に ASR システムがオフになったことを知らせます。

オフにしたシステムは、タッチスクリーンの設定でオンにできます。また、次の状態で自動的にオンになります。

・**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする。
・時速50km 以上で走行する。

●ASR ／ DSC システムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともに ASR ／ DSC 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ASR ／ DSC システムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつシトロエン指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●PCSB（ポストコリジョンセーフティブレーキ）

ポストコリジョンセーフティブレーキは、事故などで衝突を検知すると自動ブレーキをかけることで車両を減速させ、多重事故の危険を低減させるシステムです。

このシステムは、以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

・衝突によりエアバッグやシートベルトプリテンションシステムが作動したとき
・衝突したあとも車両のブレーキシステムや電気系統が正常に作動しているとき
・運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいないとき

⚠警 告

ポストコリジョンセーフティブレーキは、二次衝突による被害を軽減することを目的としていて、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信しないでください。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

MEMO

●自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。
●運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏むと自動ブレーキは解除されます。

システムの異常



システムに異常が発生したときは、ASR オフ警告灯とともに SERVICE 警告灯が点灯します。注意して走行し、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



エアバッグシステムまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生したときは、エアバッグ警告灯とともに SERVICE 警告灯が点灯します。注意して走行し、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）

シトロエン C4は SCR（選択式還元触媒）システムと DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。SCR は、AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。

MEMO

- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。AdBlue® の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●走行可能距離の表示

AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。
走行可能距離が2400km 以内の場合、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、警告音とともに警告灯が点灯／点滅し、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離をお知らせするメッセージを表示します。

警告灯	走行可能距離	対処方法
AdBlue	800km から2400km	AdBlue® の残量が少なくなっています。 早めにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue または AdBlue	100km から800km	AdBlue® の残量がわずかになっています。 すみやかにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue	100km 以内	AdBlue® の残量がわずかになっています。 AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue	0km	AdBlue® の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

走行可能距離が2400km 以上の場合は、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動しても走行可能距離は表示されません。走行可能距離は、タッチスクリーンの操作で確認することができます。

●SCR システムの異常

SCR システムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。
警告が続けて表示される場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
そのまま走行を続けると、約1100km走行したあとは、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。

SCR システムに異常がある場合



SCR システムに異常が発生した場合は、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すればSCR システムの異常は解消されています。
SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。
シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR システムの異常により、走行可能距離が1100km 以内になった場合



SCR システムに異常が発生したあと、異常が解消されないまま約50km 走行すると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
この警告が表示されると、走行可能距離は約1100km 以内です。
そのまま走行を続けると、約1100km 走行したあとは、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

SCR システムの異常が解消されない場合は、走行中は、30秒ごとにメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動する度に警告が表示されます。

SCR システムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、または **ENGINE START/STOP** スイッチをスタートポジションにすると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）（ディーゼル車）

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼（再生）処理します。
捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、時速60km 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼（再生）処理することが必要です。

注 意

DPF の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

●ススの燃焼（再生）処理



DPF にススが一定量堆積すると、警告灯が一時的に点灯するとともにメッセージが表示されます（警告音がする場合があります）。
警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに時速60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。
燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。

MEMO

- ●ご購入いただいてから最初の燃焼（再生）処理中は、焦げたような臭いがすることがありますが、異常ではありません。
- ●長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙（水蒸気）が出ることがありますが、異常ではありません。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。
エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

●作動条件

ストップ＆スタートは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

・運転席ドアが閉まっているとき
・運転席のシートベルトが締められているとき
・12V バッテリーの電力が十分にあるとき
・エンジンが異常に熱くなっていないとき
・外気温が0℃以上、35℃以下のとき

●停止モードへの移行

すべての作動条件を満たしている、および以下のときに停止モードに移行します。

・シフトポジションが **D** または **M** でブレーキペダルを踏んで停止したとき
・停止中にシフトポジションを **N** にしたとき

Ⓐ エンジンが停止すると、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

また、タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

⚠警 告

停止モードのまま給油しないでください。必ず **ENGINE START/STOP** スイッチを押してエンジンを停止してください。

MEMO

●車庫入れなど、**R** からギアを入れ替えたときやステアリングを回したときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
●停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

●停止モードにならないとき

いずれかの作動条件を満たしていない、または以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

・坂道の勾配が急なとき
・**ENGINE START/STOP** スイッチを押してエンジンを始動してから時速 10km を超えていないとき
・エアコンが曇りとりモードのとき
・車内の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき

インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

・シフトポジションを **D** か **M** にしてブレーキペダルを放したとき
・シフトポジションが **N** でブレーキペダルを放し、シフトポジションを **D** か **M** にしたとき
・シフトポジションが **P** でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを **R**、**N**、**D**、**M** のいずれかにしたとき
・シフトポジションを **R** にしたとき

エンジンが始動すると、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。

●自動的にスタートモードになるとき

すべての作動条件を満たしている場合でも、シフトポジションが **N** で時速1kmを超えるとエンジンが自動的にスタートモードになります。



インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ＆スタートのオン／オフ

ストップ＆スタートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。



ストップ&スタートをオフにすると、インストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

注 意

停止モードのときに作動を解除すると、直ちにエンジンが始動します。



エンジンを始動すると、システムはオンになります。

●ストップ&スタートの故障



インストルメントパネルの表示灯が点滅したのち連続点灯し、メッセージが表示されたときは、システムに故障が発生しています。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてエンジンを始動してください。

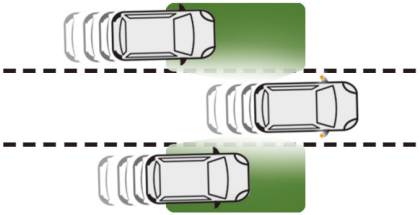
●点検時の注意点

このシステムではストップ&スタート専用に設計された12V バッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

⚠警 告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ&スタートによりエンジンが急に始動し、作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。

ブラインドスポットモニター

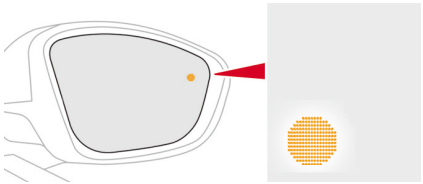


ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

⚠警 告

このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。

●システムの警告のしかた



他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯します。

・自車が追い越しをされる場合は、追い越そうとする車がブラインドゾーンに進入した直後に点灯します。
・自車が追い越しをする場合は、追い越してから約1秒後に点灯します。

●システムのオン／オフ

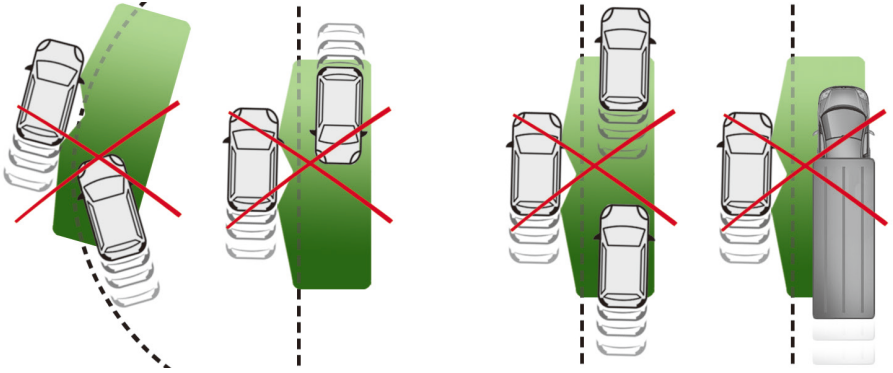
ブラインドスポットモニターのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。システムをオンにすると、ドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。

MEMO

●ブラインドスポットモニターがオンのときは、エンジンを始動するとドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。
●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

以下の作動条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

・自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
・時速12km ～時速140km（パークアシスト装備車は時速30km ～時速140km）で走行している
・追い越しをしている場合、他車との速度差が時速10km 未満
・追い越される場合、他車との速度差が時速25km 未満
・道路状況が混雑していない
・追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
・直線またはゆるやかなカーブを走行している



以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

・静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
・自車とは逆方向に走行している車
・曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
・大型車を追い越す（または追い越される）とき
（大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき）
・道路状況が混雑しているとき
（前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない）
・急速に追い越すとき
・パークアシストが作動しているとき *

* 仕様により異なります。

●システムの故障

システムに異常が発生したときは、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●悪天候や冬季には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

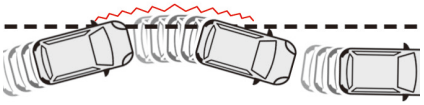
注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

MEMO

●システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
●濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。

レーンキープアシスト



フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の端、路肩、および走行車線の車線マーカーを検知し、車両が車線を逸脱する可能性があると判断したとき、警告表示とハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。



レーンキープアシストの作動中は、警告灯が点滅します。

MEMO

●レーンキープアシストが作動すると、ハンドルが自動的に動いてハンドル操作を修正します。
●レーンキープアシストが作動しても、運転者がハンドルをしっかり持ち操作を行うことで、ハンドル操作の自動修正を中断することができます。

●作動条件

レーンキープアシストは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

・時速70km ～時速180km で走行しているとき
・車線が中央線で区切られているとき
・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
・方向指示器が作動していないとき
・ASR システムがオンのとき
・ESC システムが正常に作動しているとき

⚠警 告

レーンキープアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。また、前方車両との車間距離、自車両の走行速度やブレーキ操作の自動制御を行いません。車両が車線を逸脱する可能性があると判断されたときのみ作動します。運転者はハンドルをしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
また、長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。

MEMO

方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は、車両が車線を逸脱する可能性があると判断されても、システムは運転者による意図的な車線変更と判断し、ハンドル操作の自動修正を行いません。

●システムのオン／オフ





運転席側のダッシュボードのスイッチを長く押すと、スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が点灯し、システムがオフになります。
再度スイッチを押すと、スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が消灯し、システムがオンになります。

MEMO

エンジンを始動すると、システムはオンになります。

⚠警 告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき

⚠警 告

- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき

●警告表示

警告灯	意味
	・レーンキープアシストはオフになっています。 ・スペースセーバータイヤを装着しているなどを検知し、レーンキープアシストが自動的にオフになった、または作動を停止しました。
-	・レーンキープアシストはオンになっていますが、作動条件を満たしていません。 ・車線マーカーを検知しました。時速70km 以上で走行しています。
	・車両が車線を逸脱する可能性があると判断し、ハンドル操作の自動修正をしました。システムは運転者がハンドルを両手で持っていると判断しています。 ・システムは運転者がハンドルをしっかりと持っていないと判断しました。警告音とともにメッセージが表示されます。この警告は、ハンドル操作の自動修正が完了する、または運転者がハンドルをしっかりと持つまで続きます。 ・ハンドル操作の自動修正中、システムは車両が車線を逸脱すると判断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行い車両を車線内に戻すように注意を促します。

MEMO

●ハンドル操作の自動修正が連続して何度も作動すると、連続した長い警告音が鳴ることがあります。警告音は運転者が適切なハンドル操作を行うまで続きます。
●運転者がハンドルをしっかり持っていても、ハンドルを保持するように促すメッセージが表示されることがあります。

●システムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音とともにレーンキープアシストの警告灯と



SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

●作動が停止される条件

レーンキープアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ASR システムをオフにしたとき
- ESC システムが車両を制御しているとき
- 時速70km 以下、または時速180km 以上で走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着したとき（運転者の操作により作動を解除してください）
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- 車線マーカー上を走行しているとき
- 方向指示器を作動させたとき
- カーブを走行中に、カーブ内側にある車線マーカーを越えたとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき
- ハンドル操作の自動修正中に運転者の対処が行われなかったとき
- 走行車線の幅が極端に狭いとき

⚠警 告

●以下のようなときは、レーンキープアシストをオフにしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
- 路面状態のよくない道路を走行しているとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 不安定な路面を走行しているとき
- 悪天候のとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラが故障したとき

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

ドライバーアテンション アラート

ドライバーアテンションアラートには以下の２つの機能が備わっています。
・連続運転警告
・疲労検知システム

⚠警 告

ドライバーアテンションアラートは、運転時間やハンドル操作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩をとるように促すシステムです。疲労時の運転を補助するものではありません。システムを過信せず、十分に休憩をとり、安全運転に努めて適切なハンドル操作をしてください。

●連続運転警告

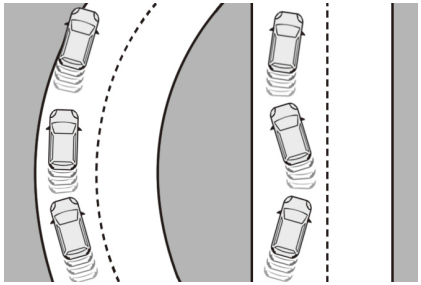
連続運転警告は、運転者が休憩をとらずに時速70km 以上で2時間以上走行したとシステムが検知したとき、警告音とともにメッセージを表示し、運転者に休憩をとるように促します。

連続運転警告は、次のような対処が行われるまで、1時間おきに警告を表示します。
・エンジンが始動している状態のときに15分以上停止した
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして数分間経過した
・運転席のシートベルトをはずしてドアを開けた

MEMO

●時速70km 以下で走行しているときはシステムは作動を停止します。
●時速70km 以下で走行しているときは走行時間として積算されません。

●疲労検知システム



疲労検知システムは、フロントウィンドウ上部のカメラで走行車線の車線マーカーを検知し、車両のふらつきから運転者の疲労増加や注意力の低下を判断し、警告音とともにメッセージを表示して運転者に休憩をとるように促します。
高速道路や自動車専用道路など、時速70km 以上で走行しているときの使用が効果的です。

疲労検知システムが車両のふらつきを検知すると、警告音とともにメッセージを表示します。走行状態が改善されない場合、4回目の警告からは異なる警告音とともにメッセージが表示されます。

MEMO

路面の状態が悪い道路の走行中や、強い風が吹いているときなどは、運転者の疲労の増加や注意力の低下の程度に関わらず、警告を表示することがあります。

●システムのオン／オフ

ドライバーアテンションアラートのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

エンジンを始動すると、システムはオンになります。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき

⚠警 告

・前方の車両に近付きすぎたとき
・細く曲がりくねった道路を走行するとき

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

アクティブセーフティブレーキ



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより前方の車両や停車中の車両、歩行者、自転車を検知し、衝突の危険性が高まったとき、警告を表示して運転者に注意を促します。また、運転者が衝突回避動作を取らなかったときは、自動ブレーキを作動させることで車両の速度を落とし、衝突の回避支援、または衝突時の速度を低減するシステムです。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。

・ディスタンスアラート
・エマージェンシーブレーキ
・インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

●作動条件

アクティブセーフティブレーキは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

・前進走行しているとき
・ASR システムがオンのとき
・ESC システムが正常に作動しているとき
・乗員全員がシートベルトを着用しているとき
・直線道路を一定の速度で走行しているとき

⚠警 告

●アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

●ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。

●アクティブセーフティブレーキは、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、衝突の可能性が高い場合でも作動が遅れたり、作動しない場合があります。また、衝突の可能性がないなど、思わぬ場面でも作動することがあります。システムを過信せず、安全運転に努めてください。また、運転者が常に操作可能な状態を保ってください。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが前方の車両、歩行者、自転車を検知しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキをオフにしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- タイヤの交換やタイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき、エンジンルームのメンテナンスなどを行うとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- エンジンが始動している状態のまま自走式の洗車機を使用するとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- フロントバンパーに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ストップランプが故障しているとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき

MEMO

●アクティブセーフティブレーキは二輪車も検知します。

●  運転席シートベルトおよび助手席シートベルトが着用されていないときは、これらの警告灯が点灯します。このとき、アクティブセーフティブレーキはオフになっています。シートベルトを着用するとシステムはオンになります。

●システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離や走行車線に進入した歩行者や自転車との距離が設定した警告時間を下回ると警告を表示します。

ディスタンスアラートの警告表示機能



警告レベル1：設定した警告時間を下回っているときに、警告が表示されるとともにメッセージが表示されます。



警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車両との接近状況から、そのままでは衝突に至ると判断されたときは、警告が表示されるとともに警告音が鳴り、メッセージが表示されます。

警告レベル3：警告レベル2が表示されたあと、前方車両との衝突の危険があると知らせるため、断続的に自動ブレーキを作動させ、運転者に対して警告を行うことがあります。

MEMO

- ●ディスタンスアラートの警告は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。
- ●自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。
- ●停止中の車両などに衝突する危険があると判断されたときは、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

警告時間の設定

警告を開始する時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

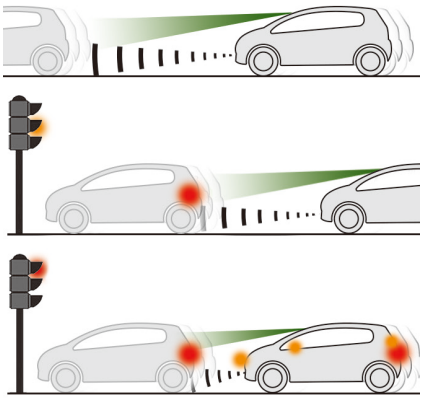
警告時間は以下の3種類から選択できます。

- ・**長い**：早めに警告が表示されます。
- ・**ノーマル**：標準的な警告時間です。
- ・**短い**：やや遅れて警告が表示されます。

MEMO

- ●警告時間を**短い**に設定すると、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、警告時間の設定は保持されます。

●エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告が表示されたあとも運転者が衝突回避動作を取らなかったとき、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。

エマージェンシーブレーキの作動中は、警告灯が点滅します（約10秒間）。

作動条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

・時速7km ～時速140km で走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
・時速80km 以下で走行中に、停車中の前方車両や自転車を検知したとき
・時速60km 以下で走行中に、歩行者を検知したとき

⚠注 意

エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。

MEMO

●次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  • アクセルペダルを踏み込んだとき
  • ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
●自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。
●エマージェンシーブレーキが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。
●自動ブレーキにより最大で時速50km の減速を行います。ただし、道路状況や天候、車両の状態などにより異なります。

●インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分で、衝突の危険があるときは自動ブレーキが作動します。

MEMO

インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

●システムのオン／オフ

アクティブセーフティブレーキのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。

システムをオフにすると、警告灯が点灯します。

MEMO

●エンジンを始動すると、システムはオンになります。
●以下のようなときは、システムは自動的に解除されます。
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- ブレーキペダルの作動に異常があるとき
- ストップランプが故障しているとき

●システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

エンジンを停止後しばらく経過してから再度始動したとき、アクティブセーフティブレーキの警告灯と SERVICE 警告灯が点灯した場合は、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

事故のあとや大きな衝撃を受けるとシステムが自動的にオフになります。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

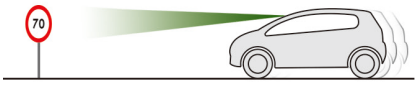
⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。

⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

トラフィックサインインフォメーション



トラフィックサインインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。
インストルメントパネルに表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

⚠警 告

トラフィックサインインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●速度規制標識の認識機能のオン／オフ

速度規制標識の認識機能のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

エンジンを始動すると、システムはオンになります。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- 速度規制標識が損傷するなどしていて見えにくいとき

⚠警 告

●以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。
- 悪天候（雨、雪など）
- 大気汚染
- スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行
- パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

●インストルメントパネルの表示

トラフィックサインインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



①：速度規制標識の制限速度表示



②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示



●制限速度の表示



トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。



トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。

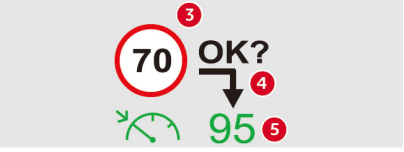


認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が時速5km 超過すると、初回超過時は、インストルメントパネルの制限速度表示が約10秒間点滅します。

●速度の設定

インストルメントパネルに表示された制限速度をアクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

1. アクティブクルーズコントロール(ストップ＆ゴー機能付き)またはスピードリミッターをオンにしてから、作動状態にします。
2. トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識すると、インストルメントパネルに制限速度③が表示され、**OK?** ④が数秒間点滅します。



MEMO

- ●認識された速度制限と現在の設定速度の差が時速5km 以下のときは、**OK?** ④は表示されません。
- ●道路状況により異なる制限速度が連続して表示されることがあります。

3. ステアリングスイッチの **OK** ボタン⑥を押すと、表示された制限速度③を設定速度⑤として記憶します。**OK?** ④が点灯した場合は、再度ステアリングスイッチの **OK** ボタン⑥を押すと表示された制限速度③を設定速度⑤として記憶します。



●道路標識の認識機能



システムが進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージが表示されます。
道路標識の認識機能のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

⚠警 告

●トラフィックサインインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。
●速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件（雨、雪、光など）によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。
●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）



アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）は、アクセルペダルを踏まなくてもドライバーによって設定された速度を一定に保って走行します。また、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより同じ方向に走行している前方の車両を検知し、前方の車両との距離が接近した場合には、自動的に速度を落としてあらかじめ設定した車間距離を保ったり、前方車両が停止したときは、ブレーキの自動操作を行い、前方車両に続いて自車両も停止します。完全停止後、前方車両が約3秒以内に再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

設定できる速度は時速30km～時速180kmです。設定できる車間距離は**短**、**ノーマル**、**長**の3段階です。

⚠警 告

- ●アクティブクルーズコントロールは速度規制標識の制限速度および安全に走行するために必要な車間距離を認識しません。運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度や車間距離に十分注意してください。
- ●アクティブクルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、常に車間距離に注意して走行してください。前方を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- ●前方の車両や周囲の車両の走行状況によっては、フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが誤って前方の車両を検知し、前方の車両との車間距離や自車両の速度が正しく制御されない場合や、追従走行がスムーズに行われない場合があります。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

⚠警 告

- ●アクティブクルーズコントロールシステムを使用しない場合には、アクティブクルーズコントロールをオフまたは停止してください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
- ●急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にはブレーキペダルを踏んで減速してください。
- ●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールが正常に作動しないことがあります。
  - • 曲がりくねった道路を走行しているとき
  - • 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
  - • 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
  - • 路面の水たまりの反射光が強いとき
  - • トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき

⚠警 告

- カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき

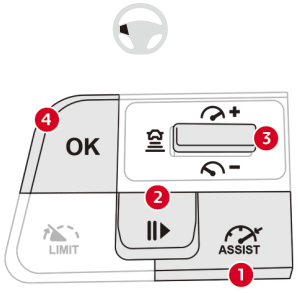
●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールをオフまたは停止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 歩行者や自転車などが混在している道路や市街地
- 交通量が多い道路
- 滑りやすい路面
- 曲がりくねった道路
- 勾配の激しい道路
- 旋回するとき
- トンネルや橋に進入するとき
- ラウンドアバウトに進入するとき
- オートバイなどの細い車両の後方を走行しているときや、前方の車両が車線の中央を走行していないとき
- 悪天候のとき

⚠警 告

- 雪が降っているとき
- 視界不良のとき
- フロントウィンドウやフロントバンパーに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたとき
- フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ストップランプが故障しているとき
- 車両のフロント部にアクセサリーを取り付けたり、塗装をしたとき
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- フロントバンパーのレーダーの前面が覆われているとき

●コントロールスイッチ



アクティブクルーズコントロールは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

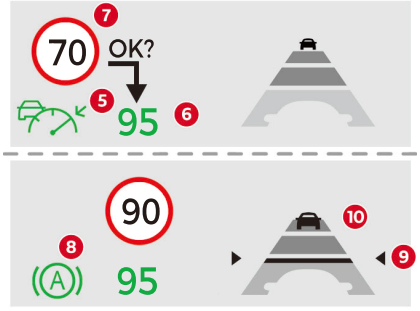
①：アクティブクルーズコントロールのオン／オフ切り替え

②：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可

③：速度設定／設定速度の増加と減少／車間距離の表示と設定

④：速度設定／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

●インストルメントパネルの表示



アクティブクルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑤：アクティブクルーズコントロール作動（緑色）／停止（灰色）表示
⑥：設定スピード表示
⑦：速度規制標識の制限速度表示
⑧：自動ブレーキによる車両停止時の表示
⑨：車間距離設定表示
⑩：前方車両の位置表示

MEMO

●システムが前方の車両を検知すると、前方車両の位置表示⑩に車両のアイコンが表示され、アクティブクルーズコントロール作動（緑色）／停止（灰色）表示⑤の車両のアイコンが塗りつぶされた状態で表示されます。
●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定すると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンに前方車両の位置表示⑩が表示されます。

●アクティブクルーズコントロールの設定

ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタン①を押すと、アクティブクルーズコントロールがオンになります（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が灰色に点灯）。アクティブクルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません。

レーンポジショニングアシスト装備車は、再度ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタン①を押すとレーンポジショニングアシストがオンになり、さらにもう一度押すとアクティブクルーズコントロールがオフになります（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が消灯）。

レーンポジショニングアシスト非装備車は、再度ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタン①を押すとオフになります（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が消灯）。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると作動停止しますが、システムのオン／オフの設定は保持されます。

●走行速度の設定

以下のすべての作動条件を満たしているときにステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、**OK** ボタン④を押すと、走行速度が設定されます。走行速度が設定されると、自動的にその速度を維持して走行します（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が緑色に点灯）。

・時速180km 以下で走行しているとき、または停止中にブレーキペダルを踏んでいるとき（停止中に走行速度を設定すると、アクティブクルーズコントロールは一時停止状態になります）
・運転席ドアが閉まっているとき
・運転席シートベルトが締められているとき
・シフトポジションが **D** または **M** のとき
・エレクトリックパーキングブレーキがかかっていないとき

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、ステアリングスイッチの **OK** ボタン④の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

⚠警 告

道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。

MEMO

●時速30km 以上で走行中は、ステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、**OK** ボタン④を押すと、走行速度はその速度に設定されます。停止中にブレーキペダルを踏んでいるとき、または時速30km 未満で走行中に、ステアリングスイッチのボタン③を上または下に動かすか、**OK** ボタン④を押すと、走行速度は時速30km に設定されます。
●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする、またはアクティブクルーズコントロールをオフにすると、設定された速度が初期化されます。

●設定速度の変更

定速走行中（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が緑色に点灯）に、ステアリングスイッチのボタン③を上に動かすと設定速度が増加し、下に動かすと設定速度が減少します。すぐにボタンを離すと1km／h ずつ、ボタンを保持すると5km／h ずつ速度が変化します。

⚠警 告

速度を変更するときに急加速または急減速することがありますので、十分注意してください。

●システムの一時停止／復帰

アクティブクルーズコントロールを一時停止するには、ステアリングスイッチのボタン②を押すか、ブレーキペダルを踏みます（アクティブクルーズコントロール作動／停止表示⑤が灰色に点灯）。
また、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ESC システムが車両を制御しているとき
- エレクトリックパーキングブレーキが操作されたとき
- シフトポジションを **D** または **M** から **N** にしたとき
- シフトポジションを **R** にしたとき
- シートベルトをはずしたとき
- 運転席ドアを開けたとき

停止されたシステムを復帰するには、すべての作動条件を満たしているときにステアリングスイッチのボタン②か **OK** ボタン④を押します。

●車間距離の設定

ステアリングスイッチのボタン③の操作で希望する車間距離を設定します。

1. ステアリングスイッチのボタン③を押して車間距離設定を表示させます。
2. ステアリングスイッチのボタン③を押して車間距離を切り替えます。

設定できる車間距離は、**短**、**ノーマル**、**長**の3段階です。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたり、アクティブクルーズコントロールをオフにしたりしても、車間距離の設定は保持されます。

MEMO

- ●車間距離の初期設定は**ノーマル**になっています。
- ●追い越しのために方向指示器を作動させた場合は、設定した走行速度を保ったまま、一時的に前方の車両に接近することができます。

●システムの異常



システムに異常が発生したときは、設定速度表示が消えてーが表示されます。



システムに異常が発生したときは、警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。

⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

MEMO

●アクティブクルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅または消灯します。この間、アクティブクルーズコントロールの作動は停止されます。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
●急な登り坂では設定速度まで加速できない、または設定速度を維持できないことがあります。
●ストップランプに異常が発生するとアクティブクルーズコントロールが作動しなくなることがあります。

●システムの作動状況

インストルメントパネルの表示	意味
	アクティブクルーズコントロールはオンになっていますが、作動条件が満たされてないため、機能を作動させることができません。
	・アクティブクルーズコントロールはオンになっていますが、機能の作動を待機しています。作動条件が満たされています。 ・アクティブクルーズコントロールが一時停止しています。作動条件が満たされてないため、機能を作動させることができません。
	アクティブクルーズコントロールが作動しています。検知範囲内の前方に車両がいます。
	一時的にアクティブクルーズコントロールが停止しています。運転者がアクセルペダルを踏み込んで加速しました。
	状況に応じて、アクセルペダルを踏み込んで加速するか、ブレーキペダルを踏んで速度を落としてください。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	前方の車両との車間距離が急激に短くなりました。そのままでは衝突に至ると判断されたため、ブレーキペダルを踏むなど、すぐに運転者の操作が必要です。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	作動条件を満たしていないために、アクティブクルーズコントロール機能を作動できません。 メッセージが表示されます。

インストルメントパネルの表示	意味
Ⓐ 80	・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以内に前方車両が再発進すれば、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保ちながら走行します。 ・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以上経過したため、発進するには、ステアリングスイッチのボタン②を押すか、アクセルペダルの操作が必要です。

⚠警 告

●自動ブレーキにより車両が停止したら、次のことをお守りください。
- 運転者は車両から離れないでください
- テールゲートを開けないでください
- 車両から乗り降りしないでください
- シフトポジションを **R** にしないでください

●自動ブレーキにより車両が停止したあと、再発進するときは、車両前方の歩行者や自転車、動物に注意してください。システムは歩行者や自転車、動物を検知しないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転者は周囲をよく確認してから再発進してください。

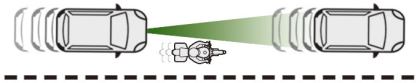
MEMO

●自動ブレーキにより車両が停止したあと、運転者による操作がない場合は、数分後に自動的にエレクトリックパーキングブレーキが作動します。
●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定すると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンにアクティブクルーズコントロールの画面を表示することができます（4-2ページ参照）。

●カメラやレーダーが検知できない状況

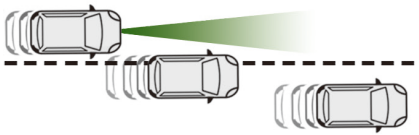
次のような状況では、必要に応じてブレーキペダルの操作で減速する、システムの作動を一時停止するなど、運転者による操作を行ってください。
カメラやレーダーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートバイなどの幅の狭い車両



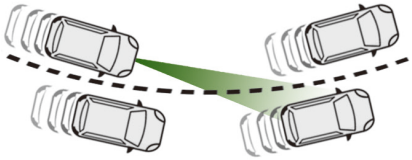
システムの作動を一時停止してください。

車線の中央を走行していない車両



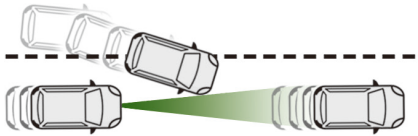
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

旋回時やラウンドアバウトに進入するとき



システムの作動を一時停止してください。

前方の車両が急速に速度を落としたときや、前方の車両と自車両の間に急に別の車両が進入したとき



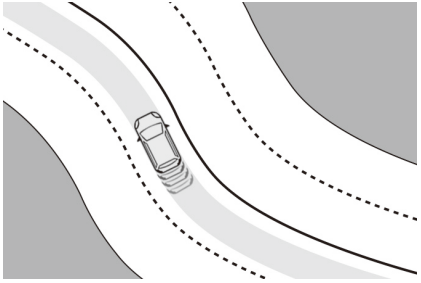
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

MEMO

アクティブクルーズコントロールは、以下の車両や歩行者などは検知しません。

- 停止している車両
- 対向車線を走行している車両
- 前方を横切って通過する車両
- 歩行者、自転車、動物

レーンポジショニングアシスト*



レーンポジショニングアシストは、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）と連動して機能するシステム（ハイウェイドライブアシスト）です。
フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線を検知し、運転者が設定した走行車線上の車両の位置を維持して走行します。
高速道路や自動車専用道路などで走行しているときに効果的です。
アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の詳細は「アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）」項を参照してください。

MEMO

- レーンポジショニングアシストの作動中は、ハンドルが自動的に動いて微調整を行い、走行車線上の車両の位置を維持します。
- レーンポジショニングアシストの作動中も、運転者がハンドル操作を行うことで作動を一時的に停止し、走行車線上の車両の位置を変更できます。位置の変更を行ったら、レーンポジショニングアシストの作動が再開されるまで、走行車線上の車両の位置を運転者のハンドル操作によって維持してください。
  ただし、運転者が設定する車両の位置が走行車線の右側または左側に寄りすぎている場合は、システムが自動的に車両の位置を走行車線の中心方向へ戻す動作を行います。

●作動条件

レーンポジショニングアシストは以下のすべての作動条件を満たしているときに作動します。

- アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の機能がオンで、正常に作動しているとき
- 走行車線が検知されているとき
- 運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ESC システムが正常に作動しているとき
- ASR システムがオンのとき
- スペースセーバータイヤを装着していないとき
- 車体に対して横方向の強い力が働いていないとき
- 方向指示器が作動していないとき

* 仕様により異なります。

⚠警 告

●レーンポジショニングアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

●必要に応じて、ハンドルを操作してレーンポジショニングアシストの作動を一時的に停止させるか、ブレーキペダルを踏んでレーンポジショニングアシストの作動を停止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき

⚠警 告

- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき

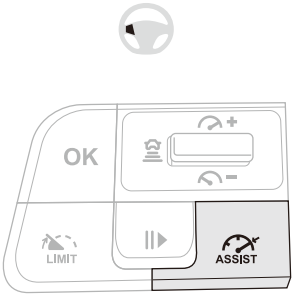
⚠警 告

●以下のようなときは、レーンポジショニングアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
- 悪天候のとき
- 雪が降っているとき
- 視界不良のとき
- フロントウィンドウに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- フロントウィンドウのカメラが故障したとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 工事などによって規制された車線があるときや仮設の車線がある道路を走行しているとき
- 高速道路などの料金所周辺を走行しているとき
- サーキットなどを走行しているとき

⚠警 告

- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき

●システムのオン／オフ



アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の機能がオンまたは作動中のとき、ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタンを押すと、システムがオンになり、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。
再度ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタンを押すと、システムがオフになり、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。レーンポジショニングアシストがオフになると同時にアクティブクルーズコントロールもオフになります。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにするとシステムはオフになります。

●表示灯について



いずれかの作動条件が満たされておらず、システムが作動していないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。



全ての作動条件が満たされ、レーンポジショニングアシストが作動しているときは、インストルメントパネルの表示灯が緑色に点灯します。



システムに異常がある場合は、インストルメントパネルの表示灯が橙色に点灯します。

●作動が停止される条件

レーンポジショニングアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止されます。

- 方向指示器を作動させたとき
- 走行車線の外側を走行しているとき
- ハンドルを強く握ったとき
- 急なハンドル操作を検知したとき
- 一定時間以上、ハンドルをしっかりと持っていないとき
- アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の作動を停止したとき
- ASR システムを解除したとき
- ESC システムが車両を制御しているとき
- 走行車線の検知が十分に行えないとき

MEMO

●運転者がハンドルをしっかりと持っていないとシステムが判断すると、段階的に警告が表示されます。そのまま一定時間以上経過すると、レーンポジショニングアシストがオフになります。引き続きレーンポジショニングアシストを使用する場合は、ステアリングスイッチの **ASSIST** ボタンを押してオンにしてください。

●ブレーキペダルを踏むとアクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動が停止されるため、レーンポジショニングアシストの作動も停止されます。ブレーキペダルを放してもレーンポジショニングアシストの作動は再開されません。レーンポジショニングアシストの作動を再開するには、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）を作動させてください。

MEMO

●アクセルペダルを踏むと一時的にレーンポジショニングアシストの作動が停止されますが、アクセルペダルを放すと作動が再開されます。
●走行車線の検知が十分に行えずレーンポジショニングアシストの作動が停止されると、レーンキープアシストが作動します。再度作動条件が満たされると、レーンポジショニングアシストの作動が再開されます。

●システムの作動状況

インストルメントパネルの表示	意味
	アクティブクルーズコントロールが一時停止しています。 レーンポジショニングアシストはオフになっています。
	アクティブクルーズコントロールが作動しています。 レーンポジショニングアシストはオフになっています。
	アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストが作動しています（ハイウェイドライブアシストとして機能しています）。ハンドル操作を自動制御し走行車線内のポジションを維持しながら走行しています。
	運転者の操作によりハイウェイドライブアシストが一時停止しています。
	ハイウェイドライブアシスト（レーンポジショニングアシスト）はオンになっていますが、作動条件が満たされていないため、システムは作動していません。
	ハイウェイドライブアシストの作動が停止しました。 アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストの作動が停止しています。

MEMO

●運転状況や走行操作に関して注意が必要な場合、警告音がしたり、運転者の操作を促すメッセージや警告メッセージが表示されたりします。インストルメントパネルにメッセージが表示された場合は、表示された指示に従い適切な運転操作を行ってください。
●路面状態の良い、長い直線道路を走行中、運転者がハンドルをしっかりと持っていても警告が表示されることがあります。
●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**に設定すると、インストルメントパネルのディスプレイゾーンにレーンポジショニングアシストの画面を表示することができます（4-2ページ参照）。

●システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに SERVICE 警告灯およびレーンポジショニングアシストの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

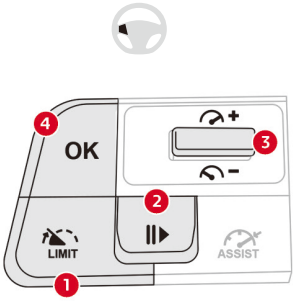
⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

スピードリミッター

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

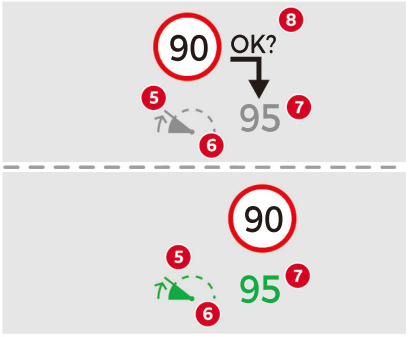
●コントロールスイッチ



スピードリミッターは、ステアリングスイッチのボタンを使用して設定します。

①：スピードリミッターのオン／オフ切り替え
②：システムの作動／停止
③：設定速度の増加と減少
④：システムの作動／トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

●インストルメントパネルの表示



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑤：スピードリミッターオン／オフ表示
⑥：スピードリミッター作動（緑色）／停止（灰色）表示
⑦：設定スピード表示
⑧：トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の制限速度表示

●スピードリミッターの設定

ステアリングスイッチのLIMITボタン①を押すと、スピードリミッターがオンになります（スピードリミッターオン／オフ表示⑤が灰色に点灯）。スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます（機能は停止されています）。

ステアリングスイッチのLIMITボタン①を押す、またはASSISTボタンを押すとシステムはオフになりますが（スピードリミッターオン／オフ表示⑤が消灯）、速度の設定は保持されます。

MEMO

ENGINE START/STOPスイッチをオフにすると作動停止しますが、システムのオン／オフの設定は保持されます。

●最高速度の設定

ステアリングスイッチのボタン③を上下に動かして希望する速度を設定します。上に動かすと設定速度が増加し、下に動かすと設定速度が減少します。すぐにボタンを離すと1km／hずつ、ボタンを保持すると5km／hずつ速度が変化します。

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、ステアリングスイッチのOKボタン④の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

●スピードリミッターの作動

ステアリングスイッチのボタン②かOKボタン④を押すとスピードリミッターが作動します（スピードリミッター作動／停止表示⑥が緑色に点灯）。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度ステアリングスイッチのボタン②を押すと、スピードリミッターが停止します。

⚠警 告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。

MEMO

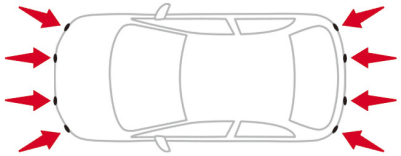
スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。
一定時間以上、走行速度が設定速度を超えた状態で走行すると、警告音が鳴ります。また、急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合は、警告音とともに速度の表示が点滅します。
これらの場合、スピードリミッターは一時的に作動を停止します。車速が設定速度まで戻ると、スピードリミッターは再度作動します。

●システムの異常

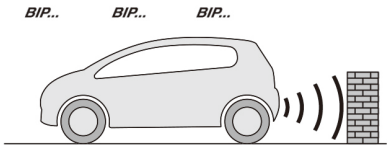
速度表示が消えてーが数秒間点滅したあとに点灯したときは、システムに異常があります。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

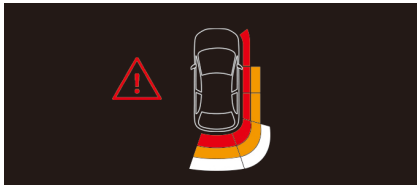
* 仕様により異なります。

フロント／サイド＊／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。
システムは、エンジンが始動している状態でシフトポジションを **R** にすると作動します。シフトポジションを **R** 以外にすると、システムは解除されます。
以下のとき、フロントソナーは作動を停止します。
・時速10km 以上のとき
・前進方向で3秒以上停止したとき
・障害物が車両前方の検知範囲から出たとき





フロント／サイド／バックソナーは、警告音と表示の色で運転者に車両と障害物とのおおよその距離をお知らせします。
障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ30cm 以内に接近すると連続した警告音に変わります。
表示の色は、障害物までのおおよその距離を表示します。
・白色のバー：遠い
・橙色のバー：近い
・赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

MEMO

●サイドソナーは、フロント／バックソナーが検知した車両前方または後方の障害物の位置を元に、障害物が車両側面に接近したと判断された場合に警告を発します。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると、検知した障害物の位置の記憶は消去されます。
●サイドソナーはフロント／バックソナーと連動して作動します。
●サイドソナーは人や動物など、動いている障害物を正しく検知しないことがあります。また、ソナーの検知範囲外にあった障害物が車両側面に侵入してきた場合も正しく検知しないことがあります。
●ソナーの警告音は、タッチスクリーンの操作で音量を調整できます。
作動中、タッチスクリーンのアイコンにタッチし、表示された画面の操作で音量を調整してください。

MEMO

●エンジンを始動した直後は、タッチスクリーンが完全に起動するまで画面表示や警告音でのソナーの警告は行われません。

●フロント／サイド／バックソナーのオン／オフ

フロント／サイド／バックソナーのオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。



システムをオフにすると、フロント／サイド／バックソナー表示灯が点灯します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

●システムの異常



システムに異常が発生したときは、シフトポジションを **R** にすると、短い警告音とともに



SERVICE 警告灯またはフロント／サイド／バックソナー表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- バンパーやミラーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠警 告

●以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
- 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
- 背の低いもの
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロント／リアバンパーのセンサーが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

MEMO

●シフトポジションを **R** にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

●フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。

●自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムをオフにする必要があります。

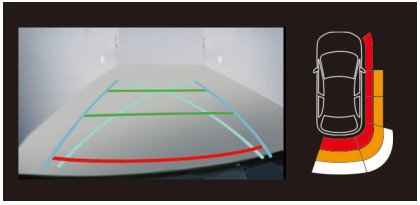
バックカメラ

シフトポジションを R にすると、テールゲートのカメラからの映像がタッチスクリーンに映し出されます。

MEMO

●バックカメラは、テールゲートが閉まった状態で使用してください。
●バックカメラの映像は、次のとき一時的に表示されなくなります。
- テールゲートを開けたとき
- 一定の速度以上で走行したとき *
- タッチスクリーン左上の×にタッチしたとき（再度シフトポジションを R にするとバックカメラの映像が表示されます）





バックカメラの映像には距離や車幅の目安となるラインなどが表示されます。
・青色の直線：ドアミラーを除いた車幅の目安です。
・青色の曲線：ハンドルを切ったときに車両が通る位置の目安です。
・赤色の横線：バンパーの後方約30cmの目安です。
・緑色の横線：それぞれバンパーから1m、2m 後方の目安です。

⚠警 告

●バックカメラは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●バックカメラの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
●画面だけを見ながら運転操作をしないでください。
●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●カメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

* 仕様により異なります。

⚠注 意

カメラより上の部分は映し出されません。高さのある障害物などには注意してください。

注 意

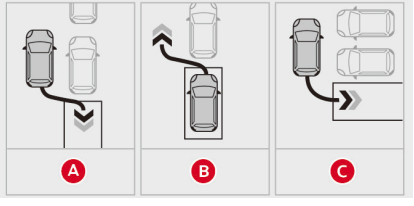
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

MEMO

- ●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
- ●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
- ●シフトポジションを **R** にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

パークアシスト *

パークアシストは、センサーによって駐車可能なスペースを検知し、自動的にステアリング操作を行います。
運転者は画面に表示された指示に従って、アクセルペダル、ブレーキペダルおよびプッシュセレクターの操作を行います。駐車スペースによっては、数回切り返しを行うことがあります。
パークアシストでは、以下の3種類の駐車および発進を行うことができます。



A：縦列駐車する
B：縦列駐車から発進する
C：垂直に駐車する

パークアシストの作動中は表示灯が点灯します。

⚠警 告

●パークアシストは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●パークアシストの作動中、後退または前進するときは、車両の後方や前方、および周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。
●センサーは、小さな障害物を検知しないことがあります。必ず目視での確認も行ってください。
●以下のような状況では、駐車位置や切り返し位置を適切に調整できないことがあります。運転者が必ず目視での確認を行ってください。必要に応じてパークアシストを中止し、運転者の操作で駐車してください。
- 駐車禁止区域、工事中などにより路面の状態が悪い場所、溝や穴など地面より低いところがある場所（駐車に適さない場所を駐車可能スペースと判断することがあります）

⚠警 告

- 障害物があるために適切な経路で駐車位置まで到達できない場合（駐車可能スペースを検知しても、システムがパークアシストによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 道路幅が狭い（駐車可能スペースを検知してもシステムがパークアシストによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 駐車スペースが角度のきついカーブ付近にある
- 駐車スペースが広すぎる場所
- 駐車スペースに縁石などの段差や突起物、木やポールなどの幅の狭い障害物がある
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物がある、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入った
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどした
- 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、パークアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 駐車スペースの側面に穴や溝、崖などがあるとき
- 自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいるとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- タイヤの空気圧が不足しているとき
- スペースセーバータイヤを装着しているとき
- 正しい仕様のタイヤを装着していないとき
- フロント／リアバンパーやミラーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーにアクセサリーを取り付けたとき
- カメラやセンサーが故障したとき
- シトロエン指定サービス工場以外でフロント／リアバンパーの塗装や塗装面の修復を行ったとき

⚠警 告

- シトロエン純正以外のセンサーを取り付けたとき
- 凍結したり、滑りやすい路面

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

●以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
- 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
- 背の低いもの
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

⚠注 意

自動操作によってステアリングホイールが速く動くことがあります。スポーク部に手を入れたり、ステアリングホイールに巻き付くようなものは、遠ざけてください。

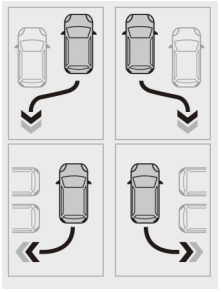
MEMO

●パークアシストがステアリングアシストを行っているときは、バックカメラ、フロント／サイド＊／バックソナーが自動的に作動します。
●パークアシストの作動中は、ブラインドスポットモニターは作動しません。

＊ 仕様により異なります。

●駐車する

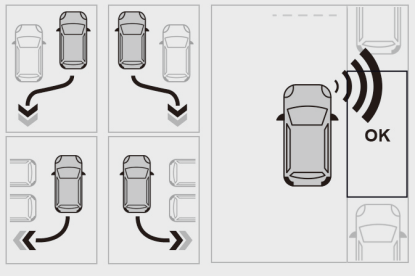
1. 駐車できそうな場所の手前で停車します。
2. ダッシュボードのボタンを押します。
3. **ドライビング機能**にタッチします。
4. **パークアシスト**にタッチします。
   シートベルトを着用したまま操作してください。
5. 駐車の種類および駐車スペースがある方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

エンジンを始動してからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

6. タッチスクリーンの指示に従って、ゆっくり（時速30km 以下）前進します。
   センサーが駐車可能かどうか測定します。
   センサーが駐車可能なスペースを検知すると、OK が表示されチャイムが鳴ります。



注 意

駐車されている車両との間の距離を0.5m ～1.5m とって走行してください。

MEMO

- 時速30km 以上で走行すると、駐車可能スペースの測定を中止します。
- 時速50km 以上で走行すると、パークアシストの作動が解除されます。

7. タッチスクリーンに停止の指示が表示され、チャイムが鳴るまでゆっくり前進を続けてください。

8. 車を止め、タッチスクリーンの指示に従って操作します。

MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

9. 

アクセルペダルを踏み、ゆっくり（時速7km 以下）後退します。

10. 自動的にステアリング操作が行われます。ステアリングから手を離してください。



このアイコンが表示されているときは、自動的にステアリングが操作されます。


このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **R** にし、後退してください。


このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **D** にし、前進してください。

11. 

駐車が完了すると自動的にパークアシストが終了します。

MEMO

切り返しが必要な場合は前進や後退の指示が表示されます。画面に従って操作してください。前進や後退をする度に自動的にステアリングが操作されます。

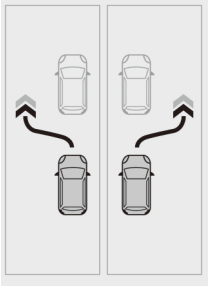
●縦列駐車から発進する

1. 
ダッシュボードのボタンを押します。

2. **ドライビング機能**にタッチします。

3. **パークアシスト**にタッチします。
シートベルトを着用したまま操作してください。

4. 発進する方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

エンジンを始動してからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

5. タッチスクリーンの指示に従って操作します。

MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

6. 5 アクセルペダルを踏み、ゆっくり（時速5km 以下）前進または後退します。

7. 自動的にステアリング操作が行われます。ステアリングから手を離してください。

AUTO このアイコンが表示されているときは、自動的にステアリングが操作されます。

このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **R** にし、後退してください。

このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **D** にし、前進してください。

8. OFF 駐車スペースから出ると自動的にパークアシストが終了します。

MEMO

切り返しが必要な場合は前進や後退の指示が表示されます。画面に従って操作してください。前進や後退をする度に自動的にステアリングが操作されます。

●パークアシストの解除

OFF 以下のようなときは、パークアシストが自動的に解除されます。

- タッチスクリーン左上の←（×）にタッチしたとき
- 運転者がステアリング操作を行ったとき
- 駐車スペースと反対方向へ方向指示器を動かしたとき
- 運転席のシートベルトをはずしたとき
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたとき
- 駐車するときは、時速7km 以上で走行したとき
- 駐車スペースから出るときは、時速5km 以上で走行したとき
- ESC システムが車両を制御しているとき
- ドアまたはテールゲートが開いたとき
- エンストしたとき
- システムに異常があるとき
- 縦列駐車するとき、または縦列駐車の駐車スペースから出るときは、10回切り返しを行ったとき
- 垂直に駐車するときは、7回切り返しを行ったとき

●システムの異常

パークアシストが作動していないときにシステムに異常が発生したときは、警告音とともに表示灯が数秒間点滅します。
パークアシストが作動中にシステムに異常が発生したときは、表示灯が消灯します。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

パークアシストが作動中にフロント／サイド*／バックソナーに異常が発生したときは、SERVICE 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示され、システムが解除されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

パワーステアリングに異常が発生したときは、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

MEMO

●自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいる場合は、取りはずしてください。
●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●シフトポジションを **R** にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。
●センサーはフロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。

* 仕様により異なります。

間接式タイヤ空気圧警告

走行中に ESC システムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に変化があった場合に、警告をする機能です。



警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯し、メッセージが表示された場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。

間接式タイヤ空気圧警告システムは、タイヤ空気圧を適正空気圧に調整し、システムの初期化がされているときに正常に作動します。



- ●低速で走行しているときは、タイヤ空気圧の変化の感知が効果的に行われない場合があります。
- ●次のような場合は、警告が遅く作動する場合があります。
  - • タイヤの空気圧が急激に低下したとき
  - • 時速40km 以下で走行しているとき
  - • 急なハンドル操作や加減速が繰り返される走行をしているとき
- ●警告はシステムの初期化が行われるまで続きます。

●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **タイヤ空気圧警告　初期化**にタッチします。
4. **Yes** にタッチします。



スノーチェーンの脱着については、その都度初期化する必要はありません。

⚠注 意

●初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
●間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

●システムの異常



間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生したときは、警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯および SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●間接式タイヤ空気圧警告システムを過信しないでください。システムはどのような状況下でも空気圧の低下を検知し警告できるシステムではありません。
●タイヤの空気圧が不足したままで走行すると、車両の安定性を損なったり、制動距離が長くなったりします。また、タイヤの早期劣化、偏摩耗、燃費の悪化につながります。

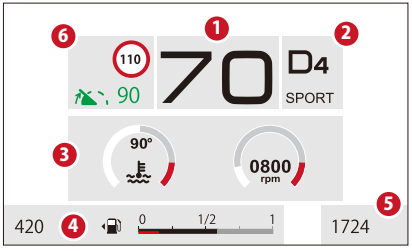
MEMO

●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。空気圧の調整をする場合は、タイヤが冷えている状態で行ってください。空気圧の調整は、走行後1時間以上経過してから、または10km 以内の走行後であれば可能です。タイヤが温まった状態で空気圧を調整すると、タイヤが冷えたときに空気圧が低下し、警告が作動することがあります。
●スペースセーバータイヤを装着すると、タイヤ空気圧の変化の感知が停止されることがあります。この場合、間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯します。適正空気圧に調整された正しい仕様のタイヤを装着し、システムの初期化がされると、警告灯が消灯し、システムが作動を再開します。

第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
ヘッドアップディスプレイ…… 4-4
警告灯類／表示灯類…… 4-6
冷却水温度計…… 4-24
サービスインジケーター…… 4-25
オドメーター…… 4-26
マニュアルチェック…… 4-27
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）…… 4-27
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）…… 4-28
ワイパー／ウォッシャー…… 4-38
ドライブコンピューター…… 4-42

インストルメントパネル



①：デジタルスピードメーター
②：シフトポジション／シフトタイミングインジケーター＊／ドライブモード
③：ディスプレイゾーン
④：燃料計／走行可能距離
⑤：オドメーター
⑥：アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーション表示

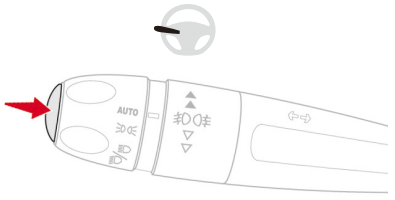
⚠警 告

●スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示(マイル)にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

MEMO

警告灯および表示灯は、状況により点灯位置が異なる場合があります。

●表示モードの設定



ライトスイッチレバー先端のスイッチを押すと、インストルメントパネルのディスプレイゾーンに表示される表示モードが切り替わります。

MEMO

システムのバージョンによって、設定できる項目や表示内容が異なる場合があります。

＊仕様により異なります。

●表示モードの種類

表示モードは、以下の4種類から選択して表示することができます。

- **ダイヤル**
- **ドライブ**
- **コンピューター**
- **最小**

ダイヤル

冷却水温度計、レブカウンターが表示されます。

ドライブ

アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムが表示されます。

コンピューター

ドライブコンピューターが表示されます。

最少

インストルメントパネルのディスプレイゾーンには何も表示されません。

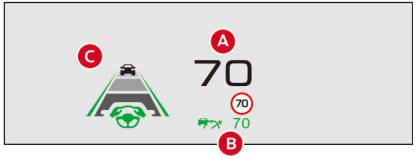
●言語の設定

インストルメントパネルとタッチスクリーンの言語を切り替えるには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

初期設定は日本語になっています。

ヘッドアップディスプレイ *

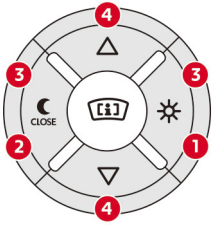


運転者が前方を見ながら運転に必要な情報を確認できるように、ディスプレイに様々な情報を表示します。

A. スピードメーター
B. アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーション表示
C. アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムの表示

●ディスプレイの操作





①：オンスイッチ
②：オフスイッチ
③：照度調整スイッチ
④：高さ調整スイッチ

起動／格納

エンジンが始動している状態のときにオンスイッチ①またはいずれかのスイッチを押すと、ディスプレイを起動できます。オフスイッチ②を長く押すとディスプレイを格納できます。

高さ調整

エンジンが始動している状態のときに高さ調整スイッチ④（△＝上、▽＝下）を押します。見やすい高さになるよう、ディスプレイの高さを調整できます。

照度調整

エンジンが始動している状態のときに照度調整スイッチ③（太陽＝明、月＝暗）を短く押します。ディスプレイの明るさを調整できます。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたときの状態は、次回エンジンを始動するときまで残ります。

* 仕様により異なります。

⚠警 告

ヘッドアップディスプレイは停車中に操作してください。

注 意

●ダッシュボード上のディスプレイ付近に物を置いたり、ディスプレイ出入口を覆ったりしないでください。ディスプレイ作動時の妨げになります。

●お手入れするときは、硬い布、表面が荒い布、洗剤などは使用しないでください。ディスプレイが破損したり、反射防止のコーティングが傷付いたりするおそれがあります。メガネ拭きのようなやわらかい布を使用してください。

MEMO

●気象条件（雨、雪、光など）によっては、ディスプレイが見づらかったり、一時的に影響を受ける場合があります。

●お使いのメガネ（サングラス、偏光レンズなど）によっては、ディスプレイの表示が読み取りづらい場合があります。

警告灯類／表示灯類

●警告灯について

警告灯には、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると点灯するものがあります。数秒後またはエンジンを始動するとそれらの警告灯は消灯します。

いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。

いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

●表示灯について

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。

いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

⚠警 告

- STOP警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- 警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（6-6ページ参照）。

MEMO

高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

●赤色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	STOP	点灯／警告音／メッセージ	エンジン、ブレーキ、パワーステアリング、オートマチックトランスミッションなどに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	12V バッテリー	点灯	12V バッテリーの充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。 エレクトリックパーキングブレーキがかからない場合は、輪止めをしてください。
	半ドア	点灯／メッセージ（時速10km 以下）	いずれかのドアまたはテールゲートが開いています。	ドアまたはテールゲートを閉めてください。
		点灯／警告音／メッセージ（時速10km 以上）		

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	シートベルト	点灯	・シートベルトを着用していません。 ・着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音		
	エレクトリックパーキングブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。
				ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。
		点滅	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が作動しません。作動／解除機構に故障が発生しています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、シトロエン推奨のブレーキ液を補給してください。 問題が解消されない場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
			電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	自動診断	点灯 （STOP 警告灯も点灯）	重大な不良が発生しているおそれがあります。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	冷却水温	点灯／警告音／メッセージ （STOP 警告灯も点灯）	冷却水の温度が過剰に上昇しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	エンジン油圧	点灯	油圧が不足しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	SERVICE	点灯（一時的）／メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・タイヤ空気圧 ・リモコンの電池切れ　など 解決しない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
			エレクトリックパーキングブレーキ故障のメッセージが表示されたら、オートマチックでの解除ができません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
 	SERVICE （ディーゼル車）	点灯（サービスインジケーターのスパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちにシトロエン指定サービス工場で定期点検整備を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
AdBlue	AdBlue®（ディーゼル車）	点灯（一時的）／メッセージ	AdBlue® の残量が少なくなっています。 走行可能距離は800km から2400km です。	早めにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
		点灯または点滅／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100km から800km です。	すみやかにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
			AdBlue® の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
AdBlue 	**SCR システム（ディーゼル車）**	点灯／警告音／メッセージ（自動診断警告灯も点灯）	SCR システムに異常が発生しています。	一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。 SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅／警告音／メッセージ（自動診断警告灯も点灯）	SCR システムに異常が発生しています。 走行可能距離は1100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
			SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	**予熱表示灯（ディーゼル車）**	点灯（一時的）	**ENGINE START/STOP** スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏んでいるときにエンジンが始動します。
				予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します。 エンジンがかからないときは、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにし、再度エンジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）（ディーゼル車）	点灯（一時的）／メッセージ（警告音がする場合があります）	DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）にススが一定量堆積しました。	道路状況を見て、すみやかに時速60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。
	燃料フィルター（ディーゼル車）	点灯	燃料フィルターに水が溜まっています。	燃料噴射システムが損傷するおそれがあります。直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が解除されています。	パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させてください。
		点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結ができません（エンジンが始動している状態での締結ができません）。	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結／解除ができないときは、パーキングブレーキスイッチの故障が考えられます。 エンジン停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除している場合は、機能が自動的に復帰します。 シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	パーキングブレーキに異常が発生しています。自動／手動操作ともに動作しません。	車を止めておくには、7秒から15秒間、警告灯が点灯するまでパーキングブレーキスイッチを引きます。 上記の操作を失敗した場合は、安全で平らな場所に車を停止して、シフトポジションを P にした状態でエンジンを停止し、輪止めをしてください。 シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	ブレーキ	点灯	ブレーキに軽微な不良が発生しているおそれがあります。	注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	アクティブセーフティブレーキ	点灯	アクティブセーフティブレーキ機能がオフになっています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。
		点滅	アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
		点灯／警告音／メッセージ	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブセーフティブレーキ	点灯（SERVICE 警告灯も点灯）	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	エンジンを停止し、再度始動しても消灯しない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯（シートベルト警告灯も点灯）	運転席シートベルトおよび助手席シートベルトが着用されていません。アクティブセーフティブレーキは解除されています。	アクティブセーフティブレーキを作動状態にするには、運転席シートベルトおよび助手席シートベルトを着用してください。
	ABS（アンチロックブレーキ）	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	パワーステアリング	点灯	パワーステアリングに異常が発生しています。	注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	ASR OFF	点灯／メッセージ	ASR システムがオフになっています。	ASR システムは、ENGINE START/STOP スイッチをオフにする、または時速50km 以上で走行すると自動的にオンになります。 手動でオンにするときは、タッチスクリーンで設定します。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ASR ／ DSC	点滅	ASR ／ DSC システムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯／警告音／メッセージ	ASR ／ DSC システムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
 	非常ブレーキ（エレクトリックパーキングブレーキ）	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	非常ブレーキに異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキの自動解除ができない場合は、ブレーキペダルを踏みながら手動操作で解除してください。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	ヒルスタートアシスタンス	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	ヒルスタートアシスタンス機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	レーンキープアシスト	点灯	レーンキープアシスト機能がオフまたは停止されています。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点滅	方向指示器が作動していないとき、走行車線を逸脱する可能性があると判断されました。 ハンドル操作の自動修正が行われます。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。

＊仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンキープアシスト	点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	レーンキープアシスト機能に異常があります。	レーンキープアシスト機能が作動していません。注意して走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	レーンポジショニングアシスト*	点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	レーンポジショニングアシスト機能に異常があります。	レーンポジショニングアシスト機能が作動していません。注意して走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	エアバッグ	点灯（一時的）	システムの点検中です。（数秒間点灯したあとに消灯）	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	空気圧警告	点灯／警告音／メッセージ	タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	空気圧警告	点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 直ちにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	リアフォグランプ	点灯	リアフォグランプが点灯しています。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	燃料残量	点灯／警告音／メッセージ	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	燃料が少なくなっています。早めに燃料を補給してください。 ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動する度に警告灯は点灯します。 燃料タンクの容量は約50リットルです。 燃料がなくなるまで、走行を続けないでください。排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯（SERVICE 警告灯も点灯）	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	インテリジェントハイビーム	点灯／警告音／メッセージ	インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常があります。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
A OFF	ストップ＆スタート	点灯／メッセージ	ストップ＆スタートシステムが手動でオフになりました。	ストップ＆スタートシステムをオンにしてください。
		点灯	外気温が0℃以下、＋35℃以上のため、ストップ＆スタートシステムが自動的にオフになりました。	外気温が0℃以上、＋35℃以下のとき、システムが作動します。
		点滅後に点灯／メッセージ	ストップ＆スタートシステムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
P OFF	フロント／サイド*／バックソナー	点灯	フロント／サイド*／バックソナーがオフになっています。	詳細は「フロント／サイド／バックソナー」項を参照してください。
P OFF		点灯*／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯*）	フロント／サイド*／バックソナーの機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

4

* 仕様により異なります。

●緑色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	パークアシスト *	点灯	パークアシストが作動しています。	詳細は「パークアシスト」項を参照してください。
	レーンポジショニングアシスト *	点灯	レーンポジショニングアシストが作動しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	ウィンカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上または下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	ポジションランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。または、ライトスイッチが AUTO の位置にあり、デイタイムランニングランプが点灯しています。	—
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。または、ライトスイッチが AUTO の位置にあります。（周囲の明るさに応じて点灯）	—

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	インテリジェントハイビーム	点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが **AUTO** の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	—
		点灯	タッチスクリーンの設定で機能がオンになっていて、ライトスイッチが **AUTO** の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。	—
	ストップ＆スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ＆スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ＆スタート」項を参照してください。
	フロントフォグランプ *	点灯	ライトスイッチレバーのリングを前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。

* 仕様により異なります。

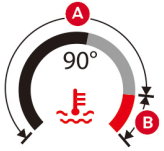
●青色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

●灰色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンポジショニングアシスト *	点灯	作動条件が満たされていないため、レーンポジショニングアシストの作動が停止しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。

冷却水温度計



冷却水温度計は、インストルメントパネルの表示モードを**ダイヤル**に設定したとき、インストルメントパネルのディスプレイゾーンに表示されます。
冷却水温度計が **A** のゾーンにあるときは、水温は適正です。冷却水温度計が **B** のゾーンにあるときは、オーバーヒートの状態です。警告音とともに冷却水温警告灯と STOP 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
直ちに車を安全な場所に止めて、数分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。その後はすみやかにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

冷却水の補給はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。
次回の点検まで3000km 以内になったとき、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動したあとの数秒間、インストルメントパネルに表示されます。
また、タッチスクリーンからも次回のメーカー推奨点検時期を確認することができます。

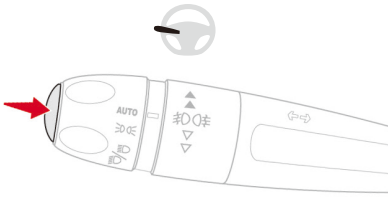
●サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
	点灯（数秒間）	次回の点検まで1000km から3000km であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点灯	次回の点検まで1000km 以内であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯 （ガソリン車）	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯 （**SERVICE** 警告灯も点灯） （ディーゼル車）	

MEMO

点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

●ゼロリセット



リセットはシトロエン指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. ライトスイッチレバー先端のスイッチを押し続けます。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたスイッチを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。

MEMO

●シトロエン指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際にシトロエン指定サービス工場の担当者にお伝えください。

●リセット直後に12V バッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、12V バッテリーをはずしてください。

オドメーター

オドメーターは、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに表示されます。また、以下のあと、しばらくの間表示されます。

・施錠したとき
・解錠したとき
・**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたとき
・運転席側ドアを開閉したとき

MEMO

距離の単位は必ず km 表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

* 仕様により異なります。

マニュアルチェック

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、タッチスクリーンからインストルメントパネルに以下の情報を表示させることができます。

・サービスインジケーター
・タイヤ空気圧警告 *
・走行可能距離（ディーゼル車）
・現在の不具合状況

MEMO

マニュアルチェックの情報は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、毎回表示されます。

インストルメントパネルの調整（明るさ調整）

●照度調整

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. ＜または＞にタッチするか、カーソルを動かして調整します。

MEMO

●周囲が暗いときや夜間に明るさを調整できます。
●明るさを調整すると、タッチスクリーンの照度も調整されます。

●タッチスクリーンの画面のオン／オフ

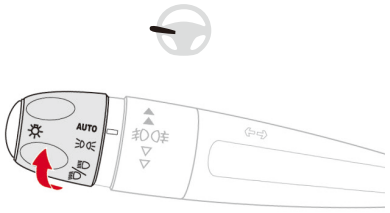
1.  にタッチします。
2.  にタッチします。

MEMO

再度タッチスクリーンにタッチすると、タッチスクリーンの画面が点灯します。

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

●ヘッドランプ



ライトスイッチレバーのリングを回して操作します。

AUTO　オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

⚠警 告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り替えるときは、スイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

⚠警 告

フル LED ヘッドライト装着車は、点灯中のヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LED ライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



MEMO

●低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

● ライト類に異常が発生したときは、警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●パッシング

スイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

●フォグランプ

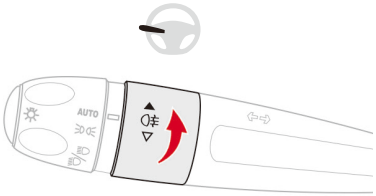
⚠警 告

●フォグランプは昼夜問わず晴天時や雨天時には使用しないでください。他車に眩惑を与えます。

●点灯中のフロントフォグランプを至近距離から直視しないでください。LED ライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



リアフォグランプ装備車



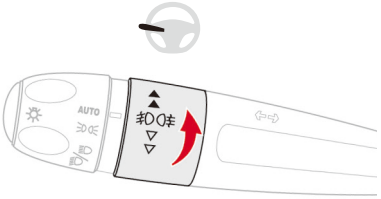
ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

ライトスイッチレバーのリングを前方へ回すと点灯します。後方へ回すと消灯します。

MEMO

オートライトでヘッドランプが点灯中に、リアフォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもポジションランプとリアフォグランプは点灯し続けます。リングを回してリアフォグランプを消灯してください。リアフォグランプと同時にポジションランプも消灯します。

フロント／リアフォグランプ装備車



ポジションランプまたはヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

ライトスイッチレバーのリングを1回前方へ回すとフロントフォグランプが点灯します。リングをさらに1回前方へ回すとリアフォグランプも点灯します。
リングを1回後方へ回すとリアフォグランプが消灯します。リングをさらに1回後方へ回すとフロントフォグランプも消灯します。

MEMO

オートライトでヘッドランプが点灯中に、フォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもポジションランプとフォグランプは点灯し続けます。リングを回してフォグランプを消灯してください。フォグランプと同時にポジションランプも消灯します。

●デイタイムランニングランプ

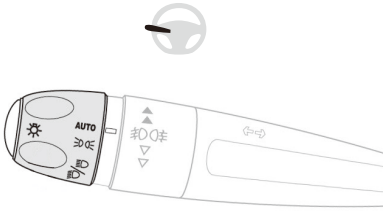
エンジンを始動すると、ライトスイッチが AUTO で周囲が明るいときにデイタイムランニングランプだけが自動的に点灯します。デイタイムランニングランプが点灯中は、インストルメントパネル内のポジションランプ表示灯が点灯します。

⚠警 告

点灯中のデイタイムランニングランプを至近距離から直視しないでください。LED ライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



●オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

作動

リングを AUTO 位置に回します。

機能解除

リングを AUTO 以外の位置に回します。

⚠注 意

- ●昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。安全のため、手動でライトを点灯してください。
- ●フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。
- ●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとフロントウィンドウの雨滴／日射センサーが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

雨滴／日射センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯します。警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。再度ライトを点灯するには、**AUTO** から他の位置にレバーのリングを回すか、いったん **AUTO** にしてから他の位置にレバーのリングを回してください。

●**ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態で、マニュアル操作でライトを点灯したまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。レバーのリングを **AUTO** 位置に回すとライトが消灯します。

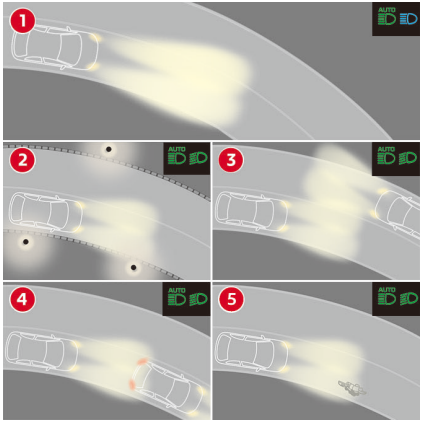
●**ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態でライトを点灯したままにすると、12V バッテリーのバッテリー上がりを防止するために一定時間後、自動的に消灯します。

●インテリジェントハイビーム

フロントウィンドウ上部に備えられたカメラによって周囲の明るさと運転状況を検知し、ヘッドライトのロービームとハイビームを自動的に切り替える機能です。

⚠警 告

インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。



①：ハイビーム点灯。ハイビームが必要な場合
②：ロービーム点灯。周囲が明るいためハイビームが不要な場合
③：ロービーム点灯。対向車がある場合
④：ロービーム点灯。先行車などがある場合
⑤：ロービーム点灯。先行車などがある場合

機能をオンにする

1. ライトスイッチレバーのリングを**AUTO**位置に回します。
2.  ダッシュボードのボタンを押します。
3. **ドライビング機能**にタッチします。
4. **インテリジェントハイビーム**にタッチします。

MEMO

- ●インテリジェントハイビームは時速25km以上で作動します。時速15km以下になると作動が停止します。
- ●**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてもシステムのオン／オフの設定は保持されます。

ハイビーム／ロービームの切り替え条件

以下のときにロービームが点灯します。

・周囲の明るさが十分にあり、運転状況がハイビームの点灯に適さないとき



ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



以下のときにハイビームが点灯します。

・周囲の明るさが十分になく、運転状況がハイビームの点灯に適したとき



ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。



作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでインテリジェントハイビーム機能を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。インテリジェントハイビームに戻したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。

MEMO

- ●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。
- ●降雪、豪雨、濃霧などで視界が不十分なとき、またはリアフォグランプを点灯させたときは、自動的にインテリジェントハイビームの機能が一時中断されます。機能が一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがインテリジェントハイビーム機能の作動に適していると判断する、またはリアフォグランプを消灯すると、インテリジェントハイビーム機能が再度作動します。

機能をオフにする

インテリジェントハイビーム機能をオフにするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ライトスイッチレバーの操作ではインテリジェントハイビームをオフにできません。

システムの異常

AUTO インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
- 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
- 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき

●カメラは以下のような対象物は検知しません。
- 歩行者のように光を発しないもの
- 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
- 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

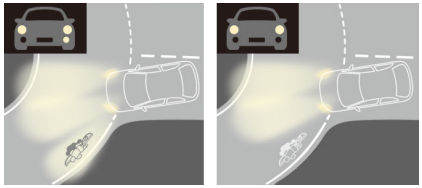
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

⚠警 告

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

●コーナリングライト *



作動時　　非作動時

ヘッドライトに加えてフォグランプがカーブの内側を照らし、交差点や曲がりくねった道、駐車操作中に障害物を発見しやすくする機能です。時速40km 以下で走行中に作動します。
この機能のオン／オフを切り替えるときはタッチスクリーンで設定します。

点灯する条件
・方向指示器が作動している
・ステアリングが一定の角度以上回っている

消灯する条件
・ステアリングが一定の角度まで回っていない
・時速40km を超えている
・シフトポジションが R になっている

●パーキングライト

路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（通常は車両通行側）のみ点灯させることができます。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、約45秒以内にライトスイッチレバーを点灯させたい側に操作します。警告音とともに表示灯（ウィンカー）が点灯し、片方のポジションランプが点灯します。
以下のとき、ポジションランプは消灯します。
・ライトスイッチレバーを戻す
・ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする
・エンジンを始動する

4

* 仕様により異なります。

●フォローミーホーム（駐車時照明機能）

周囲が暗いときや夜間にエンジンを停止したあとしばらくの間、ヘッドランプなどが点灯したままになります。

オート操作

オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

マニュアル操作

オートライトモードでないときも、作動させることができます。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。
リモコンからもフォローミーホームを作動させることができます。

キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

設定

フォローミーホームのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

●ウェルカムランプ

周囲が暗いときや夜間にリモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使って車両を解錠すると、ヘッドランプなどが点灯して乗車をサポートします。

点灯

車両を解錠するとヘッドランプなどが点灯します。

消灯

ウェルカムランプは、以下のときに消灯します。

- ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする
- エンジンを始動する
- スマートキーの施錠ボタンを押してドアを施錠する

設定

ウェルカムランプのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

●エクステリアサイドランプ

ドアミラー下部にあるエクステリアサイドランプは、以下のときにフロントルームランプに連動して点灯します。

- ドアのロックを解除したとき
- ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたとき
- ドアが開いたとき
- 車外からスマートキーが操作されたとき

エクステリアサイドランプは点灯後、以下のときにフロントルームランプに連動して消灯します。

- ドアをロックしたとき
- ENGINE START/STOP スイッチをオフにして30秒後
- ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき
- エンジンを始動したとき
- 最後のドアが閉まって30秒後
- エンジンが始動している状態のときは、ドアを閉じたとき

●ヘッドライト照射角度調整

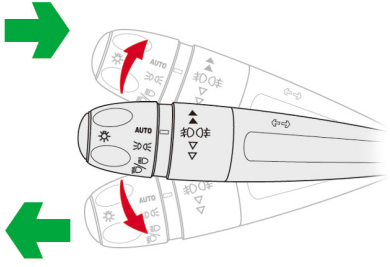


ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。

MEMO

ダイヤルの4、5、6は未使用の目盛りです。照射角度の調整はできないため使用しないでください。

●方向指示器



右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上に動かします。

左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下に動かします。

MEMO

●車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●時速80km 以上で運転している際に方向指示器を20秒以上作動させた場合、作動音が序々に大きくなります。

●ハザードランプ



ENGINE START/STOP スイッチのポジションに関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

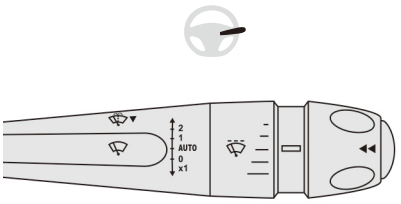
緊急制動表示灯
急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

MEMO

渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

●フロントワイパー



ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

2	高速作動
1	通常作動
AUTO	自動作動
0	停止
x1	一回作動

注 意

●ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。
●外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがウィンドウに張り付いていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

MEMO

●ワイパーレバーが高速作動や通常作動のポジションにあるときでも、時速5km 以下で走行している場合はワイパーの休止時間が長くなります。時速10km を超えると元の休止時間に戻って作動します。
●ウィンドウガラスやワイパーに雪が積もっているときや凍結しているときは、ワイパーを使用する前に取り除いてください。

MEMO

●自走式の洗車機で洗車したあとにワイパーを作動させると、一時的に、いつもと異なる音が発生したり、拭払性能が低下したりすることがありますが、異常ではありません。ワイパーブレードの交換は必要ありません。

●オートワイパー

ワイパーを **AUTO** モードにしておくと、雨滴／日射センサーが感知した雨滴量やセンサーの感度に応じて自動的にワイパーが作動します。

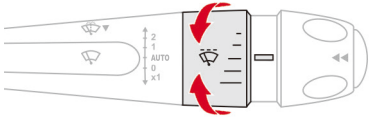
作動

ワイパーレバーを **AUTO** の位置にするとオートモードが作動します。ワイパーが一回作動するとともにメッセージが表示されます。
システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが **AUTO** の位置では間欠作動となります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

解除

ワイパーレバーを **AUTO** 以外の位置にするか、**0**の位置にするとオートモードが解除されます。メッセージが表示されます。

センサーの感度調整



センサーの感度を調整するときは、ワイパーレバーのリングを上下に回します。リングを下側に回すと雨滴／日射センサーの感度が低くなります。リングを上側に回すと雨滴／日射センサーの感度が高くなります。センサーの感度が高いほど、雨に反応しやすく、ワイパーの休止時間が短くなります。
リングを上側に回して感度を高くするとワイパーが一回作動します。

MEMO

- ●ワイパーレバーが **AUTO** の位置で、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにして1分以上経過すると、次回エンジン始動時はワイパーが次のように作動します。
  - 外気温が3℃以下の場合は、時速10km 以上で走行すると雨滴量に応じてオートモードで作動開始します。
  - 外気温が3℃以上の場合は、エンジンを始動すると雨滴量に応じてオートモードで作動開始します。
- ●霧、霜、雪など、天候状態によってはオートワイパーが作動しない場合があります。手動でワイパーを作動させてください。

⚠注 意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除し、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにしてください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注 意

- ●フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。
- ●フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

●ウィンドウウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。レバーを放すと数秒後にワイパーが停止します。

レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

⚠警 告

外気温が低温で凍結のおそれがあるときは、フロントウィンドウが暖まるまでウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウォッシャー液がウィンドウガラスに凍り付き、視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。

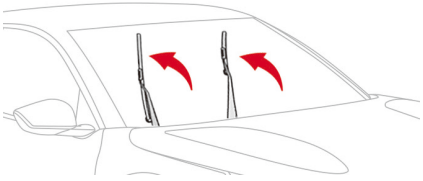
注 意

タンク内のウォッシャー液が不足して、ウォッシャー液が噴射されないときは、ウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

MEMO

ウィンドウウォッシャーを作動させるとエアコンが自動的に内気モードに切り替わり外のいやな臭いを遮断します。

●ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒以内にワイパーレバーを操作するとワイパーがメンテナンスポジションで停止します。
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠警 告

傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保された状態で走行してください。

MEMO

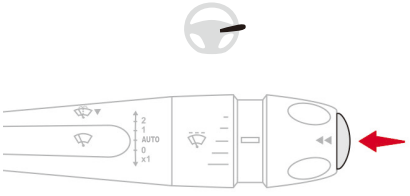
●ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。
- 丁寧に取り扱ってください。
- せっけん水で定期的に洗ってください。
- 紙や異物を挟まないでください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

●ワイパーアームの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●ウィンドウガラスに撥水コーティング剤を使用する場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

ドライブコンピューター

●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより、トリップコンピューター、トリップ1、トリップ2を切り替えて表示します。

MEMO

インストルメントパネルの表示モードが**コンピューター**に設定されている場合は、ドライブコンピューターが常にインストルメントパネルのディスプレイゾーンに表示されます。

●トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行可能距離、瞬間燃料消費量、エンジン停止時間を表示します。

●トリップ1 ／トリップ2

トリップ1 ／トリップ2は、平均速度、平均燃料消費量、走行距離を表示します。

例えば、トリップ1を月間の走行の平均に、トリップ2を旅行用に、と使い分けます。

●走行可能距離

タンク内に残っている燃料で、あとどのくらい走行できるかを表示します。

過去数キロに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。

走行可能距離が30km 以下になると、距離の表示はされません。

燃料の補給後は、数値が100km 以上になると再度表示されます。

MEMO

走行中に数値の代わりに－が連続して表示されるときは、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●瞬間燃料消費量

過去数秒間の燃料消費量を表示します。ただし、車の速度が時速30km 以上のときのみ作動し、表示します。

●エンジン停止時間



ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

●平均速度



コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

●平均燃料消費量



コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。



ご購入いただいてから最初の3,000kmは、カタログなどの数値より燃料消費量が大きくなることがあります。

●走行距離



コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

●リセット

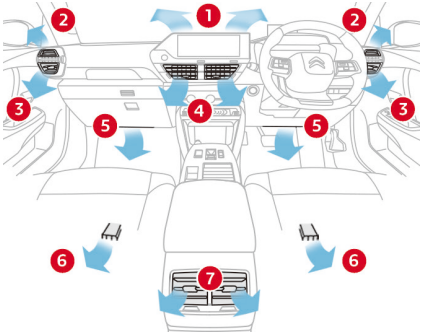
トリップ1 ／トリップ2をリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチを2秒以上押し続けます。リセットは各トリップごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。

数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

第5章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー····· 5-2
タッチスクリーン····· 5-9
ラゲッジルーム····· 5-19
ルームランプ····· 5-21
インテリア····· 5-23

エアコンディショナー



①：フロントウィンドウ吹き出し口
②：サイドウィンドウ吹き出し口
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：ダッシュボード中央吹き出し口
⑤：ダッシュボード足元吹き出し口
⑥：後席用足元吹き出し口
⑦：後席用吹き出し口

ダッシュボード中央、左右の吹き出し口および後席用吹き出し口には、ルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

⚠注 意

ストップ&スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ&スタートを解除してください。

MEMO

●室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
- 室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
- 外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。

●冬季のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。

MEMO

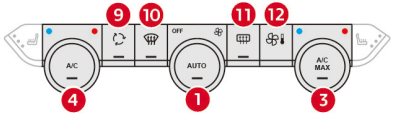
●空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
- ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
- 前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
- ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていないか。

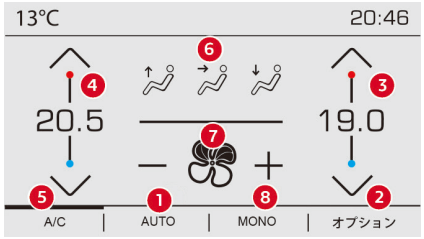
●ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
●エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
●長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
●室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。

MEMO

●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●左右独立式オートエアコン





運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。
オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

⚠注 意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

エアコン設定の表示

エアコンの設定は、ダッシュボードのコントロールパネルまたはタッチスクリーンのエアコン設定画面で行います。
エアコン設定画面は、ダッシュボードのエアコンメニューボタン⑫を押す、または次の操作を行うと表示されます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。

2.  にタッチします。

MEMO

タッチスクリーンがエアコン設定画面以外を表示しているとき、タッチスクリーン画面両端のエアコンの温度設定表示にタッチすると、エアコン設定画面を表示できます。
また、温度設定表示の下部には現在選択されている吹き出し口、風量など、エアコンの作動状況が表示されます。

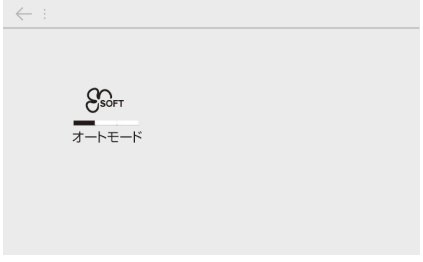
オートモード

MEMO

- ●オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
- ●ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもエアコンの設定は保持されます。

オートモードの設定：
ダッシュボードのボタン①（**AUTO**）を押す、またはタッチスクリーンの **AUTO** ①にタッチすると、インジケーターが点灯しオートモードになります。

オプション：
タッチスクリーンの**オプション**②にタッチすると、オートモードの作動モードを変更できます。



SOFT：室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。
NORMAL：室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。
FAST：室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。

MEMO

後席側の室内温度を快適に保つためには、オートモードの作動モードを **NORMAL** または **FAST** に設定してください。

温度の設定：
③：運転席側
④：助手席側

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。ダッシュボードのダイヤル③、④を右（赤丸方向）へ回すと温度が上がり、左（青丸方向）へ回すと温度が下がります。または、タッチスクリーンの∧（赤丸方向）③、④にタッチすると温度が上がり、∨（青丸方向）③、④にタッチすると温度が下がります。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。
21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより**14** ～ **28**の間を設定してください。

MEMO

左右の温度設定の差が**3**以上にならないように設定してください。

マニュアルモード
オートモードで設定された条件は個々に変更できます。
変更した条件を元に戻すときは、ダッシュボードのボタン①（**AUTO**）を押す、またはタッチスクリーンの **AUTO** ①にタッチするとオートモードになります。

MEMO

温度を最高／最低に設定したいときは、ディスプレイに **HI** ／ **LO** が表示されるまで、ダッシュボードのダイヤル③、④を右／左に回す、またはタッチスクリーンの∧／∨③、④にタッチします。

エアコンのオン／オフ：
ダッシュボードのボタン④（**A/C**）を押す、またはタッチスクリーンの **A/C** ⑤にタッチすると、エアコン（冷房・除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度操作します。インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

吹き出し口の切り替え：
タッチスクリーンのアイコン⑥にタッチして吹き出し口を選択します。


フロントウィンドウとサイドウィンドウ


ダッシュボード中央と左右


足元

MEMO

次の吹き出し口を同時に選択することができます。
- フロントウィンドウとサイドウィンドウおよび足元
- ダッシュボード中央と左右および足元

風量の調整：
ダッシュボードのダイヤル①を右（ファンのアイコン方向）へ回すと風量が増え、左（OFF 方向）へ回すと風量が減ります。または、タッチスクリーンの＋⑦にタッチすると風量が増え、－⑦にタッチすると風量が減ります。

MEMO

タッチスクリーンのファンの羽根が消えて **OFF** が表示されるとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。
再度操作すると、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

急速冷房：
室温を急速に冷やしたいときに使用します。
ダッシュボードのボタン③（**A/C MAX**）を押すとエアコンの設定温度が一番低くなり、ダッシュボード中央と左右吹き出し口の風量が最大になります。また、内気モードに切り替わります。元の設定に戻すには、再度ダッシュボードのボタン③（**A/C MAX**）を押します。

MONO モード：
助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせる機能です。タッチスクリーンの **MONO** ⑧にタッチするとオンになります。助手席側の温度設定が操作された場合には自動的にオフになります。
インジケーターが点灯しているときは MONO モードがオン、消灯しているときはオフになっています。

内／外気の切り替え：



外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。
ダッシュボードのボタン⑨を押す度に内気モード／外気モードが切り替わります。インジケーターが消灯しているときは外気モード、点灯しているときは内気モードになっています。
内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

MEMO

シフトポジションを **R** にすると自動的に内気モードに切り替わります。

●視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント／リアそれぞれの視界確保モードを作動させて曇りを取ってください。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントウィンドウ



ダッシュボードのボタン⑩を押すとインジケーターが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。
このモードを解除するときは再度ボタン⑩を押すか、ダッシュボードのボタン①（AUTO）を押す、またはタッチスクリーンの AUTO ①にタッチします。インジケーターが消灯します。

⚠警 告

冬季にフロントウィンドウのカメラ周辺に雪が積もったり凍結したりするとカメラが正常に作動しません。フロントウィンドウの視界確保モードを作動させて、走行前に雪や氷を取り除いてください。

MEMO

- このモードを使用しているときは、ストップ&スタートの停止モードは使用できません。
- フロントウィンドウの視界確保モードを作動させている間もエアコンの風量を調整することができます。エアコンの風量を調整してもフロントウィンドウの視界確保モードは解除されません。

リアウィンドウ



エンジンが始動している状態のときにダッシュボードのボタン⑪を押すと、インジケーターが点灯し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。このモードは自動的に解除されますが、作動時間は外気温に応じて異なります。手動で解除するときは再度ボタン⑪を押します。インジケーターが消灯します。

●換気モード

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしてから数分間、エンジンが停止していてもエアコン設定画面で風量と吹き出し口の切り替えを操作することができます。

MEMO

- ●換気モードは、12V バッテリーの電力が十分なときに作動します。
- ●換気モードでは、エアコン（冷房・除湿機能）や暖房機能は作動しません。

* 仕様により異なります。

タッチスクリーン

コンソールのタッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

・エアコンの操作
・車の機能の設定
・オーディオの設定
・タッチスクリーンの設定
・ハンズフリー通話の設定
・フロント／サイド＊／バックソナーなどの駐車支援システムの表示
・外気温度計

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

MEMO

●本書に記載したタッチスクリーン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のものです。タッチスクリーンのシステムのバージョンアップによってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。
●外気温度計に青色の警告灯が表示された場合は、路面が凍結している可能性があることをお知らせしています。

●タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンを操作する際は、一本の指でやや強めにタッチおよびフリック（タッチした状態での指の移動）を行ってください。

MEMO

スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

●ページの移動

← 前のページに戻ります。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●設定の変更

OK 設定項目の変更後、変更画面にある OK にタッチして設定を有効にします。

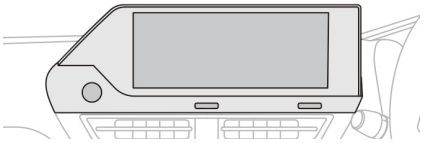
●詳細設定



さらに詳細な設定項目がある場合には、このアイコンにタッチします。

5

●メニュー



ダッシュボードには、タッチスクリーンでさまざまな機能の設定や操作を開始するために、次の2種類のボタンが装備されています。

このボタンを押すと、車の機能の設定画面が表示されます。

このボタン（ホームボタン）を押すと、タッチスクリーンメニューが表示されます。

タッチスクリーンメニュー

ダッシュボードのホームボタンを押したあと、タッチスクリーンに表示されたアイコンにタッチするとそれぞれ以下のような設定画面を表示します。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

Apple CarPlay や Android Auto のマップを表示します。（使用中のみ）

エアコンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。

画像ファイルやタッチスクリーンと接続済みの機器のプロファイル設定などを表示します。

車の機能の設定画面を表示します。

その他の設定

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート（消音／停止）になります。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたあとは、ツマミを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

MEMO

- ●一部のタッチスクリーンメニューのアイコンはタッチスクリーン画面両端にも表示されます。このアイコンにタッチすると各設定画面が表示されます。
- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、タッチスクリーンメニューが表示されます。
- ●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。
- ●オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay や Android Auto に関しては、付録を参照してください。

●日付と時刻の設定

時刻の設定

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. **時間**にタッチします。
5. にタッチしてタッチスクリーンで数値を入力します。
6. **OK** にタッチします。

日付の設定

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. **日付**にタッチします。
5.  にタッチし、画面をスクロールして、日付を設定します。

5

●設定項目一覧

アイコン			設定項目	追加設定項目
	ドライビング機能	パークアシスト *	パークアシストを開始します。	-
		インテリジェントハイビーム	アイコンにタッチすると、インテリジェントハイビームがオン／オフします。	-
		ストップ&スタート	アイコンにタッチすると、ストップ&スタートがオン／オフします。	-
		パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、フロント／サイド * ／バックソナーがオン／オフします。	-
		タイヤ空気圧警告　初期化	間接式タイヤ空気圧警告の初期化を行います。	-
		トラクションコントロール	アイコンにタッチすると、ASR システムがオン／オフします。	-
		チェック	サービスインジケーター、走行可能距離（ディーゼル車）、タイヤ空気圧警告や不具合の発生状況などを呼び出します。	-

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	パーキング	電格ミラー解除	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 OFF にすると、解錠／施錠時にドアミラーが展開／格納します。	-
		ヘッドライト	フォローミーホームライト	アイコンにタッチすると、フォローミーホームがオン／オフします。	点灯時間を設定することができます。
			ウェルカムライト	アイコンにタッチすると、ウェルカムランプがオン／オフします。 解錠したときに一定時間ライトが点灯します。	点灯時間を設定することができます。
			ディレクショナルヘッドライト *	アイコンにタッチすると、コーナリングライトがオン／オフします。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	コンフォート	ハンズフリーアクセス	アイコンにタッチすると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオン／オフします。	-
			開錠：運転席側ドアのみ	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 選択解錠モードになります。	-
			アンビエンスライト *	アイコンにタッチすると、アンビエンスイルミネーションがオン／オフします。	明るさを調整することができます。

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	セーフティー	ブラインドスポットモニター	アイコンにタッチすると、ブラインドスポットモニターがオン／オフします。	-
			アクティブセーフティブレーキ	アイコンにタッチすると､アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。	車間距離を設定することができます。
			制限速度の表示／推奨速度	アイコンにタッチすると、速度規制標識の認識機能がオン／オフします。	-
			トラフィックサインインフォメーション	アイコンにタッチすると、道路標識の認識機能がオン／オフします。	-
			疲労検知システム	アイコンにタッチすると、ドライバーアテンションアラートがオン／オフします。	-

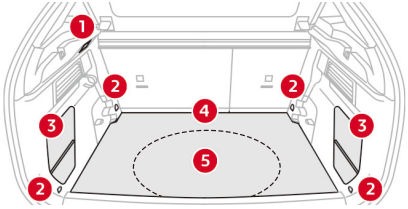
アイコン				設定項目	追加設定項目
				タッチスクリーンの画面が消灯します。	-
				インストルメントパネルとタッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
			**単位**	温度の単位や燃費表示の単位を設定します。	-
			初期設定	タッチスクリーンの初期化を行います。	-
			システム情報	タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
			プライバシー	スマートフォンアプリとの GPS（車両の位置情報）やその他の車両情報の共有を制限する機能です。 **データおよび車両位置情報をシェアしない**：GPS と車両情報の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができなくなります。 **データのみシェア**：GPS の共有を制限します。車両情報の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。 **データ及び車両位置情報をシェア**：GPS と車両情報の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が有効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
			**明るさ**	インストルメントパネルとタッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
			アニメーション	画面のアクションなどを設定します。	-
				言語を設定します。	-
				日時を設定します。	-
				表内の**プライバシー**の項目を参照してください。	-

ラゲッジルーム

●各部の名称



①：ラゲッジルームランプ
②：固定リング
③：収納スペース
④：2ポジションラゲッジフロアボード／ラゲッジルームマット
⑤：収納スペース／工具入れ

⚠警 告

ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響をおよぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

MEMO

固定リングには、アクセサリー品のラゲッジネットなどを使用して荷物を固定することができます。

●リアパーセルシェルフ

リアパーセルシェルフは、テールゲートを開くと同時に持ち上ります。

はずしかた

1. 2つのひもをテールゲートからはずします。
2. リアパーセルシェルフを片側ずつ持ち上げてはずします。

取り付けかた

1. リアパーセルシェルフの両端にある固定バーをラゲッジルーム側面のくぼみに合わせ、片側ずつ上から押して固定します。
2. 2つのひもをテールゲートに取り付けます。

⚠警 告

リアパーセルシェルフの上には荷物を積まないでください。急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

●2ポジションラゲッジフロアボード

2ポジションラゲッジフロアボードは、高い位置または低い位置にすることができます。高い位置にすると、リアシートのバックレストを折りたたむことで、テールゲート開口部からフロントシートのバックレストまでをおおむねフラットフロアの荷室にできます。
低い位置にすると、収納スペースを広く使用することができます。

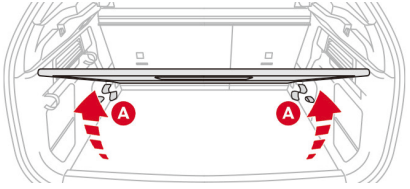
高い位置／低い位置にする

1. 取っ手を引いて2ポジションラゲッジフロアボードを持ち上げます。
2. 高い位置にするときは、2ポジションラゲッジフロアボードをラゲッジルーム前側両端にあるガイドの上側へスライドさせます。低い位置にするときは、ガイドの下側へスライドさせます。

MEMO

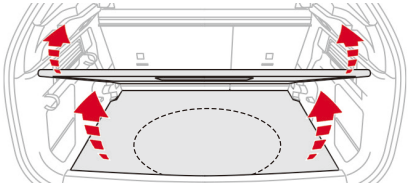
- ●最大荷重量は、高い位置で約100kg、低い位置で約150kgです。
- ●2ポジションラゲッジフロアボードの位置の変更は、ラゲッジルームに荷物がない状態で行ってください。

持ち上げた位置で固定する



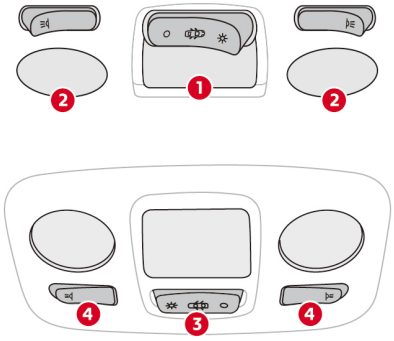
2ポジションラゲッジフロアボードを持ち上げた位置で固定するには、2ポジションラゲッジフロアボードを持ち上げ、**A**部に差し込みます。

●収納スペース／工具入れ



2ポジションラゲッジフロアボードの下には収納スペースがあります。また、ラゲッジルームマットの下には工具入れなどが格納されています。

ルームランプ



①：フロントルームランプ
②：フロントマップランプ
③：リアルームランプ
④：リアマップランプ

●フロント／リアルームランプ

フロント／リアルームランプは、スイッチ①③の位置を切り替えると点灯条件が変更できます。

次の状況でフロントとリアルームランプは点灯します。

・ドアのロックを解除したとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたとき
・ドアが開いたとき
・車外からスマートキーが操作されたとき

また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。

・ドアをロックしたとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして30秒後
・ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき
・エンジンを始動したとき
・最後のドアが閉まって30秒後
・エンジンが始動している状態のときは、ドアを閉じたとき

消灯したままになります。

点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。

・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして約10分間
・エコノミーモードで約30秒間
・エンジンを始動すると無制限

MEMO

フロントルームランプのスイッチ①を点灯したままになる位置に切り替えると、リアルームランプも連動して点灯します。リアルームランプを消灯するには、リアルームランプのスイッチ③を消灯したままになる位置に切り替えてください。

●フロント／リアマップランプ



ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、スイッチ②④をこの位置に切り替えると点灯します。

注 意

ルームランプ／マップランプに何も物が触れないようにしてください。

●アンビエンスイルミネーション *

ドアポケットやダッシュボードにアンビエンスイルミネーションが装備されています。アンビエンスイルミネーションは、仕様により、エンジンが始動している状態のとき、またはポジションランプ／ヘッドランプが点灯している状態のときに点灯します。

MEMO

アンビエンスイルミネーションのオン／オフおよび照度調整は、タッチスクリーンで設定します。

●ラゲッジルームランプ

テールゲートの開閉に合わせて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- ENGINE START/STOP スイッチをオフにして約10分間
- エコノミーモードで約30秒間
- エンジンを始動すると無制限

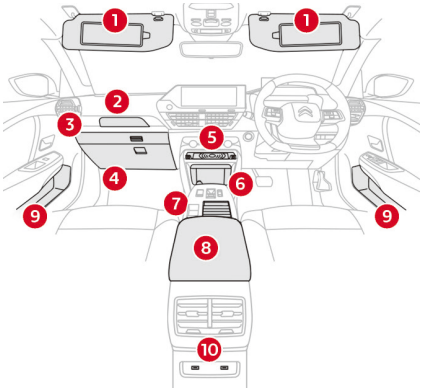
注 意

ラゲッジルームランプに何も物が触れないようにしてください。

* 仕様により異なります。

インテリア

●各部の名称



①：サンバイザー
②：Citroën Smart Pad Support®
③：ダッシュボードドロワー
④：グローブボックス
⑤：USB ポート／ワイヤレス充電器 *
⑥：小物入れ／ 12V 電源ソケット（最大使用電力：120W）
⑦：小物入れ／カップホルダー
⑧：フロントアームレスト（小物入れ）
⑨：ドアポケット
⑩：USB ポート

●サンバイザー

サンバイザーの裏側には、ミラーが備え付けられています。
ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにカバーを開けるとライトが点灯します。
通行券などを挟むカードホルダーも備え付けられています。

●グローブボックス

グローブボックスのボタンを押すと開きます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに開けると中の照明が点灯します。
グローブボックスの中には助手席エアバッグキャンセルスイッチがあります。

⚠警 告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

●ダッシュボードドロワー

ダッシュボードドロワーのボタンを押すと開きます。ダッシュボードドロワーにはタブレット端末などを格納できます。閉じるときは、ダッシュボードドロワーを押し込みます。

⚠警 告

ダッシュボードドロワーが開いた状態のまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

●Citroën Smart Pad Support®

オプションのタブレット端末ケースを固定するためのホルダーです。ケースに入れたタブレット端末の画面は運転席から見えにくい状態になるため、走行中に運転者の注意をそらすことなく助手席から安全にタブレット端末を使用できます。カバーを押し込むとCitroën Smart Pad Support®が開きます。閉じるときは、カバーを押し込みます。

MEMO

- ●タブレット端末を取りはずしてからCitroën Smart Pad Support®のカバーを閉じてください。
- ●取りはずしたタブレット端末はケースに入れたままダッシュボードドロワーに格納することができます。
- ●タブレット端末ケースのCitroën Smart Pad Support®への固定のしかたは、タブレット端末ケースに付属の取扱説明書を参照してください。

●12V 電源ソケット

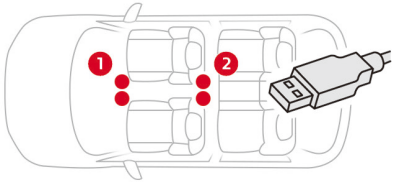


12V 電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはずし、適切なアダプターを接続します。

MEMO

- ●12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。
- ●接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

●USB ポート



①フロントコンソール

フロントコンソールの USB ポートには次の2種類があります。USB ポート上部に示されたアイコンにより種類を区別できます。

このアイコンで示された USB ポートでは、さまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。
ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。
USB ポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。
また、Apple CarPlay ／ Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

このアイコンで示された USB ポートは充電専用です。携帯機器を接続すると、接続した機器の充電が行われます。

②フロントアームレスト後部

フロントアームレスト後部の USB ポートは充電専用で、仕様により、1つまたは2つ装備されています。携帯機器を接続すると、接続した機器の充電が行われます。

MEMO

- この車両には USB Type-A および USB Type-C の USB ポートが装備されています。それぞれの USB ポートに適した USB コネクタを使用して携帯機器を接続してください。
- USB ポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- 充電専用の USB ポートに接続した携帯機器に保存された音楽は車両スピーカーから再生することはできません。

MEMO

- 使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

●ワイヤレス充電器 *





ワイヤレス充電器は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格Qiに適合したスマートフォンなどの携帯機器を、Qi マークのある充電エリアに置くだけで充電することができます。

MEMO

「Qi（チー）」は、Wireless Power Consortium の登録商標です。

充電



エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）に、携帯機器の充電面を下にして、充電エリアの中心付近に置くと、表示灯が緑色に点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、表示灯が消灯します。

MEMO

- ●携帯機器の充電を開始する前に、充電エリアに異物がないか確認してください。
- ●携帯機器の充電は、1度につき1つの機器のみ可能です。
- ●ドアを開けたり **ENGINE START/STOP** スイッチの操作を行うと一時的に充電が停止することがあります。

表示灯



消灯しているとき：
- ・エンジンが停止しています
- ・充電が完了しています
- ・充電エリアに携帯機器がありません

緑色に点灯しているとき：
- ・携帯機器を検出しています
- ・充電中です

橙色に点滅しているとき：
- ・携帯機器と充電エリアの間に異物があります
- ・携帯機器が充電エリアの中心からずれました

橙色に点灯しているとき：
- ・携帯機器に異常があります
- ・携帯機器の温度が上昇しました
- ・ワイヤレス充電器が故障しました

* 仕様により異なります。

MEMO

●表示灯が橙色に点滅したら、携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除くか、携帯機器を充電エリアの中心付近に置き直してください。
●表示灯が橙色に点灯したら、一旦充電を停止し、しばらくしてから充電を開始してください。解決しない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

⚠警 告

●安全上の理由から、携帯機器を充電する場合、車両を停止した状態で操作してください。
●ワイヤレス充電器が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

⚠警 告

●機器の故障や火災を防ぐために、次のことをお守りください。
- 携帯機器と充電エリアの間に金属製のものなどを挟まないでください。
- 充電エリアにものを置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 指定の携帯機器以外は使用しないでください。
- 磁気を帯びたものを近付けないでください。
- 充電エリアが汚れた状態で充電しないでください。
- 充電エリアを水などで濡らさないでください。

注 意

携帯機器の充電中は、充電エリアの付近にコインやスマートキーなどの金属製のものなどを置かないでください。発熱により機器が故障するおそれがあります。

MEMO

●充電中は携帯機器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
●携帯機器にカバーやアクセサリーを取り付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリーの種類によっては、充電できないことがあります。
●近くに強い電波を発する設備があるときは充電できないことがあります。
●携帯機器の種類により充電できないことがあります。
●携帯機器の取扱説明書も参照してください。

●フロントアームレスト
アームレストは前後にスライドして位置を調整できます。カバーを開くと小物入れがあります。

●リアアームレスト *
アームレストを使用するときは、手前に引き下ろします。カップホルダーがついています。

●スキーフラップ *
スキーなどの長いものを運ぶのに便利なスキーフラップが装備されています。

1. リアアームレストを倒します。
2. ハンドルを下に引きます。
3. フラップを下げます。
4. ラゲッジルーム側から荷物を入れます。

* 仕様により異なります。

第6章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-4
長期間使用しないとき…… 6-5
エンジンルームの点検…… 6-6
電球の交換…… 6-10
ヒューズの交換…… 6-13
燃費の改善について…… 6-14
推奨交換時期…… 6-15
推奨油脂類…… 6-15
推奨点検時期…… 6-16

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸やススを含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。
長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

⚠警 告

洗車をするときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。電気部品などに水がかかると、故障や火災などの原因になるおそれがあります。

注 意

●塗装の劣化や車体の腐食や錆を防ぐために、次のような場合は直ちに洗車して汚れを落としてください。
- 海岸部を走行したあと
- 積雪地帯で融雪剤などを散布した道路を走行したあと
- 樹液、花粉、鳥のふん、虫の死がい、コールタールなどが付着したとき
- 泥や塩分を含む汚れなどが付着したとき
- 塗装面にガソリンやベンジンなどの有機溶剤が付着したとき

●溶剤や研磨剤入り洗剤、ガソリンやオイルなどを使用したり、研磨スポンジなどで強くこすったりしないでください。

注 意

●自走式の洗車機を使用するときは、ドアおよびテールゲートを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。
●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ボディ（ドアシール、カメラやセンサー、塗装面が弱くなっている箇所など）から離してご使用ください。
●寒冷時の洗車は行わないでください。ブレーキに水がかかったり、ブレーキ装置に水が入ったりすると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
●ボディが熱いときや炎天下での洗車は行わないでください。水や洗剤が拭き取る前に蒸発し、ボディにはん点が残ることがあります。
●ワックスがけは塗装面の汚れを洗車などで取り除き、ボディが乾いてから行ってください。ワックスは容器に記載されている説明に従ってかけてください。

* 仕様により異なります。

注 意

●炎天下でのワックスがけは行わないでください。必ず塗装面が冷えているときにワックスをかけてください。
●塗装されていないバンパーなどの樹脂部品やゴム部品、ガラス、ミラーやカメラレンズ部にワックスを使用しないでください。ワックスが付着したら、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ拭き取ってください。
●デカール部分には高圧洗浄機を使用しないでください。傷が付いたり、はがれたりするおそれがあります。*
●デカール部分の洗浄は、ホースで25℃～40℃の水をたくさんかけて行ってください。ホースの水はデカールのカット部分へ斜めに当てず、正面からかけてください。*

MEMO

●汚れがひどく通常のお手入れでは落とせない場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
●塗装面の修復はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

内装のお手入れ

●レザー

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。水などで汚れたら早めに拭き取ってください。また、定期的にお手入れすることをお勧めします。
清掃は、やわらかい布に石けん液を含ませ、よくしぼって表面を拭きます。その後やわらかい清潔な布で乾拭きします。
汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

注 意

- ●皮革の表面に水分や油汚れが残っている場合は、清掃前に拭き取ってください。
- ●皮革の表面を傷つけるおそれのある汚れは、清掃前に水につけて固くしぼった布で取り除いてください。
- ●ベンジンやガソリンなどの有機溶剤、アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤は使用しないでください。
- ●皮革用洗剤を使用して清掃するときは、レザー以外の部分に洗剤が付着しないように注意してください。

●ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

●ディスプレイ（インストルメントパネルやタッチスクリーンなど）

塵やほこりを取り除き、水を浸したやわらかい布を固くしぼってから、軽く拭きます。

注 意

- ●固いブラシや布、ティッシュ、乾いた布などでディスプレイの表面をこすらないでください。傷をつけるおそれがあります。
- ●アルコールや消毒液、石けん液などをディスプレイの表面に直接使用しないでください。傷をつけるおそれがあります。

●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
シトロエン販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

●ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

●フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

⚠警 告

車内を清掃するときは、ホースで水をかけたり、高圧洗浄機などを使用しないでください。また、洗剤などの液体をこぼさないでください。電気部品などにかかると、故障や火災につながるおそれがあります。

長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

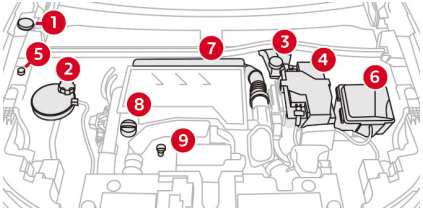
●保管前に行うこと

・タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50% ぐらい上げてください。
・12V バッテリーのプラス端子（＋）をはずしてください。
・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

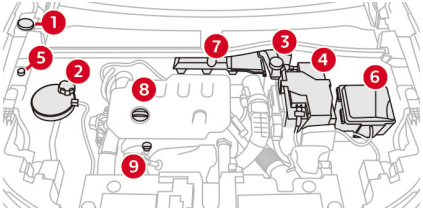
●保管中に行うこと

・1 ヶ月に1回程度、12V バッテリーの端子を接続し、エンジンを始動して数分～数十分そのままの状態で12V バッテリーを充電してください。

エンジンルームの点検



ガソリンエンジン



ディーゼルエンジン

①：ウィンドウウォッシャー液タンク
②：クーラント（冷却水）タンク
③：ブレーキフルードタンク
④：12V バッテリー
⑤：アースポイント（−）
⑥：ヒューズボックス
⑦：エアフィルター
⑧：エンジンオイル注入口
⑨：エンジンオイルレベルゲージ

⚠警 告

●エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。
エンジンが熱いときは、**ENGINE START/STOP** スイッチがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが停止しているのを確認し、スマートキーを車外に出してください。また、シフトポジションが **P** で、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
●ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。点検や整備はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

⚠警 告

●熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンまたはエキゾーストシステムの上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

⚠注 意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

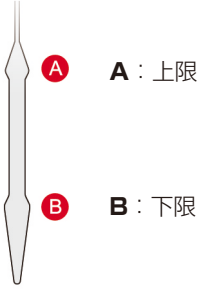
注 意

エンジンルームへの高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

●エンジンオイル

点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



A：上限

B：下限

レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって消費されますので、次のオイル交換までの間にオイルを補充しなければいけないことがあります。
走行5000km ごとにオイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を越えないようにしてください。補充が完了したあとは、キャップの閉め忘れに注意してください。

交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

⚠注 意

●エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
●オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、シトロエン純正部品のご使用をお勧めします。

オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換するオイルフィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。

●ブレーキフルード

点検

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠警 告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害をおよぼすことがあります。

注 意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

MEMO

ブレーキフルードの交換をしたら、タンクのキャップの汚れを落としてから取り付けてください。

●燃料フィルター（ディーゼル車）

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換する燃料フィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。

●冷却水の点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。
冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
冷却水の補給には、シトロエン純正クーラントを稀釈して使用してください。

⚠警 告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。

MEMO

●冷却水の補給はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
●冷却水の交換は必要ありません。

●ウォッシャー液
タンク内のウォッシャー液が少ないときは、シトロエンの推奨品で補給してください。

●12V バッテリー
特に寒冷地の使用では、冬になる前にシトロエン指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

●エアフィルター、室内フィルター
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。
交換はお近くのシトロエン指定サービス工場にご依頼ください。

●ブレーキパッド
ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

●ブレーキディスク
ブレーキディスクは消耗部品です。シトロエン指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

●エレクトリックパーキングブレーキ
交換の必要はありませんが、異常が発生した場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●オートマチックトランスミッションフルード（ATF）
交換の必要はありません。

●AdBlue® の補充（ディーゼル車）
補充頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
だたし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue® 警告が表示されたら、シトロエン指定サービス工場で補充をしてください。
AdBlue® の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

⚠注 意
環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注 意
車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、シトロエンが指定する部品を使用することが重要です。

電球の交換

⚠警 告

●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●電気回路を改造しないでください。
●LED ランプに触らないでください。感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
●点灯中の LED ヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LED ヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



⚠注 意

●必ずエンジンを停止し、ランプを消灯してください。また、電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
●エンジンの停止直後はエンジンルーム内が高温になっています。ボンネットを開けるときや電球を交換するときはやけどに注意して作業を行ってください。
●手や衣類（スカーフやマフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
●エンジン停止後の排気管は高温になるため、バルブを交換するときは排気管に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

注 意

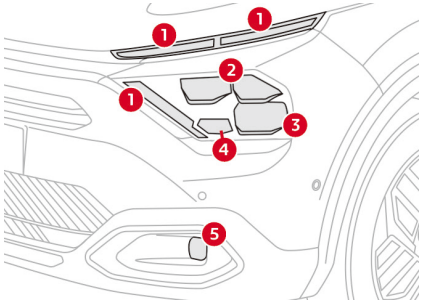
●交換する電球には、油などの汚れを付けないでください。電球は、きれいな乾いた布で持ち、指紋などを付着させないでください。
●ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、粗い布などで強くこすらないでください。
●高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
●交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
●ヘッドランプを交換するときは、UV カット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズなどが変色するおそれがあります。
●電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。また、左右同時に交換してください。
●色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

* 仕様により異なります。

MEMO

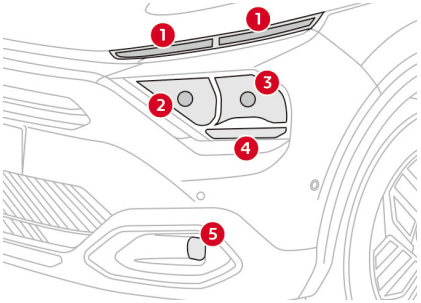
●インストルメントパネルのウィンカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。
●低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

●ヘッドランプ



フル LED ヘッドライト装着車

①：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）
②：ロービームヘッドランプ（LED）
③：ハイビームヘッドランプ（LED）
④：方向指示器（LED）
⑤：フロントフォグランプ（LED）*



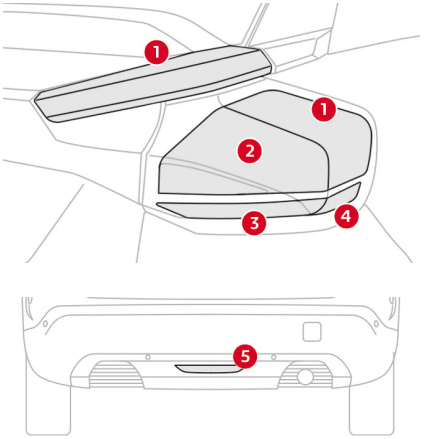
ハロゲンヘッドライト装着車

①：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）
②：ハイビームヘッドランプ（H7）
③：ロービームヘッドランプ（H7）
④：方向指示器（PY21 W）
⑤：フロントフォグランプ（LED）*

MEMO

ヘッドランプ類の交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●テールランプ



①：ポジションランプ（LED）
②：ストップランプ（P21 W）
③：リバースランプ（W16 W）
④：方向指示器（W16 W）
⑤：リアフォグランプ（P21 W）

MEMO

テールランプ類の交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●エクステリアサイドランプ／ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプ

エクステリアサイドランプ／ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプなど、その他のランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

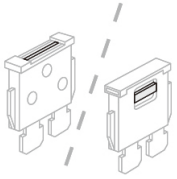
ヒューズの交換

ヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内とエンジンルーム（左側）にあります。
ヒューズの交換は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

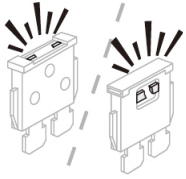
注 意

交換する前に、ヒューズが不良となった原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色（容量）のヒューズと交換してください。

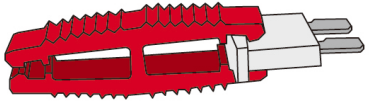


正常なヒューズ



切れたヒューズ

ヒューズを交換するときは、グローブボックス内のカバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。



⚠注 意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。
推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。
シトロエンでは、当社が供給や推奨していない、10mA 以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
エンジンルーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。整備が必要な場合は、必ずシトロエン指定サービス工場に依頼してください。
アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、シトロエン指定サービス工場にご依頼ください。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費をよくするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

●エンジンのコンディション
主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

●エアフィルター
フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

●手荷物など
ラゲッジルームに不用な手荷物などが積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。
ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。
必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

●タイヤ
交換するときは、現車と同一サイズでシトロエンが推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。
また、タイヤ空気圧が低すぎるとより多くの燃料が消費されます。適切なタイヤ空気圧に調整して走行してください。

●運転方法
エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。
運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。
走行中は一定のスピードを保つようにしてください。
走行速度が上がると燃費も悪化します。
法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。
エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。
あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または20,000km ごと
オイルフィルター	1年または20,000km ごと
ブレーキフルード	2年または60,000km ごと
エアフィルターエレメント	2年または40,000km ごと
スパークプラグ（ガソリン車）	2年または40,000km ごと
室内フィルター	1年または20,000km ごと
燃料フィルター（ディーゼル車）	4年または20,000km ごと

●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO FIRST 0W-30）を使用した場合です。

● AdBlue® の補充頻度について（ディーゼル車）

AdBlue® の補充は、1年または10,000km ごとにシトロエン指定サービス工場で行ってください。

推奨油脂類

エンジンオイル
TOTAL QUARTZ INEO FIRST（0W-30）

ブレーキフルード
シトロエン純正ブレーキフルード（DOT4）

クーラント
シトロエン純正クーラント

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

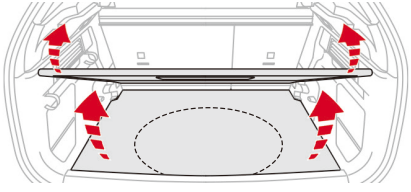
タイミングキットおよびクーラントポンプの点検	100,000km ごと
補機ドライブベルトキットの点検	初回3年、次回から2年ごと
クーラント pH の点検	初回3年、次回から2年ごと

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換 7-2
パンク修理キット 7-7
12Vバッテリーが上がったとき 7-12
けん引されるとき 7-17
AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車） 7-19
燃料切れしたとき（ディーゼル車） 7-21

ホイール（タイヤ）の交換 *

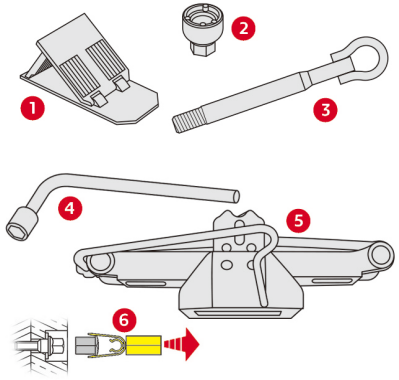
●工具の取り出し



ジャッキと工具は、ラゲッジルームマットの下にある工具入れに格納されています。

1. 取っ手を引いてラゲッジフロアボードを取りはずします。
2. ストラップを引いてラゲッジルームマットを取りはずします。

●ジャッキと工具

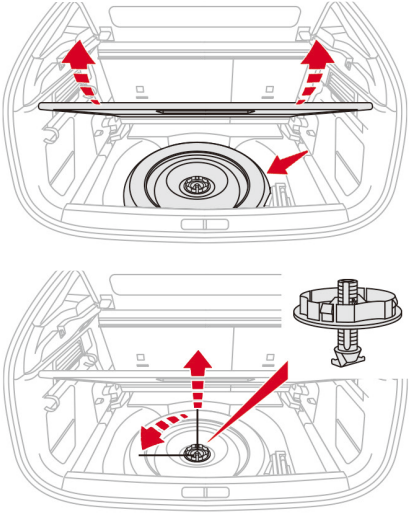


①：輪止め*
②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
③：けん引ボルト
④：ホイールレンチ
⑤：ジャッキ
⑥：専用ピンセット*

MEMO

ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。

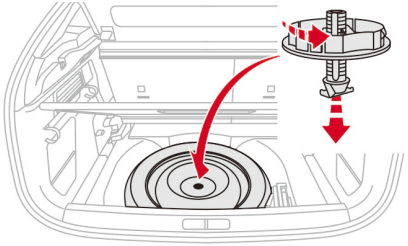
●スペアタイヤの取り出し



スペアタイヤは、ラゲッジルームマットの下に格納されています。

1. 取っ手を引いてラゲッジフロアボードを取りはずします。
2. ストラップを引いてラゲッジルームマットを取りはずします。
3. 工具入れを取り出します。
4. 中央のナットをゆるめ、取りはずします。
5. スペアタイヤを取り出します。

●タイヤの格納



1. タイヤを入れます。
2. ナットを少しゆるめ、ホイールの中央にねじ込みます。
3. タイヤが正確に収まっていることを確認して、きつく締めます。
4. 工具入れをホイールの中央に戻します。
5. ラゲッジルームマットを取り付けます。
6. ラゲッジフロアボードを取り付けます。

MEMO

●タイヤを格納しないと、ナットが取り付けられない場合があります。
●標準サイズのタイヤはラゲッジルームマットの下に格納できません。

●タイヤ交換後の処理

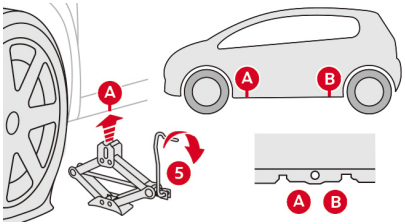
1. 交換したスペアタイヤの空気圧を確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。

MEMO

タイヤ交換を行ったあとは、間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットを行ってください。

*仕様により異なります。

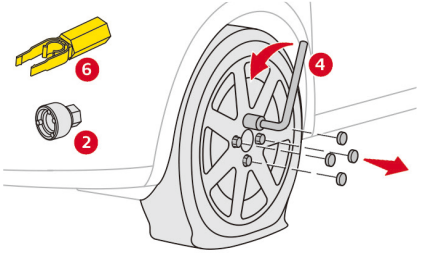
●ホイールの取りはずし

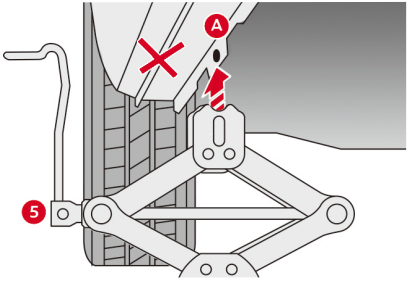


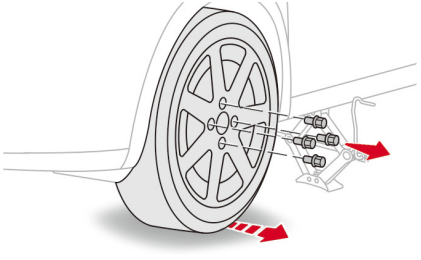
硬く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
ENGINE START/STOPスイッチをオフにし、シフトポジションがPになっていること、エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、輪止め*を当てます。

MEMO

ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ④の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。







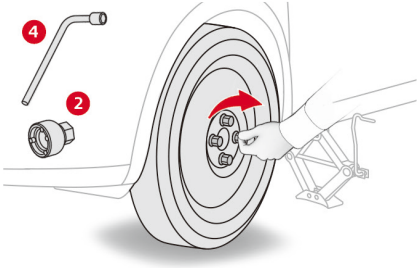
1. 専用ピンセット⑥を使用して、ボルトカバーをはずします。*
2. ホイールレンチ④でボルトを少しゆるめます。
   盗難防止ボルトをゆるめるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*
3. ジャッキ⑤を車の下側フレームA部分（リアはB部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキがA（もしくはB）に確実に収まっていることを確認してください。
4. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
5. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
6. ホイールをはずします。

注 意

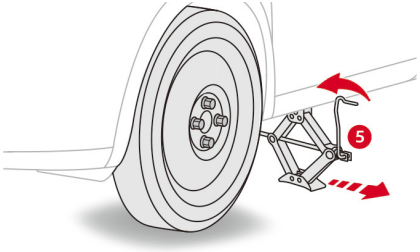
プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

*仕様により異なります。

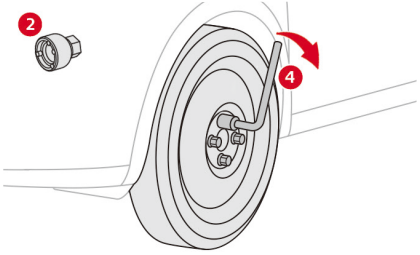
●ホイールの取り付け



1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. ホイールレンチ④を使ってボルトを軽く締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*



4. ジャッキ⑤を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。



5. ホイールレンチ④を使って、ボルトを対角線上に2～3回に分けてしっかり締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*
6. はずしたボルトカバーをそれぞれのボルトに取り付けます。*

⚠警 告

- ●ジャッキアップするときは、必ず輪止め*を使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
- ●ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。
- ●ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
- ●ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジン始動時の振動により、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- ●指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- ●スペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。

⚠注 意

●タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。
●スペースセーバータイヤの空気圧は420kPaです。定期的に点検してください。また、このタイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。
●スペースセーバータイヤを使用するときは、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
●スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。

⚠注 意

●搭載されているジャッキやレンチ、スペースセーバータイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用したり、他の用途に使用しないでください。

注 意

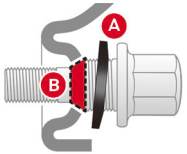
盗難防止ボルトの専用アダプター*を使用するときは丁寧に扱ってください。急激な力を加えたり、乱暴にレンチを回すと、ピンを破損することがあります。

MEMO

●盗難防止ボルトの専用アダプター*の番号を控えておいてください。紛失した際に、番号から複製を入手することができます。
●ホイールボルトの締め付けトルクは10daNm（約9.5kgm）です。

MEMO

●アルミホイールの代わりにスペースセーバータイヤを使用するとき、ホイールボルトの平ワッシャー**A**がリムに接せず遊んでいても問題ありません。ホイールボルトの円錐状の部分**B**によって確実にホイールを固定します。

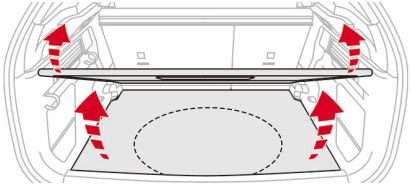


●ホイールカバー装着車は、左輪用、右輪用を確認してからホイールカバーを取り付けてください。左輪用のホイールカバーには**LEFT**、右輪用のホイールカバーには**RIGHT**のマークが記されています。左右輪のホイールカバーを逆向きに取り付けないでください。

*仕様により異なります。

パンク修理キット *

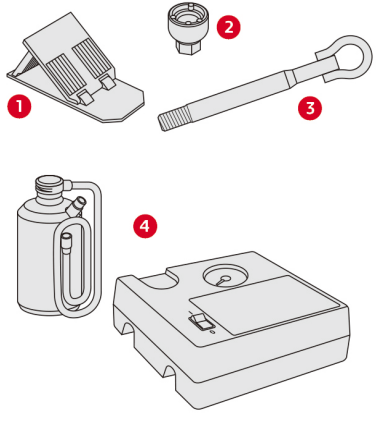
●パンク修理キットの場所



パンク修理キットと工具は、ラゲッジルームマットの下にある工具入れに格納されています。

1. 取っ手を引いてラゲッジフロアボードを取りはずします。
2. ストラップを引いてラゲッジルームマットを取りはずします。

●パンク修理キットと工具

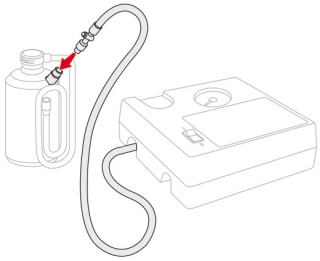


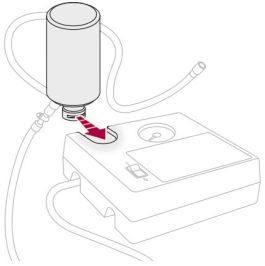
①：輪止め*
②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
③：けん引ボルト
④：パンク修理キット

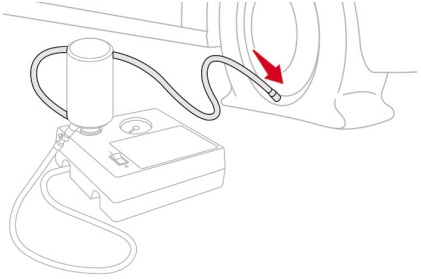
MEMO

- ●ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。
- ●パンク修理キットはシトロエン販売店でお買い求めいただけます。
- ●タイヤのトレッド部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- ●タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- ●修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

●使いかた







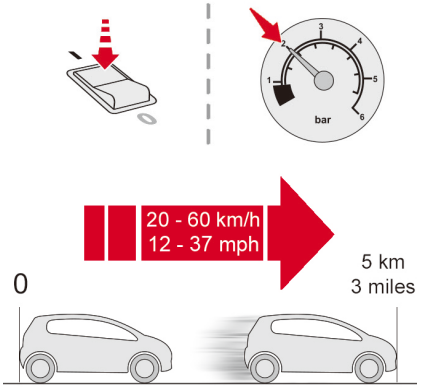
1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。
3. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、カートリッジに接続します。
4. 修理剤カートリッジをコンプレッサーに固定します。
5. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。

⚠警 告

●修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。
●修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。

⚠注 意

パンク修理剤の有効期限はカートリッジに表示されています。
例：EXP：04/2029
　　‖
　2029年4月まで



6. スイッチが**0**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
7. エンジンを始動します。
8. スイッチを**I**にして、空気圧を**2.0bars**まで昇圧します。
9. スイッチを**0**にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速**20～60km**で約**5km**走行します。

⚠警 告

- ●パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- ●修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- ●パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠注 意

7分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。

10.コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。
11.スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
12.エンジンを始動します。
13.空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
・昇圧：スイッチを**I**にする。
・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
14.空気の漏れがないことを確認します。
15.コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
16.時速**80km**以下で走行し、できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠警 告

●パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速80km**以下で走行してください。
●パンク修理キットで修理したあとは、約**200km**以上走行しないでください。できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠注 意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

●タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
●修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤をシトロエン指定サービス工場でお買い求めください。
●使用済みの修理剤カートリッジはシトロエン指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。

1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを始動します。
4. 空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
   ・昇圧：スイッチを**I**にする。
   ・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

MEMO

タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

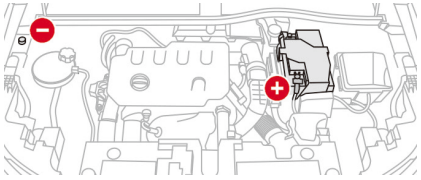
12V バッテリーが上がったとき

万一、12Vバッテリーが上がってしまいエンジンの始動ができなくなったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。
接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

MEMO

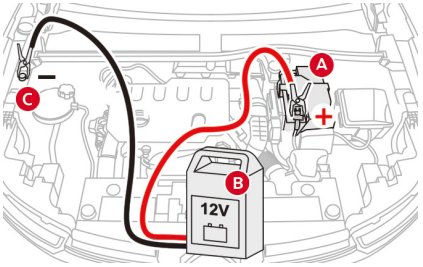
この車両は、押しがけによるエンジンの始動はできません。

●12Vバッテリーの位置



12Vバッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。
アースポイントはエンジンルーム右側（ボンネットを開いて左側）にあります。

●充電器を使用して充電する

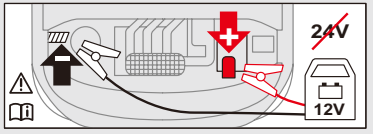


1. オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品をすべてオフにします。
2. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. 充電器Bの電源がオフになっていることを確認します。
5. 充電器Bのケーブルに傷などの損傷がないことを確認します。
6. 12VバッテリーAのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
7. 最初に充電器Bのマイナス端子（−）をアースポイントCに接続し、次にプラス端子（+）を12VバッテリーAのプラス端子（+）に接続します。
8. 充電器の取扱説明書に従って充電します。

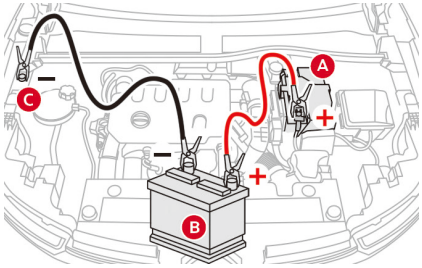
9. 充電が完了したら、充電器Bの電源をオフにします。
10. 充電器Bの電源をオフにしてから、接続したケーブルを12Vバッテリー Aからはずします。
11. 接続したケーブルをアースポイント Cからはずします。
12. 12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*

注 意

充電器は12Vのものを使用してください。12V以外の充電器を使用すると、車両の電装部品を破損するおそれがあります。



●他のバッテリーで始動する



1. 自車両と救援車が接触しない位置に停車します。
2. オーディオ機器やヘッドライトなど、自車両と救援車両の電装品をすべてオフにします。
3. 自車両と救援車両のエンジンを停止します。
4. 自車両のシフトポジションがPになっていることを確認します。
5. 自車両の12VバッテリーAのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
6. 12VバッテリーA（自車両の上がったバッテリー）・B（救援車のバッテリー）のプラス端子（+）を赤いケーブルで接続します。
7. 電源を供給する救援車の12VバッテリーBのマイナス端子（−）に、黒いケーブルを接続します。
8. 未接続の黒いケーブルを、自車両のアースポイントCに接続します。
9. 救援車のエンジンを始動し、そのままの状態で数分間待ちます。
10. 自車両のエンジンを始動します。始動しない場合は、しばらくしてから再度操作してください。
11. エンジンがアイドリング状態になったら、接続したケーブルをつないだときと逆の手順ではずします。
12. 12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*
13. 約30分ほど自車両のエンジンが始動している状態のままにします。

*仕様により異なります。

注 意

●この車両を救援車として使用したり、この車両の12Vバッテリーで他の車両のバッテリーを充電したりしないでください。
●救援車のバッテリーは12Vのものを使用してください。

MEMO

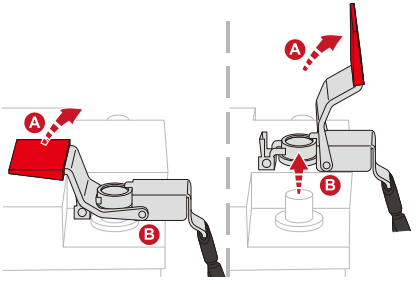
自車両のエンジンを始動したあと、12Vバッテリーの充電が十分に行われていない状態で走行を開始すると、車両の機能に影響をおよぼすことがあります。

●ケーブルのはずしかた／接続のしかた

車を1ヶ月以上使用しないときは、12Vバッテリーの電力を維持するためにケーブルのプラス端子（+）をはずしておきます。
ケーブルのプラス端子（+）をはずす前に、次のことを確認してください。

・すべてのドア、テールゲート、ウィンドウ、サンルーフ*が閉じている
・オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品がすべてオフになっている
・ENGINE START/STOPスイッチをオフにし、約4分経過した

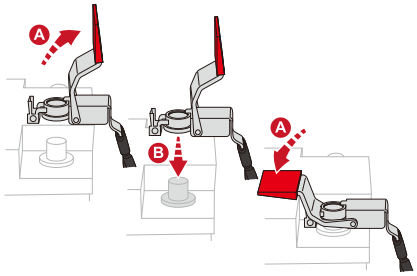
はずしかた



1. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
2. ロックタブAをいっぱいまで起こしてからクリップBを持ち上げてはずします。

*仕様により異なります。

接続のしかた



1. ロックタブAをいっぱいまで起こします。
2. クリップBが12Vバッテリーのプラス端子（+）の上部に来るように位置を合わせ、クリップBの位置がずれないように、上から12Vバッテリーに押し当てます。
3. ラグを広げてロックタブAを倒し、クリップをロックします。
4. 12Vバッテリーのプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*

注 意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

●12Vバッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。
長時間12Vバッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

・スマートキー
・パワーウィンドウ
・サンルーフ*　など

ストップ&スタートは一度12Vバッテリーの接続をはずすと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

注 意

電子機器に異常を感じたら、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●12Vバッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（−）を逆に接続しないでください。
●エンジンが始動している状態のときは、12Vバッテリーのプラス端子（+）からケーブルをはずさないでください。
●ケーブルのプラス端子（+）とマイナス端子（−）を絶対に接触させないでください。
●12Vバッテリーのプラス端子（+）が周辺の金属と接触しないようにしてください。
●救援車の12Vバッテリーのマイナス端子（−）は自車両の12Vバッテリーのマイナス端子（−）に直接つながないでください。必ず自車両のアースポイントに接続してください。
●12Vバッテリーは可燃性のガスを発生しますので、12Vバッテリーの近くでは火気を避けてください。
●12Vバッテリーのバッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。

⚠警 告

●凍った12Vバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。12Vバッテリーが凍ったら新品と交換してください。
●黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
●ケーブルがエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

MEMO

●バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。
●12Vバッテリーの充電が不十分なときは、ストップ＆スタートなど、一部の機能が自動的にオフになることがあります。

●バッテリー上がり防止モード

12Vバッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、12Vバッテリーの電圧が回復したあと、自動的にオンに戻ります。

●エコノミーモード

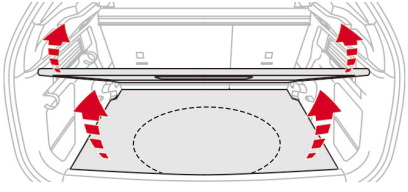
エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。
すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを数分間始動している状態のままにしてください。
エンジンが始動している状態のままでいた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5 ～ 30分に限られます。

MEMO

●12Vバッテリーが弱っているときは、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
●12Vバッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

●けん引ボルトの場所



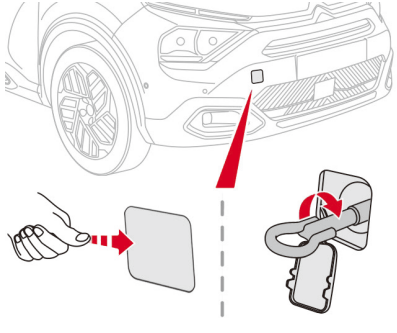
けん引ボルトは、ラゲッジルームマットの下にある工具入れに格納されています。

1. 取っ手を引いてラゲッジフロアボードを取りはずします。
2. ストラップを引いてラゲッジルームマットを取りはずします。

●けん引について

この車両は前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引が必要なときは、シトロエン指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。やむを得ず4輪が接地した状態でけん引されるときは、次のように行います。

1. カバーの左上部を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。



2. 自車両および他車のけん引フックにロープをかけ、ロープの中央に0.3m平方（30cm×30cm）以上の白い布を付けます。
3. エンジンを始動します。
4. パーキングブレーキを解除します。
5. シフトポジションを**N**にします。

⚠警 告

運転者はけん引される車両に乗り、けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。

注 意

●以下のときは、必ずシトロエン指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。

- 高速道路で走行中に車両が故障した。
- エンジンを始動できない。
- シフトポジションが**N**にならない。
- パーキングブレーキが解除できない。
- この車専用のけん引ボルトが使用できない。

注 意

●4輪が接地した状態でけん引されるときは、以下の点にご注意ください。
- エンジンを始動してください。
- シフトポジションは**N**にしてください。シフトポジションが**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムやオートマチック・トランスミッションなどが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを始動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
- パーキングブレーキを解除してください。
- 時速30km以下で、できるだけ短距離の移動にとどめてください。

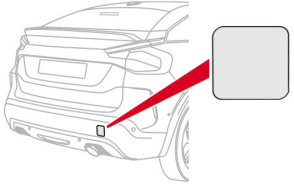
●前輪を持ち上げた状態でけん引されるときは、パーキングブレーキを解除してください。
●この車より重量の重い車両でけん引してください。
●4輪が接地した状態の車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。

注 意

●けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
●長い下り坂では4輪が接地した状態でけん引しないでください。ブレーキが過熱し効かなくなり、事故につながるおそれがあります。レッカー車で前輪を持ち上げるか、4輪を持ち上げた状態でけん引してください。
●けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

MEMO

●車両が動かないときや異常な音がするときなどは、けん引せずにシトロエン指定サービス工場またはけん引の専門業者へご連絡ください。
●この車両で他車をけん引することはできません。
●けん引中は、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
●リア側のけん引ボルト取り付け位置は他車をけん引するためのものではありません。使用しないでください。



AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車）

シトロエン C4はAdBlue®を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue®は走行すると消費され、減少します。
AdBlue®の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

MEMO

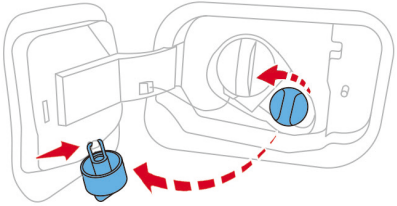
- AdBlue®の補充は、シトロエン指定サービス工場での定期点検整備ごとに行われます。
- AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めに行ってください。
- AdBlue®（アドブルー）はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

●緊急時にお客様がご自分でAdBlue®を補充する

AdBlue®の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約10.0リットル以上のAdBlue®を補充すると、エンジンを始動できるようになります。

注 意

ガソリンスタンドなどに設置されている補充装置を使用しないでください。AdBlue®が補充口からあふれるおそれがあります。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. 給油フラップを開けます。
4. 青色のキャップをゆるめます。
5. 青色のキャップを取りはずします。
6. 補充が終わったら、青色のキャップを締めて戻します。

⚠注 意

AdBlue®は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。万一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ1 ～ 2杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注 意

●AdBlue®を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。
- AdBlue®以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue®を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue®を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue®が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

●AdBlue®を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue®の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。
- AdBlue®を車内に放置しないでください。
- AdBlue®を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue®は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が25℃を超えない場所に保管してください。

MEMO

●AdBlue®の残量がなくなった場合は、AdBlue®の補充後、以下の操作を行ってください。
1. 5分以上待ちます。その間、以下の操作は行わないでください。
   - 解錠する
   - 運転席ドアを開ける
   - 車内にスマートキーを持ち込む
2. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにして10秒以上待ちます。
3. エンジンを始動します。

●AdBlue®の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くかかる場合があります。
●AdBlue®はISO規格（ISO 22241-1）に準拠したものを使用してください。
●AdBlue®タンクの容量は約15リットルです。
●AdBlue®は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。
●使用済みのAdBlue®の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき（ディーゼル車）

燃料を補給後、次の操作を行い、燃料系統のエア抜きをしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが**P**になっていることを確認します。
3. **ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにします。
4. 約1分間待って、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにします。
5. エンジンを始動します。

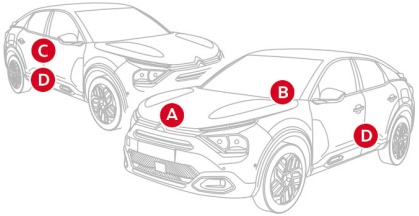
MEMO

- エア抜きを行う前に、少なくとも5リットル以上の燃料を補給してください。
- エンジンが始動しないときは、**ENGINE START/STOP**スイッチをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- エア抜きの操作を繰り返してもエンジンが始動しないときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録…… 8-13

●識別表示



A　**車台番号（エンジンルーム内）**
B　**車台番号（フロントガラス下側）**
C　**認証ラベル**
D　**タイヤ仕様と車体塗色コードラベル**
タイヤとホイールサイズ、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、運転席側または助手席側のピラー部に貼られています。

⚠注 意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

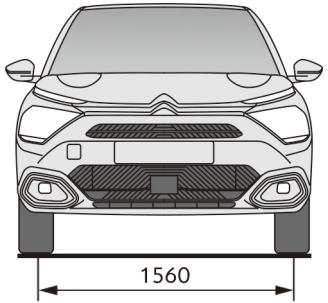
注 意

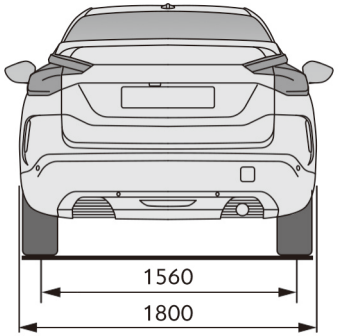
●タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくはシトロエン販売店へお問い合わせください。
●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ずシトロエンが指定する空気圧に調整してください。

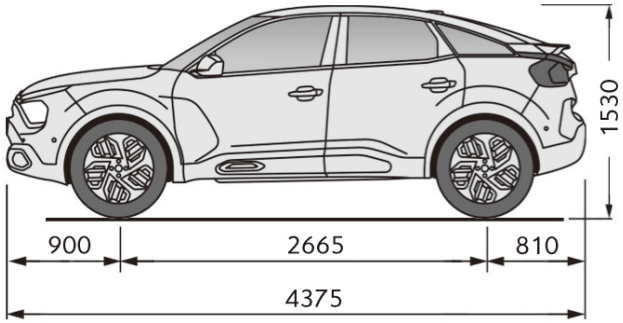
MEMO

タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

●外形寸法





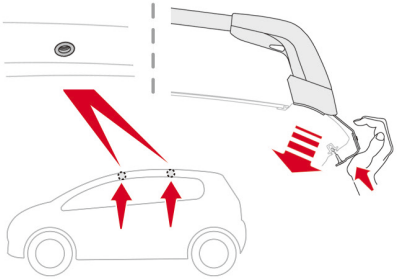


*数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリー類

アクセサリー類は、シトロエン純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

●ルーフキャリア



キャリアの固定箇所はドアの下に隠れています。

⚠警 告

- ●ルーフキャリアはシトロエン純正品をキャリアに付属の取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
- ●シトロエン純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ●荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。
- ●ルーフキャリアに荷物を積む際には、キャリアに付属の取扱説明書に記載されているルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。
- ●ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

* 仕様により異なります。

⚠注 意

キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。

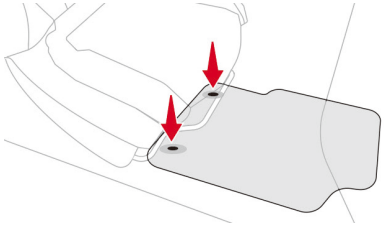
注 意

ルーフキャリアの荷物などがサンルーフの動きを妨げないように注意してください。*

MEMO

使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

●フロアマット*



取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠警 告

●車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
●シトロエン指定以外のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

索 引

数字

12V電源ソケット ····· 5-24
12Vバッテリー ····· 6-6、6-9、7-12
2ポジションラゲッジフロアボード ····· 5-20

アルファベット

ABS（アンチロックブレーキシステム）····· 3-19
AdBlue® ····· 3-23、7-19
ASR（トラクションコントロール） ····· 3-19
Citroën Smart Pad Support®····· 5-24
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）··· 3-26
DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）··· 3-19
EBA（ブレーキアシスト）····· 3-19
ENGINE START/STOPスイッチ ····· 9、3-2
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）··· 3-19
i-Sizeチャイルドシート ····· 1-14、1-21
ISOFIXチャイルドシート····· 1-14、1-20、1-21
PCSB（ポストコリジョンセーフティブレーキ）··· 3-22
SCR（選択式還元触媒）システム ····· 3-23
USBポート····· 5-25

あ

アクセサリー類·····8-4
アクティブクルーズコントロール····· 15、3-52
アクティブセーフティブレーキ····· 3-42
アクティブランバーサポート·····1-5
アームレスト····· 5-28
アンビエンスイルミネーション····· 5-22
イモビライザー（盗難防止システム）·····2-9
インストルメントパネル·····4-2
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）··· 4-27
インストルメントパネルの表示モード·····4-2
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト··· 3-46
インテリジェントハイビーム····· 4-32
ウィンドウウォッシャー·····11、4-38、6-6、6-9
ウェルカムランプ····· 4-36
エアコンディショナー(エアコン) ·····13、5-2
エアバッグ····· 1-23
エアバッグの作動条件····· 1-26
エアフィルター·····6-6、6-9、6-14、6-15
エクステリアサイドランプ····· 4-36
エコノミーモード····· 7-16

エフィシェント・オートマチック・トランスミッション ‥3-7
エマージェンシーブレーキ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3-45
エレクトリックパーキングブレーキ‥‥‥ 10、3-14
エンジンオイル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6-6、6-15
エンジンオイルの点検‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥6-7
エンジンの始動‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥

索 引

自動防眩バックミラー……8、1-7
シフトタイミングインジケーター……3-9
シフトポジション……3-7
シフトロック……3-10
ジャッキと工具……7-2
使用燃料について……1-28
触媒コンバーター……1-32
助手席エアバッグキャンセルスイッチ……14、1-24
推奨交換時期……6-15
推奨点検時期……6-16
推奨油脂類……6-15
スキーフラップ……5-28
ステアリングヒーター……1-5
スーパードアロック……2-6
ステアリング……6、3-6
ストップ&スタート……14、3-27
スノーチェーン／スノーネット……1-30
スピードリミッター……15、3-70
スペアタイヤ……7-2
スマートキー……4、2-2

た

タイヤの交換……7-2
タイヤの点検……1-28
タイヤ空気圧……1-28、8-2
ダッシュボードドロワー……5-24
タッチスクリーン……12、5-9
チャイルドシート……1-13
チャイルドセーフティ……2-20
着座検知……1-11
駐車時照明機能（フォローミーホーム）…2-6、4-36
チルト・テレスコピックステアリング……6、3-6
デイタイムランニングランプ……4-31
ディスタンスアラート……3-44
テールゲート……2-15
テールランプの交換……6-12
電球の交換……6-10
電池の交換（スマートキー）……2-7
電動ドアミラー……8、1-6
ドアロック……2-13
冬季用タイヤ……1-29
ドライバーアテンションアラート……3-39

ドライブコンピューター……4-42
ドライブモード……3-13
トラフィックサインインフォメーション……3-48

な

燃料……1-28
燃料タンクの容量……5、2-25

は

ハイウェイドライブアシスト……3-62
パーキングブレーキ……10、3-14
パーキングライト……4-35
パークアシスト……3-78
ハザードランプ……4-37
バックカメラ……3-76
バックミラー……8、1-7
パッシング……4-29
バッテリー……6-6、6-9
バッテリーが上がったとき……7-12
パドルスイッチ……3-8
パワーウィンドウ……5、2-17
パワーウィンドウの初期化……2-18
パンク修理キット……7-7
半ドア警告……2-11
非常ブレーキ……3-17
ヒューズの交換……6-13
表示灯……4-6
ヒルスタートアシスタンス……3-18
フォグランプ……11、4-29
プッシュセレクター……3-7
フォローミーホーム……2-6、4-36
フュエルリッド……5、2-25
プライバシー……5-17、5-18
ブラインドスポットモニター……3-31
ブレーキ……10、3-14
ブレーキアシスト（EBA）……3-19
ブレーキフルード……6-6、6-8、6-15
フロアマット……8-5
プロキシミティキーレスエントリー……2-2
フロントアームレスト……5-28
フロントエアバッグ……1-23
フロント／サイド／バックソナー……3-73

フロントシート……6、7、1-2
フロントシートベルト……8、1-10
フロントワイパー…… 11、4-38
ヘッドアップディスプレイ……4-4
ヘッドランプの交換…… 6-10
ヘッドランプ照射角度調整…… 4-37
ヘッドレスト…… 7、1-3、1-8
保安炎筒…… 1-31
ホイールの交換……7-2
方向指示器…… 11、4-37
ホーン……3-6
ボンネット……5、2-24

ま
マニュアルチェック…… 4-27
マニュアルロック…… 2-12
マップランプ…… 5-22
ミラー…… 8、1-6、1-7

ら
ライトスイッチ…… 11、4-28
ラゲッジルーム…… 5-19
ラゲッジルームランプ…… 5-22
ランバーサポート…… 6、7、1-2、1-3、1-5
リアアームレスト…… 5-28
リアウィンドウキャンセルスイッチ……5、2-17
リアシート……1-8
リアシートベルト…… 1-10
リアパーセルシェルフ…… 5-19
リアフォグランプ…… 11、4-30
リアヘッドレスト……1-8
リモコン……2-2
ルーフキャリア……8-4
ルームランプ…… 5-21
レーンキープアシスト…… 3-34
レーンポジショニングアシスト…… 3-62
冷却水温度計…… 4-24
冷却水の点検……6-6、6-8

わ
ワイパー…… 11、4-38
ワイパーブレードの交換…… 4-41

ワイヤレス充電器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-26

MEMO

- ●接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- ●このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- ●利用可能な Bluetooth の機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- ●Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- ●Apple、iPhone、Apple CarPlay、および Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ●iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ●Google、Android および Android Auto ™は、Google LLC. の商標です。
- ●タッチスクリーンのシステムのバージョンアップによって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

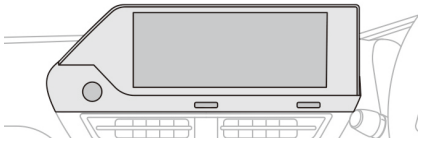
オーディオ／ハンズフリー通話（タッチスクリーン）

基本操作……8-14
ラジオ……8-16
USB／Bluetooth……8-18
画像ファイルの表示……8-20
ハンズフリー通話……8-21
通話をする……8-22
Apple CarPlay ……8-28
Android Auto ……8-30
FAQ（よくある質問）……8-32

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

基本操作



オーディオの操作はタッチスクリーンから行います。

1. ダッシュボードのボタンを押します。

2. ♫にタッチします。ラジオやUSB メディアの再生・設定画面に移動します。

MEMO

タッチスクリーンに指3本でタッチすると、タッチスクリーンメニューが表示されます。♫にタッチしてラジオやUSB メディアの再生・設定画面に移動できます。または、タッチスクリーン画面左端に表示される♫にタッチしてもラジオや USB メディアの再生・設定画面に移動できます。

●各画面共通のアイコン

各画面では、以下のようなアイコンが表示されます。

← 前のページに戻ります。

OK 設定を有効にします。

詳細設定画面を表示します。

MEMO

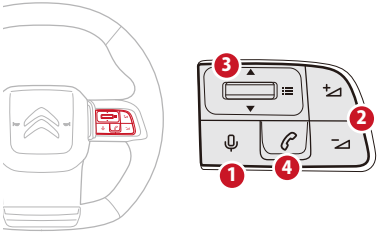
タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●音量の操作

音量の操作は音量調整ツマミで行います。

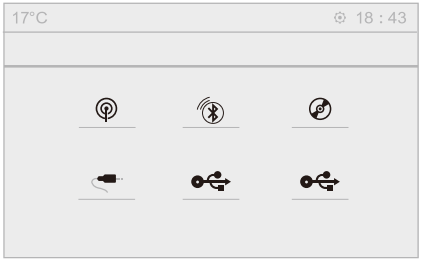
音量調整ツマミを押すと、音量のオン／オフが行えます。音量がオフの間は、USB などの再生メディアは停止しています。

●ステアリングスイッチ



①：音声認識機能起動ボタン
接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。
②：音量調整ボタン
ボリュームが増減します。＋と－のボタンを同時に押すと音量のオン／オフができます。
③：設定ボタン
登録したラジオ放送局やメディアのトラック選択に使用します。
④：TEL ボタン
発着信履歴や連絡先などの表示、ハンズフリー通話の受話および終話などに使用します。

●入力ソースの切り替え



1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **ソース**にタッチします。
4. 入力ソースにタッチします。

ラジオ

●ラジオモードへの切り替え

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **ソース**にタッチします。
4. **ラジオ**を選択します。

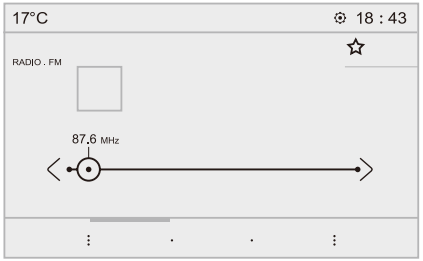
●FM ／ AM の切り替え

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4.  にタッチして AM または FM ラジオを選択します。

MEMO

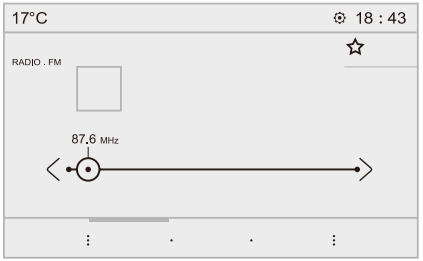
同じ画面に **DAB** および**ニュース**が表示される場合がありますが日本国内では使用できません。

●手動サーチ



タッチスクリーンのカーソルを左右に動かすと受信周波数が変わります。
またはカーソルの上の現在受信している放送局周波数にタッチし、タッチスクリーンから周波数を入力して **OK** にタッチします。

●自動サーチ



タッチスクリーンのカーソルの端にある＜または＞にタッチすると、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。

MEMO

自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

●プリセットへの登録

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットに登録します。

1. **プリセット**にタッチします。
2.  にタッチします。

MEMO

●☆にタッチしてもプリセットへの登録ができます。プリセット済みの放送局はアイコンが白色で表示されます。
●☆にタッチし、**Yes** にタッチするとプリセットへの登録を解除できます。

●登録した放送局の呼び出し

1. **プリセット**にタッチします。
2. 呼び出したいプリセット番号にタッチします。

MEMO

ステアリングの設定ボタンを上下に動かして放送局を選択してから押し込んでも登録した放送局の呼び出しができます。

●受信可能放送局リスト

タッチスクリーンの**リスト**にタッチするか、ステアリングの設定ボタンを押すと受信できる放送局のリストが表示されます。

リスト中の放送局を選択するには、タッチスクリーンの放送局リストにタッチするか、ステアリングの設定ボタンを上下に動かして放送局を選択してから押し込みます。

USB ／ Bluetooth

●USB ポートへの接続



まず、フロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルが記録された USB メモリを接続します。

●Bluetooth 接続

Bluetooth での接続を行うには、機器のペアリング／接続をします。手順は、「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。

●USB ／ Bluetooth モードへの切り替え

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **ソース**にタッチします。
4. 入力ソースにタッチして選択します。

注 意

USB ポートに、USB ハブを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。

MEMO

- ●接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- ●ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- ●ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
- ●音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
- ●オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。

●再生と停止
メディアを接続すると自動的に再生が始まります。
再生と停止は、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、画面右上の再生／停止のアイコンにタッチして行います。
音量調整ツマミを押すか、＋と－の音量調整ボタンを同時に押しても再生と停止ができます。

●選曲
ステアリングの設定ボタンを上下に動かすか、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、＜または＞にタッチすると前後の曲に変わります。
タッチスクリーンの＜または＞に長くタッチすると巻き戻し／早送りできます。

●再生リストの表示
再生リストは以下の手順で表示させます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **ライブラリ**（**セレクション**）にタッチします。
4. ライブラリの種類にタッチします。
5. フォルダや曲にタッチして決定します。

●再生オプション
以下の再生オプションを設定できます。
・ランダム再生
・リピート再生

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチして再生オプションを表示させます。

●オーディオの設定

再生時の音質などのオーディオの設定を行うことができます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4. **オーディオ設定**にタッチしてオーディオの設定画面を表示させます。

オーディオの設定項目

トーン : プリセットから音質を選択できます。ユーザー設定を選択した場合は、任意の音質に設定できます。

バランス : リスニングポジションに合わせた前後左右の音量バランスを調整します。

サウンド : 操作音の音量や、車速感応式自動音量補正機能を設定します。

●音量のデフォルト設定

メディア、**音声認識**、**着信音**の音量のデフォルト設定を行うことができます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4. **音量デフォルト設定**にタッチします。
5. 設定したい項目のタブにタッチします。
6. <または>にタッチするか、カーソルを動かして調整します。

MEMO

接続する機器の仕様により音量のデフォルト設定ができないことがあります。

画像ファイルの表示

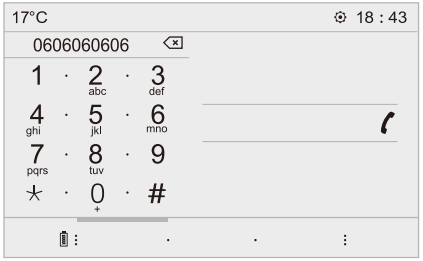
1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. 表示したい画像が格納されているフォルダにタッチします。
5. 画像にタッチして表示させます。

MEMO

タッチスクリーンに指3本でタッチすると、タッチスクリーンメニューが表示されます。▦にタッチして画像ファイルの表示操作ができます。または、タッチスクリーン画面右端に表示される▦にタッチしても画像ファイルの表示操作ができます。

ハンズフリー通話

●ハンズフリーの通話・設定画面への移動



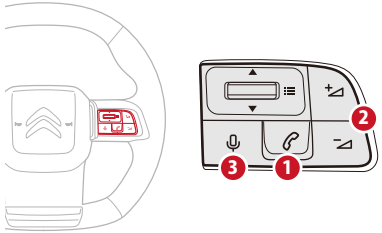
1.  ダッシュボードのボタンを押します。

2.  にタッチします。ハンズフリーの通話・設定画面に移動します。

MEMO

タッチスクリーンに指3本でタッチすると、タッチスクリーンメニューが表示されます。📞にタッチしてハンズフリーの通話・設定画面に移動できます。または、タッチスクリーン画面左端に表示される📞にタッチしてもハンズフリーの通話・設定画面に移動できます。

●ステアリングスイッチ



①：**TEL** ボタン
着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。
通話中に短く押すと、メニュー（**終話**、**保留**、**リダイヤル**、**マイクOFF**）を表示します。
通話中でないときに短く押すと、メニュー（**連絡先**、**発着信履歴**）を表示します。

②：音量調整ボタン
通話音量を調整できます。

③：音声認識機能起動ボタン
接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

通話をする

●電話機との接続（ペアリング）

1. 電話機の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（電話機の説明書を参照）。
2.  ダッシュボードのボタンを押します。
3. 1台目のペアリングでは、にタッチしてから、または にタッチしてから、にタッチして Bluetooth 機器の検索を行います。
   2台目以降のペアリングでは、、**TEL** の順にタッチしてから、または、または にタッチしてから、、の順にタッチして Bluetooth 機器の検索を行います。
4. リストから接続したい電話機を選択します。
5. タッチスクリーンと電話機に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの **Yes** にタッチします。電話機側でも同様に操作します。ペアリングに失敗した場合は、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたり、電話機の電源をオフにするなどして、再度接続を試みてください。

⚠警 告

安全上の理由から、Bluetooth ハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

MEMO

- ●電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。
- ●電話機として Bluetooth 接続できる機器は1台のみです。電話機として Bluetooth 接続する機器の選択のしかたは、P.8-26の「接続設定の変更」項を参照してください。

MEMO

- ●利用できる機能はネットワーク、SIM カード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
- ●エンジンを始動する度に自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
- ●ペアリングは、電話機から Bluetooth デバイスを検索して開始することもできます。

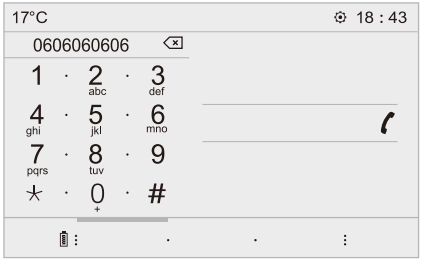
●電話をかける

⚠警 告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

発信

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **キーパッド**にタッチして、タッチスクリーンから電話番号を入力します。



4. **発信**にタッチして発信を開始します。

発着信履歴からの発信

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **発着信履歴**にタッチします。
4. リストにタッチして発信を開始します。

MEMO

- ●発着信履歴は、ステアリングの TEL ボタンを短く押し、ステアリングの設定ボタンを上下に動かして選択してから押し込んで表示することもできます。
- ●発着信履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
- ●電話機により、発着信履歴からの発信ができない場合があります。

連絡先からの発信

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **連絡先**にタッチします。
4. リストにタッチします。
5. 表示された電話番号にタッチして発信を開始します。

MEMO

連絡先は、ステアリングの TEL ボタンを短く押し、ステアリングの設定ボタンを上下に動かして選択してから押し込んで表示することもできます。

音声認識機能を使用した発信

1.  音声認識機能起動ボタンを押します。

2.「○○○に電話」などと話します。

MEMO

あらかじめスマートフォンの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

●電話を受ける

1. 受信通話があると、着信音が鳴り、タッチスクリーンに表示されます。
2. ステアリングの TEL ボタンを短く押すか、タッチスクリーンの✆にタッチして通話を受けます。

MEMO

- ●着信を拒否するには、タッチスクリーンの⮨にタッチするか、ステアリングの TEL ボタンを長く押します。
- ●着信を保留にするには、タッチスクリーンの⏸にタッチします。
- ●受話後、**プライベート通話**にタッチすると、ハンズフリー通話から電話機での通話に切り替わります。
- ●受話後、**マイク OFF** にタッチすると、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの**終話**にタッチする、ステアリングの TEL ボタンを長く押す、またはステアリングの TEL ボタンを短く押し、ステアリングの設定ボタンを上下に動かして**終話**を選択して、押し込みます。

●着信音量の設定

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. カーソルを左右に動かして着信音量を調整します。

MEMO

接続する機器の仕様により着信音量の設定ができないことがあります。

●連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前で並べ替えできます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4.  にタッチして苗字または名前で並べ替えます。

MEMO

日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ並べ替えできる場合があります。

●連絡先の検索

タッチスクリーンで名前を入力して連絡先の検索ができます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **連絡先**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. タッチスクリーンから検索したい連絡先の名前を入力します。
6. 表示された連絡先候補の中から連絡先を選択します。

MEMO

●日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ検索できます。
●にタッチすると、アルファベットで登録された連絡先の検索ができます。

●応答の保留の設定

着信をしたら自動的に保留に切り替わる設定ができます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2.  にタッチします。
3. **オプション**にタッチします。
4.  にタッチして応答の保留をオンにします。

●接続設定の変更

Bluetooth による電話機との接続には、ハンズフリー接続（**電話・メッセージ**）およびオーディオ接続（**オーディオストリーム**）が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2. にタッチしてから **TEL** にタッチするか、にタッチします。
3.  にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4.  接続設定を変更したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
5. ボックスにチェックをしてプロファイルを選択します。
6. **OK** にタッチします。

MEMO

- ●電話機によっては、ハンズフリー接続またはオーディオ接続どちらか1つの接続しかできない場合があります。
- ●接続設定が変更されない場合は、接続済みの機器のリストにタッチするか、再度接続設定の変更手順を行ってください。

●電話機との接続（ペアリング）を切断する

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2. ✆にタッチしてから **TEL** にタッチするか、⊞にタッチします。
3.  にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリストにタッチして接続を切断します。再度タッチすると、接続が再開されます。

●電話機との接続（ペアリング）を削除する

1.  ダッシュボードのボタンを押します。
2. ✆にタッチしてから **TEL** にタッチするか、✆または⊞にタッチします。
3.  にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4.  Bluetooth 機器のリスト右上のアイコンにタッチします。
5.  接続を削除したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
6. **Yes** にタッチして接続を削除します。

Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone は、USB で接続してアプリをタッチスクリーンに表示して操作することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Apple CarPlay の操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●Apple CarPlay を開始する



iPhone をフロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートに接続します。Apple CarPlay に対応したアプリが表示されます。

MEMO

- iPhone を接続する前にあらかじめ iPhone の Siri 機能をオンにしてください。
- Apple CarPlay を開始したあと、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Apple CarPlay の画面を表示するには、タッチスクリーンの▶にタッチしてください。
- Apple CarPlay を開始したあと、タッチスクリーンの🔇にタッチすると Apple CarPlay のマップが表示されます。
- プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。
- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。

MEMO

- 接続する iPhone の仕様により認識できないことがあります。
- 接続に必要なケーブルは付属していません。
- Apple CarPlay を使用するには、Apple CarPlay 対応の iPhone とアプリが必要です。
- Apple CarPlay の使用中は、接続している iPhone での Bluetooth 機能は使用できません。
- iPhone で Apple CarPlay の機能を制限している場合は、制限を解除してください。
- Apple CarPlay の使用にはデータ通信料がかかります。
- Apple CarPlay を使用することにより、Apple CarPlay の利用規約および Apple iOS の利用規約に同意したことになります。
- Apple CarPlay の使用中は、速度などの車両情報が接続中の iPhone に転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Apple のプライバシーポリシーを参照してください。

MEMO

- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。
- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリのコンテンツについて、シトロエンは一切の責任を負いません。
- Apple CarPlay および Apple CarPlay 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、シトロエンは一切の責任を負いません。

●Siri を起動する

Apple CarPlay は Siri による音声操作が可能です。ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押すと Siri を起動できます（Siri が搭載された iPhone を接続している場合のみ）。

Android Auto

Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Android Auto の操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●Android Auto を開始する

1. 
スマートフォンをフロントコンソールのこのアイコンで示された USB ポートに接続します。

2. スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。

3. Android Auto に対応したアプリが表示されます。

MEMO

●スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。
●Android Auto を開始したあと、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Android Auto の画面を表示するには、タッチスクリーンの⌂にタッチしてください。

MEMO

●Android Auto を開始したあと、タッチスクリーンの⌂にタッチすると Android Auto のマップが表示されます。
●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。
●Android Auto を開始すると Bluetooth の接続設定が自動的に完了します。
●走行中は Android Auto の動作が制限される場合があります。
●接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。
●接続に必要なケーブルは付属していません。
●Android Auto を使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。
●Android Auto の使用中は、接続しているスマートフォンでの Bluetooth 機能は使用できません。
●Android Auto の使用にはデータ通信料がかかります。

* 仕様により異なります。

MEMO

●タッチスクリーンから SMS のメッセージを確認したり、事前に作成したメッセージを送信したりすることができます。、の順にタッチし、設定してください。*
この機能を使用するには、あらかじめスマートフォンでの設定が必要です。
●Android Auto を使用することにより、Android Auto の利用規約および Android OS の利用規約に同意したことになります。
●Android Auto の使用中は、速度などの車両情報が接続中のスマートフォンに転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Google のプライバシーポリシーを参照してください。
●Android Auto および Android Auto 対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。

MEMO

●Android Auto および Android Auto 対応アプリのコンテンツについて、シトロエンは一切の責任を負いません。
●Android Auto および Android Auto 対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、シトロエンは一切の責任を負いません。

●音声認識機能を起動する



Android Auto の音声認識機能を使用するには、ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押します。

FAQ（よくある質問）

質問	回答	対応方法
ラジオの受信感度が徐々に悪くなり、記憶させた放送局が表示されず、すべて同じ周波数が表示されてしまいます。	周囲に放送局がなく、電波を受信することができません。	その場所から移動してください。
	周囲に電波を遮るものがあり、電波を受信することができません。	
	アンテナが故障しています。	シトロエン指定サービス工場にお問い合わせください。
プリセット設定を選択したあと、低音·中·高音の個別設定を行うと、プリセット設定がユーザー設定になってしまいます。	プリセット設定と低音・中・高音の個別設定は同時に行えません。	どちらか片方で音質の調整を行ってください。
USB メモリを接続してから、長い時間反応がありません。	USB メモリを最初に接続すると、メディアに含まれる曲名やアーティスト名を読み込むために少し時間がかかります。	
USB メモリの音楽の再生に時間がかかっています。	音楽ファイル以外のファイルの読み込みには、時間がかかることがあります。	該当のファイルを削除してください。また、ディレクトリの階層を浅くしてください。
自動再生が始まりません。	一部の機器は自動再生に対応していません。	機器の側で再生を行ってください。
ラジオや USB などの入力ソースによって音質が異なります。	ボリュームや低音・中・高音などの音質設定は、入力ソースごとに保存されています。	入力ソースごとに最適な設定を行ってください。
エンジンを停止してもしばらくの間オーディオが動作しています。	エンジンを停止してもしばらく動作しますが、走行直後は最大30分で自動的に電源が切れます。	引き続きオーディオを使用したい場合は、エンジンを始動してください。

質問	回答	対応方法
Bluetooth で電話機を接続できません。	電話機の Bluetooth 機能がオフになっているか検索可能な状態になっていません。	Bluetooth 機能をオンにしてください。または、検索可能な状態にしてください。 それでも検索可能な状態にならない場合は、Bluetooth 機能をオフにしてから再度オンにしてください。
Bluetooth で接続した電話機の音量が小さくて聞き取れません。	受話音量はオーディオ本体と電話機の両方で調節できます。	電話機の音量を上げる、または、オーディオの音量を上げてください。
電話帳に同じ宛先が複数載っています。	SIM カードと電話機本体の両方に同じ宛先が載っています。	SIM カードまたは電話機本体の電話帳のみを表示させてください。
電話帳の並び順がアルファベット順になっていません。	電話機での並び順設定が優先されています。	電話機側で並び順を変更してください。
USB 接続での Apple CarPlay、Android Auto を使用できません。	接続に使用しているケーブルによっては Apple CarPlay、Android Auto が有効になりません。	ご使用のスマートフォンに付属のケーブルを使用して接続してください。
SMS（ショートメールなど）が受信できません。	Android Auto を使用している場合を除き、タッチスクリーンでの SMS（ショートメールなど）の送受信には対応していません。	
曲名や曲の時間が表示されません。	電話機の種類によっては、表示されないことがあります。	
再生中の音楽の曲名などが正しく表示されません。	バージョンにより表示されない場合があります。	別の文字を使用してタイトルやフォルダ名を変更してください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

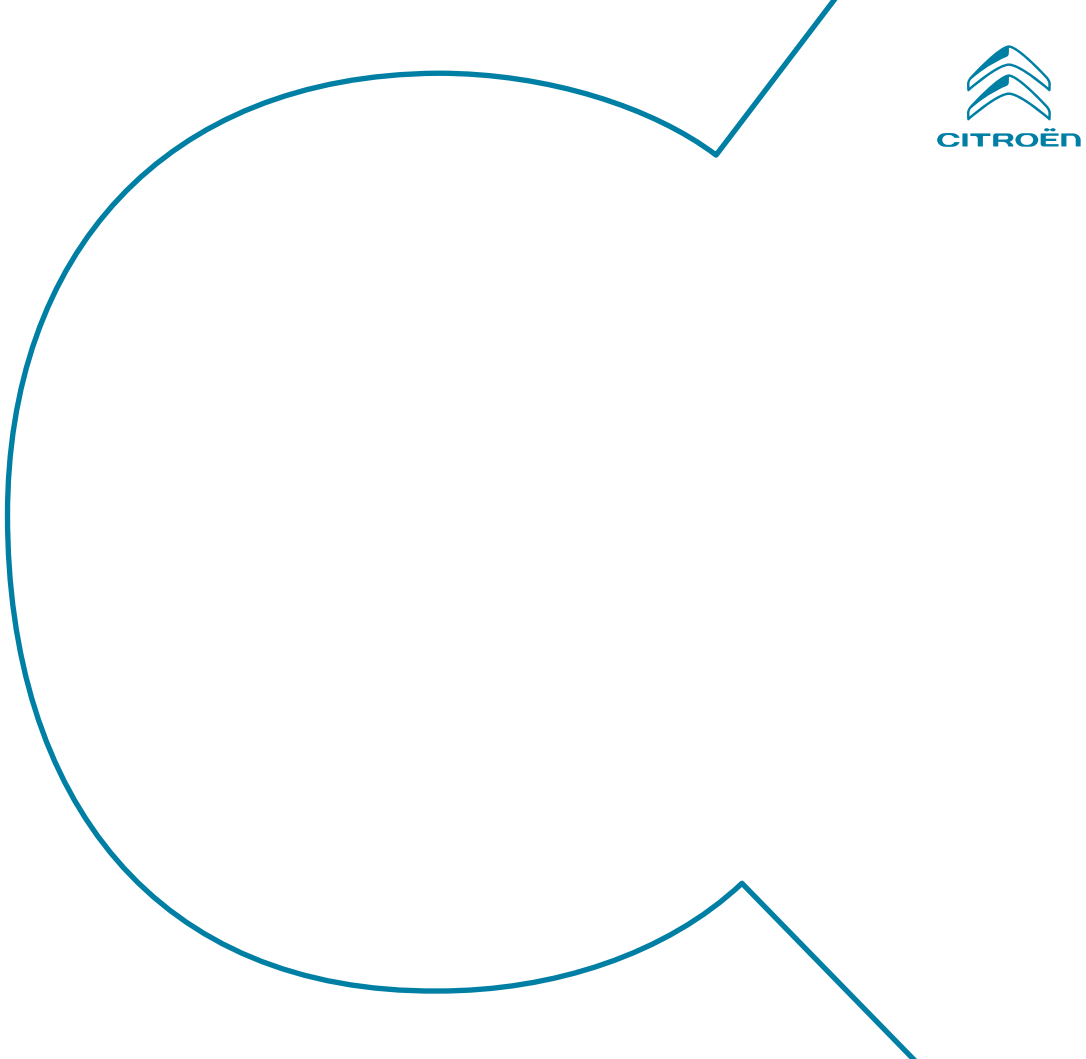
テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

オートモビル・シトロエン社の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行　Stellantis ジャパン株式会社　2022/11

PMOM - C422J



https://www.citroen.jp/